※※ 注意 ※※

本書に記載されている設定バーコードは MS852B_LR Bluetooth 2D イメージャー ロ ングレンジ スキャナのみで使用できる設定です。下記のリストに記された機種以外では使用できま せん。該当機器以外に適用した場合は、例え同じ系統の機器でも操作不能となる場合があります。

対象機器リスト

モデル名	インターフェースケーブル	クレードル
MS852-OUBB0C-SG	USB ケーブル	付属

対象機器の確認方法

スキャナ本体のトリガー付近または製品箱の製品ラベルをご確認ください。







グリップに充電用の端子がある

Bluetooth 2D イメージャー ロングレンジ スキャナ MS852B LR

ユーザーマニュアル



取扱説明書

Version 1.2

1. 目次

1. 目次	3
2. はじめに	14
2.1. 改訂履歴	
2.1. 気に液血 2.2. 大マニュアルについて	11
2.3.1. 電波障害目主規制	
2.3.2. 夜雨蓥华旭日証明 2.3.3. RoHS	
2.4. バッテリについて	
ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2.4.2. バッテリ充電についての注意	
2.4.3. バッテリの保管と安全についての注意	
2.5. 製品操作と保管について	
2.6. 電源アダプタについて	
2.7. レーザーについて	18
2.8. サービス・サポートについて	19
2.8.1. メーカー標準保証期間	
2.8.2. 初期不良について	
2.8.3. 修理保守サービスについて	
2.9. 各部情報	20
2.9.1. MS852B_LR 本体	
2.10. インターフェースケーフル	
2.10.1. インターフェースポートの信号	
2.10.2. D-SUB 9 コネクタの信亏	
2.10.4. RS232C インターフェースケーブル(1550-905891G)	
2.10.5. USB Type-C 充電ケーブル(1550-905892G)	
2.11. パッケージ内容	24
2.12. アクセサリ(別売)	24
3. 基本操作	25
3.1. スキャナ電源操作	25
3.1.1. 電源オン操作	
3.1.2. 電源オフ操作	

3.2. クレードルボタン操作	25
3.3. スキャナの充電	
3.3.1. クレードルを使用した充電	
3.3.2. USB Type-C ケーブルを使用した充電	
3.4. バッテリの交換方法	27
3.4.1. バッテリの取り外し	
3.4.2. バッテリの取り付け	
3.5. ホストとの接続概要	29
3.5.1. クレードルを使った接続(USB)	
3.5.2. クレートルを使った接続(RS2320)	29
3.6. ハンドフリースタンド	
37 FD インジケーター (スキャナ)	31
38 JED インジケーター (クレードル)	
$3.0. \ \text{LED} \ \ \textbf{7} \ \textbf{7} \ \textbf{7} \ (7 \ \textbf{7} \ 7$	
3.9. JJ = 1 J = 0 = (X + V J)	
3.10. 基本的なパーコートの読取り方	
3.11. 日本語出力への対応について	34
4. 仕様	35
5. 対応シンボル初期値一覧	
6. 設定方法について	
7. システム設定	40
7.1. 設定バーコードの読取	40
7.2. 設定値の初期化	
7.3. 設定値の初期化(ペアリング情報の保持)	
7.4. バージョン表示	41
7.5. オペレーションモード	41
7.6. 自動パワーオフ(省電力)	
8. 通信設定	
8.1. クレードル接続と Bluetooth 接続を切り替える	
8.2. クレードルの自動ペアリング設定	43
83 Bluetooth®通信タイプ	Λ Λ
0.3. DiuelUUUI®地店ノーノ	
δ.4. ヘアリンク	45

8.5. 無線電波状態の確認	45
8.6. BT SPP 自動接続	
8.7. BT SPP ACK/NAK	
9. インジケーター設定	47
9.1. ブザー音量	47
9.2. バイブレーター	47
9.3. 読取成功インジケーター	
9.4. 無線接続インジケーター	
9.5. システム設定インジケーター	
9.6. 警告・エラーインジケーター	
9.7. パワーオンインジケーター	50
9.8. パワーオフインジケーター	51
9.9. ダイレクトデコードインジケーター	52
10. 内蔵メモリ設定(バッチモード)	53
10.1. バッチデータ送信	53
10.2. 最後に保存されたデータを削除	53
10.3. すべてのバッチデータを削除	54
10.4. すべての一時データを削除	54
10.5. 内蔵メモリ容量の確認	54
10.6. バッチ送信終了メッセージ	55
10.7. 電源オフ時の一時データ	55
11. USB/BT/BLE キーボード設定	56
11.1. USB/BT/BLE キーボード文字間遅延	56
11.2. USB/BT/BLE キーボードデータ間遅延	57
11.3. 大文字/小文字の変換	58
11.4. キーボードレイアウト	58
12. RS232 設定	60
12.1. 標準設定値	60
12.2. ボーレート	

13. データ送信設定	61
13.1. 送信データフォーマットについて	61
13.2. コード ID の送信	61
13.2.1. シンボルコード ID 一覧表	62
13.3. AIM コード ID 一覧表	63
13.3.1. AIM コード ID コード文字 13.3.2. AIM コード ID 修飾文字	63 64
13.4. ターミネーター	67
13.5. プリフィックスとサフィックス	68
13.6. 送信データフォーマット	69
13.7. "読取なし"メッセージの送信	70
13.8. バーコード内の制御コードの送信	70
13.9. ECI 文字の送信	71
13.10. キーストロークの送信	72
14. トリガー操作設定	83
14.1. 自動プレゼンテーション	83
14.2. スキャンモード	84
14.3. 連続読取りモード	85
14.4. ユニークバーコードの読取り	85
14.5. ピックリストモード	86
14.6. 屋外ピックリストモード	86
14.7. 読取りセッションタイムアウト	87
14.8. 同一バーコードの読取間隔	87
14.9. 異なるバーコードの読取間隔	88
14.10. 照準パターンの切り替え	89
14.11. 照準パターンの明るさ	89
14.12. 照明の切り替え	90
14.13. 照明の明るさ	91
14.14. バーコード検出支援	92
14.15. 視界調整	92

14.16. 携帯電話/ディスプレイモード	
14.17. iOS ソフトキーボード	
15. バーコード読取設定	
15.1. 全てのバーコードの読取り	
15.2. UPC/JAN	
15.2.1. UPC-A の読取り	
15.2.2. UPC-E の読取り	
15.2.3. UPC-E1 の読取り	
15.2.4. JAN-8 の読取り	
15.2.5. JAN-13 の読取り	
15.2.6. ISBN の読取り	
15.2.7. UPC/JAN アドオンコードの読取り	
15.2.8. ユーザー定義アドオン	
15.2.9. アドオンコードの確認回数	
15.2.10. アドオンコードの AIM ID フォーマット	
15.2.11. UPC 縮小クワイエットゾーン	
15.2.12. UPC-A チェックデジットの送信	
15.2.13. UPC-E チェックデジットの送信	101
15.2.14. UPC-E1 チェックデジットの送信	101
15.2.15. UPC-A プリアンブル	
15.2.16. UPC-E プリアンブル	
15.2.17. UPC-E1 プリアンブル	104
15.2.18. UPC-E を UPC-A に拡張	
15.2.19. UPC-E1をUPC-Aに拡張	
15.2.20. JAN-8 を JAN-13 に拡張	
15.2.21. ISBN の出力フォーマット	
15.2.22. UCC クーポン拡張コード	
15.2.23. クーポンフォーマット	107
15.2.24. ISSN の読取り	
15.3. Code128	
15.3.1. Code128 の読取り	
15.3.2. Code128 の読取り桁数	
15.3.3. GS1-128 の読取り	
15.3.4. ISBT 128 の読取り	
15.3.5. ISBT 連結	
15.3.6. ISBT テーブルチェック	
15.3.7. ISBT 連結冗長性	111
15.3.8. Code128 セキュリティレベル	
15.3.9. Code128 縮小クワイエットゾーン	113
15.3.10. Code128 <fnc4></fnc4>	113
15.4. Code39	114

15.4.1. Code39 の読取り	
15.4.2. Trioptic Code 39の読取り	114
15.4.3. Code39をCode32に変換	115
15.4.4. Code32 プリフィックス	115
15.4.5. Code39の読取り桁数	116
15.4.6. Code39 チェックデジットの検査	117
15.4.7. Code39 チェックデジットの送信	117
15.4.8. Code39 読取りフォーマット	117
15.4.9. Code39 セキュリティレベル	118
15.4.10. Code39 縮小クワイエットゾーン	119
15.5. Code93	120
15.5.1. Code93 の読取り	120
15.5.2. Code93 の読取り桁数	120
15.6. Code11	121
15.6.1. Code11の読取り	121
15.6.2. Code11の読取り桁数	121
15.6.3. Code11 チェックデジットの検査	122
15.6.4. Code11 チェックデジットの送信	122
15.7. ITF (Interleaved 2 of 5)	123
15.7.1. ITF の読取り	
15.7.2. ITF の読取り桁数	123
15.7.3. ITF チェックデジットの検査	124
15.7.4. ITF チェックデジットの送信	124
15.7.5. ITF を JAN13 に変換する	125
15.7.6. ITF セキュリティレベル	126
15.7.7. ITF 縮小クワイエットゾーン	127
15.8. Discrete 2 of 5	128
15.8.1. Discrete 2 of 5 の読取り	128
15.8.2. Discrete 2 of 5 の読取り桁数	128
15.9. NW-7 (Codabar)	129
15.9.1. NW-7 の読取り	129
15.9.2. NW-7 の読取り桁数	129
15.9.3. NW-7 の CLSI 編集	130
15.9.4. NW-7 セキュリティレベル	131
15.9.5. NW-7 スタート・ストップキャラクタの送信	132
15.9.6. NW-7 スタート・ストップキャラクタの文字種	132
15.9.7. NW-7 の Mod16 チェックデジットの検査	133
15.9.8. NW-7 の Mod16 チェックデジットの送信	133
15.10. MSI	134
15.10.1. MSIの読取り	134
15.10.2. MSIの読取り桁数	134

15.10.3. MSI チェックデジットの検査	135
15.10.4. MSI チェックデジットの送信	135
15.10.5. MSI チェックデジットのアルゴリズム	136
15.10.6. MSI 縮小クワイエットゾーン	136
15.11. Chinese 2 of 51	37
15.11.1. Chinese 2 of 5の読取り	137
15.12. Matrix 2 of 51	38
15.12.1. Matrix 2 of 5 の読取り	138
15.12.2. Matrix 2 of 5 の読取り桁数	138
15.12.3. Matrix 2 of 5 チェックデジットの検査	139
15.12.4. Matrix 2 of 5 チェックデジットの送信	139
15.13. GS1 Databar	40
15.13.1. GS1 Databar Omnidirectional の読取り	140
15.13.2. GS1 Databar Limited の読取り	140
15.13.3. GS1 Databar Expanded の読取り	140
15.13.4. GS1 Databar を UPC/JAN に変換	141
15.13.5. GS1 Databar Limited マージンチェックレベル	142
15.13.6. GS1 Databar セキュリティレベル	143
15.14. 合成シンボル	44
15.14.1. CC-C の読取り	144
15.14.2. CC-A/B の読取り	144
15.14.3. TLC-39 の読取り	145
15.14.4. 反転合成シンボル	146
15.14.5. UPC 合成モード	147
15.14.6. ビープモード	147
15.14.7. UCC/EAN 合成シンボルを GS1-128 に変換	148
15.15. PDF417	49
15.15.1. PDF417 の読取り	149
15.15.2. Micro PDF417の読取り	149
15.15.3. Code128 エミュレーション	150
15.15.4. PDF417 の優先	150
15.15.5. PDF417 の優先タイムアウト	151
15.16. Data Matrix1	52
15.16.1. Data Matrix の読取り	152
15.16.2. GS1 Data Matrix の読取り	152
15.16.3. Data Matrix 反転イメージの読取り	153
15.17. Maxicode1	54
15.17.1. Maxicode の読取り	154
15.18. QR コード1	55
15.18.1. QR コードの読取り	155

15.18.2. GS1 QR コードの読取り	
15.18.3. Micro QR コードの読取り	
15.18.4. QR コードの連結機能について	
15.19. Aztec	157
15.19.1. Aztec の読取り	
15.19.2. Aztec 反転イメージの読取り	
15.20. Han Xin	
15.20.1. Han Xin の読取り	
15.20.2. Han Xin 反転イメージの読取り	
15.21. Grid Matrix	
15211 Grid Matrixの読取り	159
15.21.2. Grid Matrix 反転イメージの読取り	
15.21.3. Grid Matrix 鏡面イメージの読取り	
15.22. DotCode	
15.22.1. DotCode の読取り	
15.22.2. DotCode 反転イメージの読取り	
15.22.3. DotCode 鏡面イメージの読取り	
15.22.4. DotCode の優先	
15.23. 郵便バーコード	163
15.23.1. US Postnet の読取り	
15.23.2. US Planet の読取り	
15.23.3. US Postal チェックデジットの送信	
15.23.4. UK Postal の読取り	
15.23.5. UK Postal チェックデジットの送信	
15.23.6. 日本郵便カスタマバーコードの読取り	
15.23.7. Australia Post の読取り	
15.23.6. Australia Post ノオーマット	
15.23.10 USPS 4CB/One Code/Intelligent Mailの読取り	166
15.23.11. UPU FICS Postal の読取り	
15.23.12. Mailmark の読取り	
15.23.13. Korea Postalの読取り	
16. バーコードオプション	
16.1. 反転 1 次元バーコード	
16.2. 2 値バーコードのセキュリティレベル	
16.3. 4 値バーコードのセキュリティレベル	
16.4. 1 次元コードのクワイエットゾーンレベル	
16.5. 文字間ギャップサイズ	

16.6. マクロ PDF417	173
16.6.1. バッファの送信	
16.6.2. エントリの中止	
17. Digimarc [®] Barcode	174
17.1. Digimarc Barcodeの読取り	175
18. OCR プログラミング	176
18.1. はじめに	176
18.2. OCR-A の読取り	177
18.3. OCR-A バリアント	178
18.4. OCR-B の読取り	180
18.5. OCR-B バリアント	181
18.6. MICR E13B の読取り	185
18.7. US Currency Serial Numberの読取り	186
18.8. OCR 読取り方向	187
18.9. OCR 読取り行数	
18.10. OCR 最小文字数	
18.11. OCR 最大文字数	
18.12. OCR サブセット	
18.13. OCR クワイエットゾーン	
18.14. OCR テンプレート	
18.14.1. 数字必須	
18.14.2. 英字必須	
18.14.3. 英数字オプション	
18.14.4. 英字オプション	
18.14.5. 英字または数字	
18.14.6. スペース/リジェクトを含む任意の文字	
18.14.7. スペース/リジェクトを除く任意の文字	
18.14.8. 数字オプション	
18.14.9. 数字または埋め文字	
18.14.10. 英字または埋め文字	
18.14.11. スペースオプション	
18.14.12. 特殊文字オプション	
18.14.13. その他のテンプレート演算子	
18.14.13.1. リテラル文字列	
18.14.13.2. 改行	

18.14.13.3. 文字列抽出	
18.14.13.4. フィールドの終わりを無視す	
18.14.13.5. XX に一致するまでスキップ	197
18.14.13.6. XX に非一致するまでスキップ	
18.14.13.7. 繰り返し	
18.14.13.8. テンプレートに一致するまでスクロール	
18.15. OCR チェックテシットのモシュラス	201
18.16. OCR チェックデジットの乗数	202
18.17. OCR チェックデジットの検査	203
18.17.1. 検査なし	
18.17.2. 積を左から右に計算	203
18.17.3. 積を右から左に計算	204
18.17.4. 桁を左から右に計算	205
18.17.5. 桁を右から左へ計算	
18.17.6. チェックデジットを除いて積を右から左に計算	
18.17.7. ナェックデンットを除いて桁を石から左へ計昇	
1010 日本 OCD	210
18.19. OCR 冗長化	211
19. 標準設定値一覧	212
20. クレードルを使用した接続方法	220
20.1. USB キーボードインターフェース	220
20.2. USB 仮想 COM インターフェース	221
20.2.1. USB CDC ドライバ	
20.2.1.1. ドライバのダウンロードとインストール	
20.2.1.2. COM ポート番号の確認	
20.3. RS232C インターフェース	224
21. Bluetooth®を使用した接続方法	225
21.1. BT/BLE キーボード	225
21.1.1. Windows 10 との接続例	
21.1.2. Android との接続例	
21.1.3. iOS(iPhone 等)との接続例	
21.2. BT SPP	228
21.2.1. Windows 10 との接続例	
21.2.2. Android との接続例	

22.1. セットアップ例	
22.2. データの受信確認	231
22.3. 受信したデータが文字化けしている場合	
22.4. データを他のソフトウェアへ再送信させる	
22.5. 起動時、自動実行	
23. よくある質問	234
24. ASCII 文字セット	240
25. 数字バーコード	244
26. 英数記号バーコード	246
27. テストバーコード	

2. はじめに

2.1. 改訂履歴

Version	発行日	改訂履歴
1.0	2020年11月25日	● 日本語版正式リリース
1.1	2021年8月3日	● 23.よくある質問のクレードルの最大接続台数を3台から1台に修正
1.2	2021年9月9日	● LED インジケーター(スキャナ)の動作の誤りを修正

2.2. 本マニュアルについて

本マニュアルは、MS852B_LR Bluetooth 2D イメージャー ロングレンジ スキャナのインストール、操 作、そして保守方法について説明しています。

本書のいかなる部分もユニテック社からの書面による許可なしで、いかなる形式でも、電子的あるいは機械 的を問わず複製することはできません。これは、フォトコピー、レコーディング、あるいは情報の保存と検 索システム等の電気的もしくは機械的な方法を含んでいます。

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© Copyright 2021 Unitech Electronics Co., Ltd. すべての版権は Unitech 社が保有しています。
 Unitech グローバル Web サイトアドレス: <u>https://www.ute.com/en</u>
 ユニテック・ジャパン Web サイトアドレス: https://www.ute.com/jp

2.3. 各認証について

2.3.1. 電波障害自主規制

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、 この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B

2.3.2. 技術基準適合証明

このスキャナは、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を 取得した無線設備を内蔵しています。

本器は工事設計認証を取得していますので、分解・改造すると法律で罰せられることがあります。

2.4GHz 付近の電波で通信している無線装置(Wi-Fi®など)の近くで本器を使用した通信を行なうと、双方の処理速度が落ちる場合や環境により通信ができなくなる場合があります。



2.3.3. RoHS

本装置は欧州連合の規定である電子機器で使用される有害物質の含有についての制限(Reduction Of Hazardous Sub-stances、RoHS)に適合しております。



2.4. バッテリについて

2.4.1. バッテリについての注意

MS852B_LR は、リチウムイオンバッテリを内蔵しています。バッテリはしばらく使用しないと放電しま す。バッテリが放電しきった場合、バッテリを完全に充電するために約 6.5 時間の充電が必要です。

- リチウムイオンバッテリは、最適な性能を保持するために、毎年、あるいは 500 回の充放電を行ったら 交換してください。一年以上の使用、または 500 回以上の充電を行ったバッテリが、膨張するのは一般 的です。膨脹したからといって破損することはありませんが、使用可能時間が著しく減少したり、使用 できなくなったりします。処分するには、地方公共団体の廃棄方法に従い安全に処分してください。
- 2. バッテリの性能低下が 20%以上あれば、そのバッテリの寿命です。続けて使用をしないでください。また、バッテリを適切に廃棄処理してください。
- 3. バッテリの使用可能時間は、使用方法や環境によって異なります。以下の方法でバッテリの寿命を節約 します:
 - 完全放電を繰り返さない。完全放電はバッテリに余計なストレスをかけます。一部を放電し充電を 何度も行う方が完全放電よりも望ましいと言えます。リチウムイオンバッテリを部分的に充電する ことは、メモリ効果がないので、問題になることはありません。
 - リチウムイオンバッテリは、車中などの高温多湿の場所は避け、涼しい場所においてください。長期間保存する場合は、バッテリを40%程度の充電で保存してください。
 - リチウムイオンバッテリを放電したまま長期間使わずに放置しないでください。バッテリは消耗し、寿命は充電を繰り返す場合より半分以下と短くなります。
- 4. バッテリを不要に充電しすぎたり、完全放電したりせずに、バッテリの寿命を節約してください。
- 5. バッテリを充電せずに長時間未使用のまま放置しないでください。ユニテックの施している安全対策に かかわらず、バッテリパックが変形するかもしれません。バッテリパックの変形を確認した場合は直ち に使用を中止し、バッテリを交換するか、サービスセンターへ連絡してください。
- 6. 長時間の充電でも充電できず、バッテリが通常以上に発熱し始めた場合は、直ちに充電を中止してくだ さい。そのバッテリは機能を失っている可能性があります。
- ユニテックの純正バッテリのみを使用してください。サードパーティ製のバッテリを使用すると、正常 に動作しなかったり、機器に損傷を与えたり、バッテリが破損する可能性があります。このような破損 が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 注意! 電池の交換方法を誤ると爆発する危険性があります。バッテリ交換が可能な製品については、その 製品のバッテリ交換方法に従って、適切に交換してください。
- **注意!** 使用済みの電池は、各地方自治体の案内に沿って適切に廃棄してください。廃棄方法を誤ると、その地方自治体によって罰せられる可能性があります。

2.4.2. バッテリ充電についての注意

リチウムイオンバッテリを充電する場合は、周囲の温度を考慮することが重要です。充電は室温あるいはや や涼しい温度で行うのが最も効果的です。バッテリは 0℃から 40℃の範囲で充電を行ってください。この範 囲外でバッテリを充電すると、バッテリにダメージを与え、寿命が短くなります。

- 注意! 0℃以下でバッテリを充電しないでください。内部抵抗が増加し、バッテリが発熱したり不安定になったりして非常に危険です。
- 注意! 機器を正常に動作させるために、すべてのコネクタには、ほこり、グリース、泥、水などの汚染物 を近づけないでください。これらの過失は、機器との接触不良や回路の短絡、異常発熱を引き起こ す原因となります。
- 注意! バッテリやクレードルの接点に水や汚れが付着している場合は、充電を行う前に乾いた布や綿棒等 で拭いてください。汚れがひどい場合はアルコールを少し含ませてから拭いてください。
- **注意**! コネクタの破損は短絡の原因となります。コネクタの破損を見つけた場合は修理をご検討ください。

2.4.3. バッテリの保管と安全についての注意

数ヶ月間使用されなかった充電済みのリチウムイオンバッテリの容量は、内部抵抗により消耗します。この 場合、使用する前に充電する必要があります。リチウムイオンバッテリは、-20℃から 60℃の間で保管する ことができますが、高い温度ではより早く消耗します。バッテリは高温多湿を避けた涼しい場所で保管する ことをお勧めします。

2.5. 製品操作と保管について

ユニテック製品には適用される動作温度や、保存温度条件があります。故障、破損、誤動作を避けるため、 機器の制限に従ってください。

2.6. 電源アダプタについて

1. ユニテック製品を充電していないときは、電源アダプタをソケットから取り外してください。

- 2. バッテリの充電が完了したら、電源アダプタを取り外してください。
- 3. ユニテック製品に付属している電源アダプタは、屋外使用は想定されていません。水や雨にさらされた り、高温や多湿の環境で使用したりすると、アダプタと製品の双方に損傷を与える可能性があります。
- 4. ユニテック製品の充電には、付属の電源アダプタのみをご使用ください。誤った電源アダプタを使用す ると、製品が破損する可能性があります。

2.7. レーザーについて

Unitech 製品は、DHHS/CDRH 21 CFR Subchapter J 要件と IEC 825-1 要件に適合するために米国で認 証されております。CDRH Class II 製品と IEC 825 Class 2 製品は危険であるとは考えられておりませ ん。スキャナは上記の規制の最大値を越えることのない可視レーザダイオード(VLD)を内蔵しています。 本製品は通常の使用や保守・修理作業において、レーザー光が人体に害を及ぼさないように設計されていま す。

レーザー警告文は、製品ラベルに記載されています。

注意! 仕様外の方法でコントロール・調整・使用することは、レーザー光が危険となることがあります。 スキャナを双眼鏡、顕微鏡、拡大鏡などの光学機器と一緒に使用すると目への危険が増加します。 この光学機器には使用者がかけている眼鏡は含みません。

2.8. サービス・サポートについて

2.8.1. メーカー標準保証期間

当社のメーカー標準保証は、以下の保証期間中に通常の使用状況で発生した故障に対して適用されます。

- MS852B_LR スキャナ本体、クレードル本体 1年間
- バッテリパック 3ヶ月
- ケーブルなどを含むその他アクセサリ類 3ヶ月

保証は、機器の改造、不適切な取付けや使用、事故または不注意による落下等における損傷、あるいは何ら かのパーツが不適切に取り付けられていたり、もしくはユーザーによってパーツを交換されていたりする場 合は対象外となります。

2.8.2. 初期不良について

当社の初期不良対応期間は、ご購入後2週間です。これはご購入後使用していなかった期間も含まれます。 ご購入後初期不良を確認した場合は、速やかにご購入いただいた代理店/販売店へご連絡ください。

初期不良の場合は、以下の場合を除き、原則、製品交換にて対応させて頂きます。

- ご購入時の製品状態(本体、アクセサリ、マニュアル、梱包箱など)から欠品がある場合
- 使用者による破損など、通常保証の範囲外となる場合

2.8.3. 修理保守サービスについて

MS852B_LR の修理サービスをご希望のお客様は、ご購入いただいた代理店/販売店へご相談いただくか、弊 社サービスセンターへ直接障害機をお送りください。

弊社サービスセンターへ直接お送りいただく場合は、必ず修理依頼書をご記入頂き障害機に同封してくださ い。事前にメールや FAX をいただく必要はございません。修理依頼書と障害機が同梱されている場合は、障 害機受領後、順番に対応させて頂きます。修理依頼書は下記のリンクよりダウンロードすることができます (PDF または MS WORD)。

[PDF]http://www.unitech-japan.co.jp/service/download/service_request.pdf[MS WORD]http://www.unitech-japan.co.jp/service/download/service_request.docx

修理費用のお見積りやお支払い方法など、修理ご依頼時の詳細については、修理依頼書に記載されておりま す。上記ダウンロード後、必ずご一読ください。

2.9. 各部情報

2.9.1. MS852B_LR 本体



2.9.2. クレードル本体



2.10. インターフェースケーブル

2.10.1. インターフェースポートの信号



PIN	RS232C	USB
1		D+
2	VCC (+5V)	
3		GND
4	GND	コネクタシェル
5	RxD	
6	TxD	
7		VCC (+5V)
8	CTS	
9	RTS	
10		D-

2.10.2. D-SUB 9 コネクタの信号



ピン番号	D-SUB 9
1	
2	RxD
3	TxD
4	
5	GND
6	
7	RTS
8	CTS
9	VCC (+5V)

ピン番号	電源入力
1	電源(+5V)
2	GND

2.10.3. USB インターフェースケーブル(1550-905890G)



2.10.4. RS232C インターフェースケーブル(1550-905891G)



2.10.5. USB Type-C 充電ケーブル(1550-905892G)



2.11. パッケージ内容

	MS852-OUBB0C-SG
スキャナ本体(バッテリ内蔵、保護カバー付き)	\checkmark
クレードル本体	\checkmark
USB インターフェースケーブル	\checkmark
RS232 インターフェースケーブル	
RS232 用 AC アダプタ	
USB-C 充電ケーブル	
クイックガイド	\checkmark
バッテリ交換ガイド	\checkmark
保証書	\checkmark
ユーザー登録カード	\checkmark
無償延長保証について	\checkmark

2.12. アクセサリ(別売)

製品番号	製品名	
5200-900009G	ハンドフリースタンド	
1550-905890G	USB インターフェースケーブル(交換用予備)	
1550-905891G	RS232C インターフェースケーブル	
1550-905892G	USB Type-C 充電ケーブル	
5000-900064G	クレードル(本体のみ)	
1400-900055G	メインバッテリ(交換用予備)	
386124G	保護カバー(交換用予備)	
1010-900008G	RS232C 用 AC アダプタ	
1010-900026G	USB 用 AC アダプタ	

3. 基本操作

3.1. スキャナ電源操作

3.1.1. 電源オン操作

スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続けます。

3.1.2. 電源オフ操作

スキャナのトリガーボタンを7秒以上引き続けます。

3.2. クレードルボタン操作



操作	動作
押してすぐに放す	接続中のスキャナを呼び出す
2秒押し続ける	接続中のスキャナとの接続を解除する
5秒以上押し続ける	クレードルの初期化
	クレードルの機器情報の送信 *
押しながら USB ケーブルを接続(電源オン)	ファームウェア更新モード

*クレードル機器情報の送信方法

- ①USB インターフェースケーブルを外します。
- ②インターフェーススイッチを左(USB)側に変更します。
- ③USB インターフェースケーブルでホストと接続します。
- ④ホストでメモ帳などのテキストエディタを実行します。
- ⑤クレードルボタンを5秒以上、情報が送信されるまで押し続けます。

スキャナの機器情報を確認するには、7.4.バージョン表示(41ページ)をご利用ください。

3.3. スキャナの充電

3.3.1. クレードルを使用した充電

クレードルとホスト PC を付属の USB インターフェースケーブルまたは RS232C インターフェースケーブル で接続し、スキャナをクレードルに挿入して充電します。RS232C インターフェースケーブルで接続する場 合は、付属の専用 AC アダプタを接続するか 9 番ピンに 5V で接続してください。

注意! このときホスト PC (機器) からクレードルに対して電源が供給されている必要があります。そのため、ホスト PC がシャットダウンされていると充電されない場合があります。ご注意ください。



3.3.2. USB Type-C ケーブルを使用した充電

スキャナ本体の底部にある USB Type-C 充電ポートに付属の USB Type-C ケーブルを接続し、反対側の US B コネクタはホスト PC または USB 充電アダプタに接続します。本機はバッテリを取り外した状態での充電 には対応しておりません。



3.4. バッテリの交換方法

3.4.1. バッテリの取り外し

スキャナのバッテリを取り外すには以下の手順に従ってください。

1. スキャナ底部のバッテリカバーのネジを反時計回りに回して取り外します。



2. バッテリカバーを取り外します。このとき下図のように後方を支点に持ち上げてください。



3. バッテリを引き抜きます。



3.4.2. バッテリの取り付け

スキャナのバッテリを取付けるには以下の手順に従ってください。

1. バッテリを挿入します。



2. バッテリカバーを閉じます。無理に閉じると機器の損傷を誘発しますのでご注意ください。

①カバーをグリップに軽	②本体の背面側へ少しず	③本体背面側のフックに	 ④フック部がはずれない
く差し込みます。	らします。	カバーを固定します。	ように軽く押えなが
			ら、カバーをグリップ
			にはめ込みます。

3. バッテリカバーにネジを取り付け、ネジを時計回りに回して固定します。



3.5. ホストとの接続概要

接続操作の方法については、20.クレードルを使用した接続方法(220 ページ)または、21.Bluetooth®を使用した接続方法(225 ページ)をご確認ください。

3.5.1. クレードルを使った接続(USB)

クレードルとホストを USB インターフェースケーブルで接続し、クレードルとスキャナは Bluetooth でワイ ヤレス接続します。これは本機の標準接続方法です。USB キーボードエミュレーションと、USB 仮想 COM エミュレーション (CDC プロトコル) に対応しています。



3.5.2. クレードルを使った接続(RS232C)

クレードルとホストを RS232C インターフェースケーブルで接続し、クレードルとスキャナは Bluetooth で ワイヤレス接続します。



3.5.3. Bluetooth による直接接続

スキャナとホストを Bluetooth で直接接続する方法です。Bluetooth Classic の HID (Human Interface De vice) プロファイルと SPP (Serial Port Profile) および、BLE (Bluetooth Low Energy) の HID over G ATT に対応しています。



3.6. ハンドフリースタンド

ハンドフリースタンドへは、スキャナのヘッドをはめ込むように設置してください。14.2 スキャンモード (84 ページ)のプレゼンテーションと組み合わせるとハンドフリーでの自動読取り操作が可能となります。

- プレゼンテーションモードには多くの電力消費が必要です。読取りと読取りの間隔を5秒以上空けることをお勧めします。短時間に大量の読取りを行うとスキャナが発熱し、動作が不安定になったり動作が停止したりする可能性があります。
- 充電を行いながらプレゼンテーションモードを使用することはバッテリの早期の劣化を招く可能性があります。
- 保護カバーを付けたままではハンドフリースタンドを使用できません。ハンドフリースタンドをご利用 いただく場合は、保護カバーを取り外してください。



3.7. LED インジケーター(スキャナ)

充電状態 LED(天板)

状態	LED ランプ
バッテリ充電中	赤ランプ点灯
バッテリ充電完了	消灯

LED インジケーター(後方)

状態	LED ランプ
バッテリ残量 10% 以下	2 秒間隔で赤ランプが点滅
バッテリ残量 5% 以下	他の LED をすべて停止して赤ランプが高速点滅
システム警告/エラー	5 秒間隔で赤ランプが点滅。 (トリガーキーが押されるまで)
読み取り成功	緑ランプが1回点滅
自動プレゼンテーションモード	2 秒間隔で緑ランプが点滅
システムビジー/スキャンニング無効	1 秒間隔で緑ランプが点滅
Bluetooth ペアリングモード	1 秒間隔で青ランプが点滅
Bluetooth 接続中	青ランプ点灯
Bluetooth 切断中(圏外等)	緑ランプ点灯
Bluetooth 電波微弱、送信不安定	青ランプが高速点滅
ファームウェア更新モード	白ランプ点灯

3.8. LED インジケーター(クレードル)

状態	LED ランプ
ホストとの通信不可	赤ランプ点灯
Bluetooth ペアリングモード	1 秒間隔で青ランプが点滅
Bluetooth 接続中	青ランプ点灯
Bluetooth 切断中(圏外等)	緑ランプ点灯
システムビジー/データ送受信無効	1 秒間隔で緑ランプが点滅
クレードルファームウェア更新モード	白ランプ点灯
スキャナファームウェア更新モード	1 秒間隔で白ランプが点滅

3.9. ブザーインジケーター(スキャナ)

状能	ブザー
電源オン(自動モード)	1回鳴動
電源オン(ウェッジモード)	2 回鳴動
電源オン(バッチモード)	3回鳴動
自動電源オフ警告	自動電源オフが実行される 15 秒前に短く 2 回鳴動
電源オフ	短く鳴動
読み取り成功(Bluetooth 接続中)	1 回鳴動
読み取り成功(Bluetooth 切断中)	2回鳴動(中音→高音)
Bluetooth 接続完了	3回鳴動(低音→中音→高音)
Bluetooth 切断完了	3回鳴動(高音→中音→低音)

3.10. 基本的なバーコードの読取り方



照準パターンの中心(ドット)をバーコードの中央付近に合わせて読み取ります。スキャナは、できる限り 中心の周辺から読取りを試みますが、必ず中心の周辺だけを読取るわけではありません。複数のバーコード が近距離に存在する場合は、より読みやすいバーコードを読み取ります。

照準パターンの中心が重なったバーコードだけを読み取りたい場合は、14.5.ピックリストモード(86 ページ)を使用することを検討してください。



ピックリストモード無効(初期値)	ピックリストモード有効
読取り可能なバーコードのうち最も読	照準の重なった、真ん中のバーコードを
取り易いバーコードを読み取ります。	読み取ります。

3.11. 日本語出力への対応について

MS852B_LR Bluetooth 2D イメージャー ロングレンジ スキャナで、かな、カナ、半角カナ、漢字、その 他の全角文字を含んだ QR コード内の文字列を正しく出力したい場合は、クレードル接続では USB 仮想 CO M インターフェースまたは RS232C インターフェース、Bluetooth 接続では BT SPP での接続と、専用の 受信ソフトウェアのセットアップが必要です。

日本語出力対応表

	クレードル接続	Bluetooth®接続
Windows	設定により可能	設定により可能
Android	不可	設定により可能
iOS(iPhone、iPad など)	不可	不可

USB 仮想 COM インターフェースの接続例については、221 ページの 20.2.USB 仮想 COM インターフェー スをご覧下さい。

RS232C インターフェースの接続例については、224 ページの 20.3.RS232C インターフェースをご覧下さい。

BT SPPの接続例については、228 ページの 21.2.1.Windows 10 との接続例または、229 ページの 21.2.2. Android との接続例をご覧下さい。

4. 仕様

モデル		MS852-OUBB0C-SG			
光学系	受光素子		1280 x 800 ピクセル		
	光源	照明	660 nm ハイパーレッド LED		
		照準	655 nm 赤色レーザー(中心ドット:0.6mW)		
	環境光		最大 107,639 lux (直射日光)		
	最小分解能	Code 39	0.0762 mm		
		PDF417	0.127 mm		
		Data Matrix	0.254 mm		
	スキュー角度		± 60°		
	ピッチ角度		± 60°		
	傾度		360°		
	視野角	水平	32.0°(近距離)、12.0°(遠距離)		
		垂直	20.0°(近距離)、7.6°(遠距離)		
	印刷コントラスト比		最小 25%		
	読み取り距離*1	Code 39	7.6cm~215.9cm	(細バーの幅:0.0762mm)	
			10.2cm~436.9cm	(細バーの幅:0.508mm)	
			15.2cm~863.6cm	(細バーの幅:1.016mm)	
			17.8cm~1092.2cm	(細バーの幅:1.397mm)	
			50.8cm~1778.0cm	(細バーの幅:2.54mm)(台紙:紙素材)	
		Code 128	15.2cm~254.0cm	(細バーの幅:0.381mm)	
			20.3cm~254.0cm	(細バーの幅:0.381mm)(バーコード全体の幅:10.16cm)	
			76.2cm~1778.0cm	(細バーの幅:2.54mm)(台紙:反射素材)	
		100% UPC	8.9cm~228.6cm	(細バーの幅:0.330mm)	
		Data Matrix	12.7cm~114.3cm	(セルサイズ:0.254mm)	
			12.7cm~635.0cm	(セルサイズ:1.397mm)	
		QR Code	40.0cm~2085.0cm	(セルサイズ:2.54mm)	
無線	無線 通信規格 通信距離		Bluetooth® LE V4.2 および	[、] Bluetooth® Classic V2.1+EDR デュアルモード	
			Class 1 ^{*2} (見通し最大 100	メートル)	

	プロファイル		HID、SPP
機械仕様	幾械仕様 外寸		87.8mm x 71.6mm x 177.7mm (スキャナ本体のみ)
	重量		233g (スキャナ本体のみ)
	トリガー寿命		1,000万回
機能	対応シンボル	1 次元	JAN/EAN/UPC、Code 39、Code 128、GS1-128*3、Interleaved 2of 5 (ITF)、Discrete 2 of 5、Matrix 2 of
			5、Codabar (NW7)、Code 93、Code 32、Code 11、MSI、Chinese 2 of 5、GS1 Databar シリーズ ^{*3}
		2 次元	PDF417、Micro PDF417、合成シンボル(CC-A/B/C/TLC-39) ^{*3} 、Data Matrix、GS1 Data Matrix ^{*3} 、Aztec、QR
			コード、GS1 QR コード*3、Micro QR コード、Han xin、Grid Matrix、DotCode
		郵便	日本郵便カスタマバーコード、US Postnet、US Postal、UK Postal、Australia Postal、Netherlands KIX、USPS
			4CB/One Code/Inteligent Mail、UPU FICS Postal、Mailmark、Korea Postal
		Digimarc	0
		OCR	OCR-A、OCR-B、MICR E13B、US Currency Serial Number
	トリガーモード		レベル、プレゼンテーション、ピックリスト
	データフォーマット		ターミネーター、プリフィックス、サフィックス、コード ID
	インジケーター		LED、ブザー、バイブレーター
内蔵メモリ	容量	自動モード用	20 КВ
		バッチモード用	7 MB
	保存件数	自動モード	約 1,500 件
		バッチモード	約 590,000 件
電源	バッテリタイプ		交換可能な充電式リチウムイオン電池
	バッテリ容量		2850 mAh
	充電時間		最大 6.5 時間
	動作時間		12 時間以内
耐環境	ESD 保護		8K コンタクトおよび 15K エア、テスト後正常動作
	落下テスト	保護カバーなし	1.8 M からコンクリート床(スキャナ本体のみ) ^{*4}
		保護カバーあり	2.2 M からコンクリート床(スキャナ本体のみ)*4
	防塵・防水		IP42
	動作温度範囲		-10°C から 50°C
	保存温度範囲		-40°C から 70°C
	相対湿度		95% 結露無いこと
認証		CE, FCC, BSMI, VCCI, TELEC, NCC, BQB	
-------	----------	--------------------------------------	
クレードル	インターフェース	USB、USB 仮想 COM、RS232C	
	外寸	120.6mm x 88.7mm x 86.0mm	
	重量	161g	

*1 読み取り距離はバーコードの幅に依存します。

*2 通信距離はホストの Bluetooth 通信距離に依存します。

*3 AIの編集には対応していません。括弧の出力には対応していません。

*4 弊社テスト基準に基づく落下試験における実験値であり、無破損・無故障を保証するものではございません。

5. 対応シンボル初期値一覧

スキャナは以下のバーコードシンボルの読取りに対応しています。〇は、初期設定の状態で読取れるかどう かを表しています。〇のないバーコードシンボルは、15.バーコード読取設定(94ページ)を参考に個別に 設定が必要です。初期設定で読取れるバーコードシンボルでも読取れない場合は、19.標準設定値一覧(212 ページ)を参考に設定を確認してください。

Code39	0	Data Matrix	\bigcirc
Code93		GS1 Data Matrix	
Code11		Maxicode	
Code128	\bigcirc	QR コード	\bigcirc
GS1-128	0	GS1 QR コード	
ISBT128	0	Micro QR コード	\bigcirc
UPC-A	\bigcirc	Aztec	\bigcirc
UPC-E	\bigcirc	Han Xin	
UPC-E1	\bigcirc	Grid Matrix	
JAN-8	0	DotCode	
JAN-13	0	US Postnet	
ISBN	0	US Planet	
ISSN	0	UK Postal	
		日本郵便カスタマバーコード	
Codabar		Australia Post	
Discrete 2 of 5		Netherland KIX	
Interleaved 2 of 5		USPS 4CB	
MSI		One Code	
Chinese 2 of 5		Intelligent Mail	
Matrix 2 of 5		UPU FICS Postal	
Korean Postal		Mailmark	
GS1 Databar	\bigcirc	Digimarc Barcode	
GS1 Databar Limited	\bigcirc	OCR-A	
GS1 Databar Expanded	\bigcirc	OCR-B	
CC-A		MICR E13B	
СС-В		US Currency Serial Number	
CC-C			
TLC-39			
PDF417	0		
Micro PDF			

6. 設定方法について

スキャナは、専用の設定バーコードを読み込ませることで設定の変更を行います。変更された設定は不揮発 性メモリに保存され、スキャナの電源を切っても設定は保持されます。

スキャナの設定を変更するには、ターゲットの設定バーコードを読み込ませてください。

多くのコンピュータモニタでは、モニタ上に表示させたバーコードを直接読取ることができます。モニタ上 に表示されたバーコードを読取るためには、バーコードがはっきりと見えるように拡大してから読取ってく ださい。拡大率などはモニタの仕様によります。

設定バーコードの仕様については、次の例図をご参照ください



7. システム設定

7.1. 設定バーコードの読取

設定バーコードによるパラメータ変更を無効にすることができます。

初期值 = 有効





7.2. 設定値の初期化

スキャナの設定を初期化するために以下のコードを使用します。このオプションは Bluetooth のペアリング 設定も初期化します。初期化中はトリガー操作が無効となります。



工場出荷デフォルト

7.3. 設定値の初期化(ペアリング情報の保持)

通信状態やペアリングに関する情報を保持したままスキャナの設定を初期化する場合は、こちらのコードを 使用してください。



工場出荷デフォルト(ペア情報保持)

7.4. バージョン表示

スキャナのファームウェアバージョン情報をホストに表示します。このコマンドを使用する場合、スキャナ とホストが正常に接続されていて、ホストで表示可能なアプリケーションが実行されている必要がありま す。



7.5. オペレーションモード

スキャナは以下の3つのオペレーションモードをサポートしています。

- **ウェッジモード** 無線通信中はリアルタイムに読み取ったデータをホストに送信します。無線切断中に 読み取ったバーコードは破棄されます。
- **バッチモード** 無線通信を停止し、常に内蔵メモリヘデータを保存します。保存したデータは専用のバ ーコードを読み取って送信します。バッチモードを使用する場合は 10.内蔵メモリ設定(バッチモー ド)(53 ページ)も合わせてご覧下さい。
- **自動モード*** 無線通信中はリアルタイムに読み取ったデータをホストに送信します。無線切断中に読み 取ったバーコードは一時メモリへ待避され、無線接続されると同時にすべての待避データを送信しま す。一時メモリへ待避したデータは、ホストへ送信されるか電源が OFF になると自動的に削除されま す。

初期値 = 自動モード



バッチモード



7.6. 自動パワーオフ(省電力)

スキャナは無操作を続けた場合の省電力による自動パワーオフをサポートしています。

初期值 = 15分







1 時間











8. 通信設定

8.1. クレードル接続と Bluetooth 接続を切り替える

クレードル接続から Bluetooth 接続に切り替えるには、最初に 7.2.設定値の初期化(40 ページ)または 8.4. ペアリング情報削除(45 ページ)のコードを読取り、次に 8.3.Bluetooth®通信タイプ(44 ページ)の任意 のコードを読み取ります。

Bluetooth 接続からクレードル接続に切り替えるには、最初に 7.2.設定値の初期化(40 ページ)または 8.4. ペアリング情報削除(45 ページ)のコードを読取り、次にクレードルボタンを 2 秒間押し続けてから放しま す。※この操作は、クレードルの電源がオンの状態で行ってください。



上記の操作後、ホストの Bluetooth®やクレードルとペアリングしてください。

8.2. クレードルの自動ペアリング設定

クレードルのペアリング待機時に、スキャナをクレードルに挿入したとき、自動的にペアリングを開始する かどうかを設定します。この機能が**無効**の場合、クレードルとのペアリングにはペアリングバーコードを使 用します。

初期値 = クレードル自動ペアリング有効





8.3. Bluetooth®通信タイプ

スキャナは、以下の3つの通信タイプをサポートしています。通信タイプを変更すると LED ランプが緑色に 点滅を開始し、正常に変更されると再び LED ランプが青点滅となります。







スキャナの接続を受けるホストの Bluetooth が以下のプロファイルをサポートしている必要があります。

通信タイプ	Bluetooth プロファイル	Bluetooth バージョン	
BLE キーボード	HID over GATT	Bluetooth V4.2 以上	
BT キーボード	HID	Bluetooth V2.1 以上	
BT SPP	SPP	Bluetooth V2.1 以上	

- BLE キーボードは、Windows 8.1 以上、iOS 6 以上、Android 4.3 以上の OS でサポートされています。

- Ø BT SPP で Windows プラットフォームへ接続する場合は、8.6.BT SPP 自動接続(46 ページ)を無効 にしてからペアリングしてください。
- iOS 機器(iPhone、iPad など)は BT SPP での接続をサポートしていません。そのため、<u>iOS 機器で</u> は日本語を含む QR コードを正しく出力することはできません。

8.4. ペアリング情報削除

スキャナに保存されているペアリング情報を削除し、再びペアリング可能な状態にします。これはクレード ルによるペアリング、Bluetooth®によるペアリングの双方で機能します。

一時的に接続を切断したいだけの場合はスキャナの電源 OFF を行ってください。このバーコードを読み取った場合は、再ペアリングの作業が必要です。



8.5. 無線電波状態の確認

高レベルを選択すると、通信品質は向上しますが、通信距離は短くなります。このオプションは **BLE キーボ** ードで接続している場合のみ機能します。

初期値 = 標準レベル





45

8.6. BT SPP 自動接続

Windows プラットフォームに接続する場合は**無効**に、それ以外のプラットフォームに接続する場合は**有効**に してください。

初期值 = 有効





8.7. BT SPP ACK/NAK

データを受信するアプリが ACK/NAK に対応している場合は**有効**にしてください。RSWedge は対応してい ないため、**無効**にしてください。

初期值 = 無効





9. インジケーター設定

9.1. ブザー音量

スキャナは、ブザー音量を次の4つのオプションから選択することができます。

初期值 = 音量「中」









9.2. バイブレーター

バイブレーターを使用したい場合は、このオプションを**有効**に設定し、各インジケーター設定をバイブレー ターまたはブザー+バイブレーターに設定します。

初期值 = 有効





9.3. 読取成功インジケーター

読取り成功時のインジケーターを次の4つのオプションから選択することができます。

初期値 = ブザー









9.4. 無線接続インジケーター

無線通信の接続・切断時のインジケーターを次の4つのオプションから選択することができます。

初期値 = ブザー









9.5. システム設定インジケーター

システム設定を行った時のインジケーターを次の4つのオプションから選択することができます。

初期値 = ブザー









9.6. 警告・エラーインジケーター

警告およびエラー発生時のインジケーターを次の4つのオプションから選択することができます。

初期値= ブザー









9.7. パワーオンインジケーター

電源オン時のインジケーターを次の4つのオプションから選択することができます。

初期値 = ブザー









9.8. パワーオフインジケーター

電源オフ時のインジケーターおよび、7.6.自動パワーオフ(省電力)(42 ページ)前の警告インジケーターを 次の 4 つのオプションから選択することができます。

初期値 = ブザー









9.9. ダイレクトデコードインジケーター

この設定は、14.2.スキャンモード(84 ページ)がトリガーまたは自動照準の場合のみ適用されます。この 設定を使用すると、赤色照明を読取りの確認に使用することができます。1回点滅または2回点滅に設定さ れた場合は、スキャナはバーコードを読み取ったあと照明を点滅させ、ユーザーに読み取ったことを通知し ます。読取り時にトリガーを放すと照明の点滅は起こりません。そのため、この機能を使用するにはバーコ ード読み取り後もトリガーを押し続ける必要があります。照明の点滅後またはトリガーを放した後は、通常 通り次のバーコードを読取ることができます。

初期值 = 無効







10. 内蔵メモリ設定(バッチモード)

内蔵メモリに保存されるデータは2種類あり、それぞれ別の用途で使用されます。本項では以下の名称で使 用されています。

- バッチデータ…7.5.オペレーションモード (41 ページ) がバッチモードの時に保存されるデータで す。不揮発性メモリへ保存され、自動的なデータ削除は行われません。
- 一時データ……7.5.オペレーションモード(41ページ)が自動モードのときに保存されるデータです。揮発性メモリへ保存され、データが送信されるか電源 OFF されることによって自動的に削除されます。本項掲載の削除バーコードを使用して送信前に手動で削除することもできます。

10.1. バッチデータ送信

無線通信を使用して内蔵メモリに保存したテキストデータをホストに送信します。



10.2. 最後に保存されたデータを削除

最後に保存されたデータだけを削除することができます。誤ったデータを読み取ってしまった場合などに使 用することができます。



最後に保存されたデータを削除

10.3. すべてのバッチデータを削除

保存されているすべての**バッチデータ**を削除することができます。以下のバーコードを、**バッチデータ削除** 準備、削除実行の順に読み取ります。データ削除準備後に取り消したい場合は、スキャナの電源を切って下 さい。



バッチデータ削除準備





10.4. すべての一時データを削除

保存されているすべての**一時データ**を削除することができます。以下のバーコードを、**一時データ削除準** 備、削除実行の順に読み取ります。一時データはデータ削除準備後に取り消すことはできませんのでご注意 ください。







10.5. 内蔵メモリ容量の確認

バッチデータの保存スペースおよび一時データの保存スペースを確認することができます。バーコードを読 み取ると、ホストへ容量の情報が送信されます。このオプションを使用するためには、事前にホストとペア リングを行っている必要があります。

送信される情報は次の通りです。

Total Buffer Space…一時データの全保存可能容量 Available…一時データの保存可能容量(フリースペース)

Total Drive Space…バッチデータの全保存可能容量 Available…バッチデータの保存可能容量(フリースペース)



10.6. バッチ送信終了メッセージ

有効にすると、バッチデータを全て送信後に終了メッセージを送信します。終了メッセージは次のように送 信されます。

End of File Total…送信したデータの数(10進数)CS…32 ビットチェックサム(16進数)

初期值 = 無効





10.7. 電源オフ時の一時データ

この機能を**有効に**すると、電源オフ時に一時データが消去されなくなります。ただし電源オフ時のバッテリ 消費量が上昇しますのでご注意ください。

初期值 = 無効





11. USB/BT/BLE キーボード設定

本項の設定は、クレードル接続時の USB キーボードインターフェース、Bluetooth®接続時の BT/BLE キー ボード時に使用されます。

11.1. USB/BT/BLE キーボード文字間遅延

文字間に挿入される遅延時間を設定します。ホストでより遅いデータ転送が必要な場合に使用してくださ い。

初期値 = 遅延無し













11.2. USB/BT/BLE キーボードデータ間遅延

バーコードデータ間に挿入される遅延時間を設定します。

初期値 = 遅延無し













11.3. 大文字/小文字の変換

読取ったバーコードデータを全て大文字または小文字で出力することができます。

初期値 = 自動トレース







すべて大文字に変換する

11.4. キーボードレイアウト

ホストのキーボードレイアウトに合わせたカントリーコードを以下よりスキャンします。

記号など一部の文字が正常に表示されない場合(例えば「)」→「(」や「_」→「=」など)、ほとんどは「**日 本語**」、「ALT モード」のいずれかを選択することで解決します。

初期值 = 英語(北米)









キーボードレイアウト (続き)

















12. RS232 設定

12.1. 標準設定値

パラメータ	值	設定
ボーレート	9600 baud	可(クレードル V1.34 以降)
データビット	8	不可
パリティ	なし	不可
ストップビット	1	不可
フロー制御	なし	不可

12.2. ボーレート

クレードルのバージョン V1.34 以降でサポートされます。

初期值 = 9,600













13. データ送信設定

13.1. 送信データフォーマットについて

スキャナで読取ったバーコードデータは次のフォーマットでホストに送信されます。

{プリフィックス} {コード ID} [バーコードデータ] {サフィックス} [ターミネーター]

() 一 初期設定では出力されません。出力するには設定が必要です。

[] ― 初期設定で出力されます。

13.2. コード ID の送信

スキャナは、サポートしているバーコードシンボルに対して、あらかじめ決められたコード ID を持っています。

初期値 = 送信しない







AIM コード ID を送信

13.2.1. シンボルコード ID 一覧表

シンボルコード ID	バーコードシンボル			
А	UPC/EAN/JAN			
В	Code 39、Code32			
С	Codabar (NW-7)			
D	Code 128、ISBT 128			
E	Code 93			
F	Interleaved 2 of 5 (ITF)			
G	Discrete 2 of 5、IATA 2 of 5			
Н	Code 11			
J	MSI			
К	GS1-128			
L	Bookland EAN			
М	Trioptic Code 39			
Ν	Coupon Code			
R	GS1 Databar 系			
S	Matrix 2 of 5			
Т	UCC コンポジット、TLC 39			
U	Chinese 2 of 5			
V	Korean 3 of 5			
Х	ISSN、PDF417、Micro PDF417			
Z	Aztec、Aztec Rune			
P00	Data Matrix			
P01	QR ⊐−ド、Micro QR ⊐−ド			
P02	Maxicode			
P03	US Postnet			
P04	US Planet			
P05	日本郵便力スタマバーコード			
P06	UK Postal			
P08	Netherlands KIX Code			
P09	Australia Post			
POA	USPS 4CB/One Code/Intelligent Mail			
POB	UPU FICS Postal			
РОН	Han Xin			
POX	Signature Capture			

13.3. AIM コード ID 一覧表

AIM コード ID は3つの識別子(]cm)を含んで表示されます。

- **]** フラグ文字
- **C** コード文字
- **m** 修飾文字

13.3.1. AIM コード ID コード文字

コード文字	コードタイプ			
А	Code 39、Code 39 フル ASCII、Code32			
С	Code 128、ISBT 128、GS1-128、Coupon			
d	Data Matrix			
E	UPC/EAN/JAN			
е	GS1 Databar 系			
F	Codabar (NW-7)			
G	Code 93			
Н	Code 11			
h	Han Xin			
1	Interleaved 2 of 5 (ITF)			
L	PDF417、Micro PDF417			
L2	TLC 39			
М	MSI			
Q	QRコード、Micro QRコード			
S	Discrete 2 of 5、IATA 2 of 5			
U	Maxicode			
Z	Aztec、Aztec Rune			
Х	Code 39 Trioptic, Bookland EAN, Matrix 2 of 5, Chinese 2 of 5,			
	Korean 3 of 5、ISSN、日本郵便カスタマバーコード、US Postnet、US			
	Planet、UK Postal、Australia Post、Netherlands KIX Code、USPS 4			
CB/One Code/Intelligent Mail、UPU FICS Postal、Signature Ca				

13.3.2. AIM コード ID 修飾文字

修飾文字はオプション値の合計です。

オフション値	オブジョン			
Code 39				
0	チェックデジットも、フル ASCII 変換もなし			
1	チェックデジットを検査した			
3	チェックデジットを検査し送信しなかった			
4	フル ASCII 変換を行った			
5	フル ASCII 変換を行い、チェックデジットを検査した			
7	フル ASCII 変換を行い、チェックデジット検査し送信しなかった			
例 フル ASCII バ-	ーコードのチェックデジットを検査し送信しなかった場合の AIM コード ID は、]A7 となります。			
Trioptic Code 3	9			
0	オプションが設定されておらず、常に0を送信します			
例 Trioptic Code	∋ 39 のコード ID は、]X0 となります。			
Code 128				
0	FNC1 コードが最初の文字の位置に無い			
1	FNC1 コードが最初の文字の位置にある			
2	FNC1 コードが2番目の文字の位置にある			
例 Code128また	- ニは EAN128 バーコードの最初の文字の位置に FNC1 コードがある場合の AIM コード ID は、]C1			
となります。				
Interleaved 2 o	f 5 (ITF)			
0	チェックデジットを検査していない			
1	チェックデジットを検査した			
3	チェックデジットを検査し送信しなかった			
例 Interleaved 2	? of 5のチェックデジットを検査しない場合の AIM コード ID は、]IO となります。			
Codabar (NW-7	')			
0	チェックデジットを検査していない			
1	チェックデジットを検査した			
例 Codabarのチ	ェックデジットを検査しない場合の AIM コード ID は、]FO となります。			
Code 93				
0	オプションが設定されておらず、常に0を送信します			
例 Code93 バーコードのコード ID は、]G0 となります。				
MSI				
0	チェックデジットが送信されます			
1	チェックデジットは送信されません			
例 MSI のコード ID は、]MO となります。				
Discrete 2 of 5				
0	オプションが設定されておらず、常に0を送信します			
例 Discrete 2 of 5のコード ID は、]SO となります。				
UPC/JAN				
0	アドオンコードを含まない UPC-A、UPC-E および JAN-13			
1	2 桁アドオンコードのみ			
2	5 桁アドオンコードのみ			
3	アドオンコードを含む UPC-A、UPC-E および JAN-13			
4	JAN-8			
例 UPC-A のコード ID は、]EO となります。				

AIM コード ID 修飾文字(続き)

オプション値	オプション				
Bookland EAN					
0	オプションが設定されておらず、常に0を送信します				
例 Bookland EAN のコード ID は、]XO となります。					
ISSN					
0	オプションが設定されておらず、常に0を送信します				
例 ISSN のコード	ID は、]XO となります。				
Code11					
0	1つのチェックデジット				
1	2つのチェックデジット				
3	チェックデジットを検査し送信しなかった				
例 Code 11のコ	ー				
GS1 Databar 系					
0	オプションが設定されておらず、常に0を送信します				
例 GS1 Databar	・のコード ID は、]e0 となります。				
合成コード					
	ネイティブモード				
0	標準データパケット				
1	エンコードされたシンボル区切り文字に続くデータを含むパケット				
2	エスケープ文字に続くデータを含むパケット。データパケットは ECI プロトコルをサポートしません。				
3	エスケープ文字に続くデータを含むパケット。データパケットは ECI プロトコルをサポートします。				
	GS1-128 エミュレーション				
1	データパケットは GS1-128 です(先頭に]JC1 がつく)				
PDF417、Micro	PDF417				
0	リーダーは 1994 年の PDF417 シンボル体系仕様で定義されたプロトコルに準拠するように設定				
	されています。				
	ト 92DEC が送信時に 2 倍になったかどうかを確実に判断できません。				
1	リーダーは ECI プロトコルに従うように設定されています。すべてのデータ文字 92DEC は 2 倍になります。				
2	リーダーは基本チャネル操作用に設定されています(エスケープ文字伝送プロトコルなし)。 デ				
	ータ文字 92DEC は 2 倍になりません。				
	デコーダに ECI エスケープシーケンスの伝達を要求するシンボルは送信できません。				
3	バーコードには GS1-128 記号が含まれており、最初のコードワードは 903-907、912、914、915 です。				
4	バーコードには GS1-128 記号が含まれており、最初のコードワードは 908-909 です。				
5	バーコードには GS1-128 記号が含まれており、最初のコードワードは 910-911 です。				
例 PDF417のコー	ード ID は、]L0 となります。				
Data Matrix					
0	ECC 000 - ECC 140 (未サポート)				
1	ECC 200				
2	最初の位置または 5 番目の位置に FNC1 がある ECC 200				
3	2 番目の位置または 6 番目の位置に FNC1 がある ECC 200				
4	ECI プロトコルを実装した ECC 200				
5	ECI プロトコルを実装しており、最初に位置または 5 番目の位置に FNC1 がある ECC 200				
6	ECI プロトコルを実装しており、2 番目の位置または 6 番目の位置に FNC1 がある ECC 200				

AIM コード ID 修飾文字(続き)

オプション値	オプション
Maxicode	
0	モード 4 またはモード 5
1	モード 2 またはモード 3
2	ECI プロトコルを実装したモード 4 またはモード 5
3	セカンダリメッセージに ECI プロトコルを実装したモード 2 またはモード 3
QR Code	
0	モデル 1
1	ECI プロトコルを実装していないモデル 2、または MicroQR コード
2	ECI プロトコルを実装したモデル 2
3	ECI プロトコルを実装しておらず、最初の位置に FNC1 があるモデル 2
4	ECI プロトコルを実装しており、最初の位置に FNC1 があるモデル 2
5	ECI プロトコルを実装しておらず、2 番目の位置に FNC1 があるモデル 2
6	ECI プロトコルを実装しており、2 番目の位置に FNC1 があるモデル 2
Aztec	
0	Aztec
С	Aztec Runes
HAN XIN	
0	一般的なデータ。特別な機能は設定されていません。 送信データは AIM ECI プロトコルに準拠していません。
1	ECI プロトコルが有効。エンコードされた ECI モードが少なくとも 1 つあります。送信データは
	AIM ECI プロトコルに従う必要があります。

13.4. ターミネーター

以下の5つの定義済みの文字から選択します。接続方式によって送信される値が異なることに注意してくだ さい。クレードル接続方式の USB キーボードインターフェース、Bluetooth®接続の BT キーボードまたは BLE キーボードが選択されている場合はキーストロークとして、クレードル接続方式の USB 仮想 COM イ ンターフェースまたは RS232C インターフェース、Bluetooth®接続の BT SPP が選択されている場合は A SCII コードとして送信されます。

定義済み文字	キーストローク	ASCII コード
なし	送信しません	送信しません
CR	Enter +-	0x1d
LF	未定義。設定は変更されません	Oxla
CR+LF	Enter → Ctrl+J の順に送信	Oxld, Oxla
нт	Tab +-	0x09

初期值 = CR









13.5. プリフィックスとサフィックス

プリフィックスとサフィックスに、任意の制御文字・英数字・記号を設定することができます。

プリフィックス、サフィックスを追加で送信するためには、13.6.送信データフォーマット(69ページ)を適切に設定する必要があります。

プリフィックス設定





サフィックス2設定



イドノビ

サフィックス1を Tab に変更する場合は、次の手順で行います。

- ステップ1: 24.ASCII 文字セット(240 ページ)から TAB の Prefix/Suffix 値を確認します。
- ステップ2: **サフィックス1設定**を読取ります。
- ステップ3: 25.数字バーコード(244ページ)から1、0、0、9の順に読取ります。
- ステップ4: 13.6.送信データフォーマット(69ページ)から**<データ><サフィックス 1>**を読み取りま す。

13.6. 送信データフォーマット

スキャナから送信されるデータのフォーマットを設定することができます。プリフィックス/サフィックスの 設定変更は13.5.プリフィックスとサフィックス(68 ページ)をご覧ください。

*データ*は、読み取ったバーコードデータのことです。

 各サフィックスの後に13.4.ターミネーター(67ページ)が送信されます。

初期値 = データのみ









<データ><サフィックス 1><サフィックス 2>





<プリフィックス><データ><サフィックス 1>



<プリフィックス><データ><サフィックス 2>



<プリフィックス><データ><サフィックス 1><サフィックス 2>

13.7. "読取なし"メッセージの送信

バーコードの読取り時、"読取なし"メッセージをホストへ送信するかどうかを設定することができます。

有効 - トリガーを放す前、または 14.7.読取りセッションタイムアウト(87 ページ)の期限前のとき、 バーコードの読取りに成功しなかった場合は「NR」をホストへ送信します。

無効 - 「NR」を送信しません。

初期值 = 無効





13.8. バーコード内の制御コードの送信

バーコードや QR コードに含まれる非印字文字の制御コード (0x00~0x1F) を送信するかどうかを設定する ことができます。

部分的に送信する — Back Space (0x08)、Tab (0x09)、Enter (0x0D)、Escape (0x1B) のみを送 信します。シリアル通信時に一部の制御コードが送信されないことに注意してください。

すべて送信する - すべての制御コードを送信します。

すべて送信しない – すべての制御コードを送信しません。

初期値 = 部分的に送信する







13.9. ECI 文字の送信

この機能が有効のとき、スキャナはデータに含まれる ECI 文字を送信します。

初期值 = 有効





13.10. キーストロークの送信

スキャナは、ASCII 文字(半角英数記号)および特定の Windows 機能キーを単独キーストロークまたは複 合キーストロークで送信することができます。

- ・ この機能を使用するには、ユーザーによるバーコードの作成が必要です。
- ・ 作成するバーコードの規格は、Code 128 または QR コードです。
- ・ バーコードの文字列は必ず「¥¥」から始めます。 ※フォントによっては「\\」
- ・ 「¥¥」に続けて ASCII 文字または機能キーの HEX 値を含めます。
- ・ 文字列は常に偶数です。
- ・ 13.4.ターミネーター (67 ページ) は送信されません。
- ・ Make/Break は他のキーと組み合わせて使用する必要があります。
- ・ 一部の記号を正しく出力するには正しい 11.4.キーボードレイアウト(58 ページ)を設定します。

機能キー	HEX 値	機能キー	HEX 値	機能キー	HEX 値
F1	80	F2	81	F3	82
F4	83	F5	84	F6	85
F7	86	F8	87	F9	88
F10	89	F11	8A	F12	8B
- (テンキー)	94	+(テンキー)	95	左 Win Make	96
左 Win Break	97	Home	98	End	99
\rightarrow	9A	\leftarrow	9B	\uparrow	9C
\downarrow	9D	Page Up	9E	Page Down	9F
ТАВ	AO	Shift + TAB	A1	ESC	A2
Enter	A3	Enter(テンキー)	A4	右 Ctrl	A6
左 Shift Make	A7	左Ctrl Make	A8	左 Alt Make	A9
左 Shift Break	AA	左Ctrl Break	AB	左 Alt Break	AC
Insert	AE	Delete	AF	Backspace	7F

サポートされている Windows 機能キーテーブル

Make — キーを押しっぱなしにする

Breake — 押しっぱなしにしていたキーを開放する
キーストロークの送信(続き)

サポートされている ASCII 文字テーブル

ASCII 文字	HEX 値	ASCII 文字	HEX 値	ASCII 文字	HEX 値
半角空白	20	!	21	"	22
#	23	\$	24	%	25
&	26	1	27	(28
)	29	*	2A	+	2B
,	2C	-	2D		2E
/	2F	0	30	1	31
2	32	3	33	4	34
5	35	6	36	7	37
8	38	9	39	:	ЗA
;	3B	<	3C	=	3D
>	ЗE	?	3F	@	40
А	41	В	42	С	43
D	44	E	45	F	46
G	47	Н	48	1	49
J	4A	К	4B	L	4C
М	4D	Ν	4E	0	4F
Р	50	Q	51	R	52
S	53	Т	54	U	55
V	56	W	57	Х	58
Y	59	Z	5A	[5B
\	5C]	5D	^	5E
_	5F	×	60	а	61
b	62	С	63	d	64
е	65	f	66	g	67
h	68	i	69	j	6A
k	6B	1	6C	m	6D
n	6E	0	6F	р	70
q	71	r	72	S	73
t	74	u	75	V	76
w	77	х	78	У	79
Z	7A	{	7B		7C
}	7D	~	7E		

キーストロークの送信(続き)

例 1:TAB キーを送信するバーコードを作成するには

 TABのHEX値
 <td::A0</td>

 結果の文字列
 <td:¥¥A0</td>





例 2: Esc キーを送信後、文字列「Abc」を送信し、最後に F5 キーを送信するには
 Esc の HEX 値
 : A2

A の HEX 値	: 41
bの HEX 値	: 62
c の HEX 値	: 63
F5 の HEX 値	: 84
結果の文字列	: ¥¥A241626384





例3: Ctrl+A (修飾キーの組み合わせ)を送信するには 左 Ctrl Make の HEX 値 : A8 aの Hex 値 : 61 左 Ctrl Brake の HEX 値 : AB 結果の文字列 : **¥¥A861AB**







キーストロークの送信(続き)

サンプル(QR コード)







Page Up







Enter (テンキー)



•<u>}</u>



Backspace







Page Down



Shift + TAB



Enter



右 Ctrl



キーストロークの送信(続き)



 </













,



.

















+



_





キーストロークの送信(続き) サンプル(QR コード) 2 3 4 5 6 7 9 8 : ; < = ? > @ А С В

















14. トリガー操作設定

14.1. 自動プレゼンテーション

自動プレゼンテーションとは、スキャナをクレードルにセットすることで、14.2.スキャンモード(84 ページ)のレベルとプレゼンテーションを自動で切り替える機能です。

クレードルにスキャナを設置すると、スキャナはクレードルを自動的に検知し、**プレゼンテーション**へ移行 します。プレゼンテーションでは、スキャナがバーコードを検知するとトリガーボタンを操作することなく 自動的に読取り動作を行います。ハンドフリーでバーコードの読取りが可能になります。



クレードルからスキャナを取り外すと、スキャナは即座に**レベル**に移行します。レベルでは、トリガーボタンの操作を行うことでバーコードの読取りを行います。

自動プレゼンテーションを使用したい場合は、以下の有効を読み取ってください。

初期值 = 無効





14.2. スキャンモード

スキャナは3種類のスキャンモードをサポートしています。

- レベル 標準のスキャンモードです。トリガーを押している間は照準と照明が点灯し、バーコードを読 取るかトリガーを放すと消灯します。
- **プレゼンテーション** 一対象物(バーコードなど)を検知すると、自動的に照準と照明が点灯しバーコー ドを読取ります。対象物を検知していないときは消灯します。対象物の検出には、ある程度の明るい 環境が必要です。薄暗い環境下で使用する場合は、14.14.バーコード検出支援(92 ページ)を使用し てみてください。
- **自動照準** スキャナが自身の移動を感知すると照準だけが点灯し、トリガーを押すと照明が点灯しバー コードを読取ります。2 秒間無操作で消灯します。
- プレゼンテーションモードでは、バーコードとバーコードの読取り間隔を5秒以上空けることをお勧めいたします。プレゼンテーションモードでは、他のスキャンモードとは異なり、常に多くの電力を消費するため、頻繁な読み取り動作を行い続けるとスキャナの動作が停止する場合があります。スキャナの動作が停止した場合は、スキャナを再起動する必要があります。

初期値 = レベル







14.3. 連続読取りモード

この設定を**有効**にすると、トリガーを引いている間、連続でバーコードを読取り続けることができます。ト リガーを放すと停止します。この設定は14.2.スキャンモード(84ページ)に**プレゼンテーション**が選択さ れているときは使用できません。

② 連続読取りモードを使用する場合は、14.5.ピックリストモード(86ページ)も常に有効にしてください。

初期值 = 無効





14.4. ユニークバーコードの読取り

この設定を**有効**にすると、同一読取りセッションの間は、同一バーコードの読取りを行ないません。この設 定は14.3.連続読取りモード(85ページ)が**有効**の場合に使用されます。

初期值 = 無効





14.5. ピックリストモード

この機能を使用すると、バーコードの狙い読みが可能となります。この機能が常に有効のとき、照準パター ンのドットが重なったバーコードのみ読取りを行います。

常に無効 – 狙い読みを常に行いません。

常に有効 一 狙い読みを常に行います。

初期値 = 常に無効





14.6. 屋外ピックリストモード

この機能を有効にすると、MS852B_LR は屋外(直射日光下)でのピックリストモードのパフォーマンスを 最適化します。この機能を有効に変更する前に、14.5.ピックリストモード(86ページ)を常に有効に設定 しておく必要があります。

初期値 = 屋外ピックリスト無効



屋外ピックリスト無効

14.7. 読取りセッションタイムアウト

読取りセッションを継続する時間の最大値を設定することができます。設定範囲は 0.5 秒~9.9 秒です。

初期值 = 9.9 秒



デコードセッションタイムアウト

「0.5 秒」に変更する場合は、次の手順で行います。

- 1. デコードセッションタイムアウトを読取ります。
- 2. 25.数字バーコード(244ページ)から「0」「5」の順に読取ります。

14.8. 同一バーコードの読取間隔

14.2.スキャンモード(84 ページ)がプレゼンテーションまたは14.3.連続読取りモード(85 ページ)が**有 効**の場合、バーコードの読取りが成功した後に同一バーコードの読取りが可能になるまでの時間を設定する ことができます。設定範囲は0.0 秒~9.9 秒です。

初期值 = 0.5 秒



同一バーコードの読取間隔

「0.5 秒」に変更する場合は、次の手順で行います。

1. 同一バーコードの読取間隔を読取ります。

2. 25.数字バーコード(244ページ)から「0」「5」の順に読取ります。

14.9. 異なるバーコードの読取間隔

14.2.スキャンモード(84 ページ)がプレゼンテーションまたは14.3.連続読取りモード(85 ページ)が**有 効**の場合、バーコードの読取りが成功した後に異なるバーコードの読取りが可能になるまでの時間を設定す ることができます。設定範囲は0.1 秒~9.9 秒です。

初期值 = 0.1 秒



異なるバーコードの読取間隔

14.10. 照準パターンの切り替え

照準パターンの照射可否を設定することができます。この設定は 14.5.ピックリストモード(86 ページ)が **有効**のときは使用できません。

Substant State Sta

初期值 = 許可





14.11. 照準パターンの明るさ

照準パターンの明るさを3段階の明度から選択することができます。明度3が最も明るく、明度1が最も暗 くなります。

初期值 = 明度3







14.12. 照明の切り替え

バーコードを読取りやすくする照明の点灯可否を設定することができます。この設定を**拒否**に変更すると周 囲の明るさによってはバーコードが読取れなくなりますのでご注意ください。

 *プレゼンテーション動作中にこのパラメータを 拒否に変更することは
推奨できません。*

初期值 = 許可





14.13. 照明の明るさ

照明の明るさを調整することができます。明度 O が最も暗く、明度 6 が最も明るい設定です。

初期值 = 明度6















14.14. バーコード検出支援

この機能は、薄暗い環境下におけるプレゼンテーション動作中のバーコードの検出支援を行います。

- **支援なし** バーコードの検出支援を行いません。周辺に十分な光源が無い場合、バーコードの読取りが できない場合があります。
- **照準 ON** 待機時、バーコードの検出支援のため常に照準を照射します。このオプションは、14.10.照 準パターンの切り替え(89 ページ)より優先されます。
- **照明 ON** 待機時、バーコードの検出支援のため常に照明を照射します。このオプションは、14.12.照 明の切り替え(90 ページ)より優先されます。

初期値 = 支援なし







14.15. 視界調整

バーコードの検出時間を速くするためにより小さな領域を検索する場合は、**小さな視界**を選択し、より大き な領域を検索する場合は、**すべての視界**を選択します。

初期値 = 標準の視界







14.16. 携帯電話/ディスプレイモード

このモードは、携帯電話や電子ディスプレイ上に表示されたバーコードの読取りパフォーマンスを改善する ことができます。

このモードは、すべての環境下での読取りを保証するものではありません。
 MS852B_LRでは、この機能を近距離での読取りのみに制限しています。

初期值 = 無効





14.17. iOS ソフトキーボード

iPhone や iPad などの iOS デバイスと BLE/BT キーボードで接続しているあいだ表示されなくなるソフトキ ーボード(画面上に表示される内蔵キーボード)の表示状態を切り替えることができます。ソフトキーボー ドの状態を切り替えるには、トリガーボタンを素早くダブルクリックしてください。

● もともと画面キーボードが表示されない場所、アプリ内ではこの機能は使用できません。



15. バーコード読取設定

15.1. 全てのバーコードの読取り

全てのバーコードタイプの読取を有効化/無効化することができます。

小数のバーコードタイプの読取りのみを許可したい場合は、**全バーコードタイプ無効**に設定してから、許可 したいバーコードタイプの読取りを有効化してください。



全バーコードタイプ無効



15.2. UPC/JAN

15.2.1. UPC-A の読取り

UPC-Aの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.2.2. UPC-E の読取り

UPC-Eの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.2.3. UPC-E1 の読取り

UPC-E1の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.2.4. JAN-8 の読取り

JAN-8の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.2.5. JAN-13 の読取り

JAN-13の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.2.6. ISBN の読取り

ISBN の読取りを設定することができます。この設定を**有効**に変更すると、**978** または **979** から始まる JA N-13 を ISBN コードとして出力することができます。

初期值 = 無効





15.2.7. UPC/JAN アドオンコードの読取り

UPC/JAN コードに付加される2桁または5桁のアドオンコードの読取りを設定することができます。

- 無視 アドオンコードがあっても無視します。
- **必須** アドオンコードを送信します。アドオンコードがない UPC/JAN は無視します。
- **自動** アドオンコードを自動検出します。アドオンコードが無い場合は、15.2.9.アドオンコードの確認 回数(99 ページ)で設定されている回数だけアドオンコードがないことを確認して送信します。

次の設定のいずれかを選択した場合、スキャナは選択した3桁の数値列から始まる UPC/JAN コードに対し てアドオンコードを自動検出して送信します。アドオンコードが無い場合は、15.2.9.アドオンコードの確認 回数(99ページ)で設定されている回数だけアドオンコードがないことを確認して送信します。それ以外の 数値列から始まる UPC/JAN コードはアドコンコードなしでただちに送信されます。

378/379 アドオンモード

978/979 アドオンモード

977 アドオンモード

414/419/434/439 アドオンモード

491 アドオンモード

スマートアドオンモード – 前述の3桁数値列から始まる UPC/JAN コードに適用されます。

- **ユーザー定義モード 1** ユーザーが定義した 3 桁の数値列から始まる UPC/JAN コードに適用されま す。15.2.8.ユーザー定義アドオン(99 ページ)を使用して定義します。
- **ユーザー定義モード 1 および 2** ユーザーが定義した 3 桁の数値列から始まる UPC/JAN コードに適用 されます。15.2.8.ユーザー定義アドオン(99 ページ)を使用して定義します。
- スマートアドオンモード+ユーザー定義モード 1 前述の3桁数値列または、ユーザーが定義した3桁 の数値列から始まる UPC/JAN コードに適用されます。15.2.8.ユーザー定義アドオン(99ページ) を使用して定義します。
- スマートアドオンモード+ユーザー定義モード 1 および 2 前述の 3 桁数値列または、ユーザーが定義 した 3 桁の数値列から始まる UPC/JAN コードに適用されます。15.2.8.ユーザー定義アドオン(99 ページ)を使用して定義します。

初期值 = 無視







UPC/JAN アドオンコードの読取り(続き)





978/979 アドオンモード





414/419/434/439 アドオンモード











スマートアドオンモード+ユーザー定義モード1



ユーザー定義モード1および2

スマートアドオンモード+ユーザー定義モード1および2

15.2.8. ユーザー定義アドオン

15.2.7.UPC/JAN アドオンコードの読取り(97ページ)でユーザー定義モードのいずれかを選択した場合は、以下のバーコードを使用して3桁の数値列を定義します。

初期值 = 000





「123」に変更する場合は、次の手順で行います。

- 1. ユーザー定義アドオン1を読取ります。
- 2. 25.数字バーコード(244ページ)から「1」「2」「3」の順に読取ります。

15.2.9. アドオンコードの確認回数

アドオンコードの有無を確認する回数を設定することができます。アドオンコードの有無が混在した環境で は回数を多めに設定することをお勧めいたします。設定範囲は 2~30 回です。

初期值 = 10



アドオンコードの確認回数

「5回」に変更する場合は、次の手順で行います。ステップ2の数字バーコードは必ず2桁必要です。

1. アドオンコードの確認回数を読取ります。

2. 25.数字バーコード(244ページ)から「0」「5」の順に読取ります。

15.2.10. アドオンコードの AIM ID フォーマット

13.2.コード ID の送信(61 ページ)が AIM コード ID を送信に設定されているとき、アドオンコード読取り 時の AIM ID の出力フォーマットを設定することができます。

- **分離** UPC/JAN コードのデータと、アドオンコードのデータそれぞれに AIM ID を付加して送信しま す。
- 結合 UPC/JAN コード+アドオンコードのデータに AIM ID を1つ付加して送信します。
- **分離転送** UPC/JAN コードのデータと、アドオンコードのデータそれぞれに AIM ID を付加して送信 します。UPC/JAN コードのデータと、アドオンコードは改行で分割されて送信されます。

初期值 = 結合







15.2.11. UPC 縮小クワイエットゾーン

より小さいクワイエットゾーン(バーコードの左右にある空白のマージン)を含む UPC コードの読取りの有 効化/無効化を設定することができます。この機能を**有効**に設定した場合、16.4.1 次元コードのクワイエット ゾーンレベル(171 ページ)も選択してください。

初期值 = 無効





15.2.12. UPC-A チェックデジットの送信

UPC-A のチェックデジットの送信を設定することができます。

初期値 = 送信する





15.2.13. UPC-E チェックデジットの送信

UPC-Eのチェックデジットの送信を設定することができます。

初期値 = 送信する





15.2.14. UPC-E1 チェックデジットの送信

UPC-E1のチェックデジットの送信を設定することができます。

初期値 = 送信する



送信しない



15.2.15. UPC-A プリアンブル

UPC-A のプリアンブルの送信を設定することできます。

- 送信しない プリアンブルは送信しません。チェックデジットを含めた 11 桁で送信されます。
- **システムキャラクタ** システムキャラクタを先頭に付加して送信します。チェックデジットを含めた 12 桁で送信されます。
- **カントリーコード+システムキャラクタ** カントリーコード+システムキャラクタを先頭に付加して送信 します。カントリーコードは米国の場合は「0」です。チェックデジットを含めた 13 桁で送信されま す。

初期値 = システムキャラクタ







カントリーコード+システムキャラクタ

15.2.16. UPC-E プリアンブル

UPC-E のプリアンブルの送信を設定することできます。

- 送信しない ― プリアンブルは送信しません。チェックデジットを含めた7桁で送信されます。
- **システムキャラクタ** システムキャラクタを先頭に付加して送信します。チェックデジットを含めた8 桁で送信されます。
- **カントリーコード+システムキャラクタ** カントリーコード+システムキャラクタを先頭に付加して送信 します。カントリーコードは米国の場合は「0」です。チェックデジットを含めた9桁で送信されま す。

初期値 = システムキャラクタ







カントリーコード+システムキャラクタ

15.2.17. UPC-E1 プリアンブル

UPC-E1 のプリアンブルの送信を設定することできます。

- 送信しない ― プリアンブルは送信しません。チェックデジットを含めた7桁で送信されます。
- **システムキャラクタ** システムキャラクタを先頭に付加して送信します。チェックデジットを含めた8 桁で送信されます。
- **カントリーコード+システムキャラクタ** カントリーコード+システムキャラクタを先頭に付加して送信 します。カントリーコードは米国の場合は「0」です。チェックデジットを含めた9桁で送信されま す。

初期値 = システムキャラクタ







カントリーコード+システムキャラクタ

15.2.18. UPC-E を UPC-A に拡張

UPC-E を UPC-A に拡張して出力することができます。**拡張する**場合、15.2.12.UPC-A チェックデジットの 送信(101ページ)、15.2.15.UPC-A プリアンブル(102ページ)の設定の影響を受けます。

初期値 = 拡張しない





15.2.19. UPC-E1 を UPC-A に拡張

UPC-E を UPC-A に拡張して出力することができます。**拡張する**場合 15.2.12.UPC-A チェックデジットの送 信(101 ページ)、15.2.15.UPC-A プリアンブル(102 ページ)の影響を受けます。

初期値 = 拡張しない





15.2.20. JAN-8 を JAN-13 に拡張

拡張する場合、JAN-13と互換性を持たせるように、JAN-8に5つの「0」を追加して出力します。

初期値 = 拡張しない





15.2.21. ISBN の出力フォーマット

15.2.6.ISBN の読取り(96ページ)が有効の場合、出力フォーマットを以下より選択します。

ISBN-10 - 978 から始まる JAN-13 を旧規格の 10 桁コードとして出力します。このフォーマットでは 979 から始まるコードは ISBN として処理されません。

ISBN-13 - 978 または 979 から始まる JAN-13 を現行規格の 13 桁コードとして出力します。

初期值 = ISBN-10





15.2.22. UCC クーポン拡張コード

UCC クーポン拡張コードの読取りを設定することができます。この設定を**有効**にすると、「5」で始まる UP C-A、「99」で始まる JAN-13/UPC-A/GS1-128 をクーポンコードとして出力することができます。すべての クーポンタイプをサポートするには、UPC-A/JAN-13/GS1-128 の読取りを有効にする必要があります。

初期值 = 無効





有効

15.2.23. クーポンフォーマット

サポートする UCC クーポン拡張コードのフォーマットを選択することができます。 **旧クーポン** — UPC-A/GS1-128 と JAN-13/GS-128 のクーポンコードをサポートします。 **新クーポン** — UPC-A/GS1-Databar と JAN-13/GS1-Databar のクーポンコードをサポートします。 **新旧クーポン自動識別** — 新旧両方のクーポンコードをサポートします。

初期値 = 新クーポン



旧クーポン





新旧クーポン自動識別

15.2.24. ISSN の読取り

ISSN の読取りを設定することができます。この設定を**有効**にすると、**977**から始まる JAN-13を8桁の ISS Nコードとして出力することができます。

初期值 = 無効





15.3. Code128

15.3.1. Code128 の読取り

Code128の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.3.2. Code128 の読取り桁数

Code128の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

1つの固定桁数 - 設定した桁数の Code128 のみを読み取ります。

2つの固定桁数 - 設定した2つの桁数の Code128 のみを読み取ります。

範囲指定 – 指定された範囲内の桁数の Code128 のみを読み取ります。

任意桁数 - スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。

・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」

・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」

・4桁~12桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244ページ)から「**0**」「4」「1」「2」

初期值 = 任意桁数



範囲指定



2つの固定桁数




15.3.3. GS1-128 の読取り

GS1-128の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.3.4. ISBT 128 の読取り

ISBT 128の読み取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.3.5. ISBT 連結

2つのペアとなる ISBT コードを連結して送信することができます。

ISBT 連結有効 – 必ず2つのペアとなる ISBT コードが必要です。単独の ISBT コードを読取ることはで きません。

ISBT 連結無効 - ISBT 連結を行いません。

ISBT 連結自動 - 2つのペアとなる ISBT コードは、連結して送信します。単独の ISBT コードは 15.3. 7.ISBT 連結冗長性(111 ページ)で設定されている回数チェックしてから送信します。

初期值 = ISBT 連結無効







15.3.6. ISBT テーブルチェック

ISBT の仕様には、一般的にペアとして使用されるいくつかのリストのテーブルが含まれています。15.3.5.IS BT 連結(110 ページ)を**有効**に変更する場合は、この設定を**チェックする**に変更し、ISBT の仕様に含まれ るテーブルに存在するペアのみを連結して送信するようにしてください。

初期値 = チェックする





15.3.7. ISBT 連結冗長性

15.3.5.ISBT 連結(110 ページ)を **ISBT 連結自動**に設定している場合は、単独の ISBT コードかどうかをチェックする回数をこの設定で行います。設定には、以下のバーコードを読んだあと、2 桁の 25.数字バーコード (244 ページ)を使用します。2 桁に満たない場合は、ゼロで埋めてください(例:5 → 05)。設定可能 な範囲は 2~20 です。

初期值 = 10



15.3.8. Code128 セキュリティレベル

Code128 は、15.3.2.Code128 の読取り桁数(108 ページ)が任意桁数に設定されている場合、誤読に対し て脆弱です。スキャナは誤読に対して以下の4つのセキュリティレベルを提供します。セキュリティレベル と読み取り易さは相反していて、セキュリティレベルを上げると誤読に対して強固になりますが、バーコー ドの読み取り易さは低下します。必要なセキュリティレベルを設定してください。

- **セキュリティレベル0** この設定は、スキャナの設定を最大の状態で使用でき、ほとんどの「規格内」 バーコードを読み取るために十分な精度を持っています。
- **セキュリティレベル1** このオプションは、妥当な読み取り精度を維持しながら、ほとんどの誤読を排除します。
- **セキュリティレベル 2** このオプションは、**セキュリティレベル 1** でも誤読してしまうような、品質の 悪いバーコードの読み取るために使用します。
- **セキュリティレベル3 セキュリティレベル2**でも誤読が発生する場合に、スキャナの持つ機能の範囲 で最大限の正確性を提供します。
- セキュリティレベル3を選択することは、規格外のバーコードを誤読することに対する極端な措置であ
 り、スキャナの読み取り能力を著しく損ないます。このセキュリティレベルが必要な場合は、バーコー
 ドの品質を向上させることを強くお勧めいたします。

初期値 = Code128 セキュリティレベル 1



Code128 セキュリティレベル 0



Code128 セキュリティレベル 1



Code128 セキュリティレベル 2

Code128 セキュリティレベル 3

15.3.9. Code128 縮小クワイエットゾーン

より小さいクワイエットゾーン(バーコードの左右にある空白のマージン)を含む Code128 の読取りの有効 化/無効化を設定することができます。この機能を**有効**に設定した場合、16.4.1 次元コードのクワイエットゾ ーンレベル(171 ページ)も選択してください。

初期值 = 無効





15.3.10. Code128 <FNC4>

この機能は、<FNC4>を含んだ Code128 に対して適用されます。<FNC4>を無視する場合、スキャナは<FN C4>を削除し、そのあとのデータは Code128 標準のデータとしてホストへ送信されます。

初期値 = <FNC4>を使用する





15.4. Code39

15.4.1. Code39 の読取り

Code39の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.4.2. Trioptic Code 39の読取り

Trioptic Code39の読取りを設定することができます。この設定を**有効**にすると、15.4.8.Code39 読取りフ オーマット(117 ページ)の**フル ASCII フォーマット**は使用できません。

初期值 = 無効





114

15.4.3. Code39 を Code32 に変換

Code32 は、イタリアの薬局業界によって使用される Code39 の一種です。**有効**または**無効**をスキャンする ことで、Code39 を Code32 に変換できます。

初期值 = 無効





15.4.4. Code32 プリフィックス

この機能を**有効**にすると、すべての Code32 バーコードの先頭に"A"を追加することができます。

初期值 = 無効





15.4.5. Code39 の読取り桁数

Code39の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

- **1つの固定桁数** 設定した桁数の Code39 のみを読み取ります。
- **2つの固定桁数** 設定した2つの桁数の Code39 のみを読み取ります。
- 範囲指定 指定された範囲内の桁数の Code39 のみを読み取ります。
- 任意桁数 スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。
- ・6桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「6」
- ・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」
- ・ 4 桁~12 桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244 ページ)から「**0**」「4」「1」「2」

初期值 = 範囲指定(2文字~55文字)



1つの固定桁数







15.4.6. Code39 チェックデジットの検査

Code39のチェックデジットの検査を設定することができます。検査する場合、誤ったチェックデジットを 持つバーコードおよび、チェックデジットの無いバーコードは読取ることはできません。

初期値 = 検査しない





15.4.7. Code39 チェックデジットの送信

Code39 のチェックデジットの送信を設定することができます。この設定を使用するには 15.4.6.Code39 チ ェックデジットの検査(117ページ)を**検査する**必要があります。

初期値 = 送信しない





15.4.8. Code39 読取りフォーマット

Code39 の読取りフォーマットを設定することができます。フル ASCII フォーマットは、2 つの文字の組み 合わせで ASCII キャラクタを表現する特別なフォーマットです。

初期値 = 標準フォーマット





15.4.9. Code39 セキュリティレベル

スキャナは誤読に対して以下の4つのセキュリティレベルを提供します。セキュリティレベルと読み取り易 さは相反していて、セキュリティレベルを上げると誤読に対して強固になりますが、バーコードの読み取り 易さは低下します。必要なセキュリティレベルを設定してください。

- **セキュリティレベル 0** この設定は、スキャナの設定を最大の状態で使用でき、ほとんどの「規格内」 バーコードを読み取るために十分な精度を持っています。
- **セキュリティレベル 1** このオプションは、妥当な読み取り精度を維持しながら、ほとんどの誤読を排除します。
- **セキュリティレベル 2** このオプションは、**セキュリティレベル 1** でも誤読してしまうような、品質の 悪いバーコードの読み取るために使用します。
- **セキュリティレベル3 セキュリティレベル2**でも誤読が発生する場合に、スキャナの持つ機能の範囲 で最大限の正確性を提供します。
- セキュリティレベル3を選択することは、規格外のバーコードを誤読することに対する極端な措置であり、エンジンの読み取り能力を著しく損ないます。このセキュリティレベルが必要な場合は、バーコードの品質を向上させることを強くお勧めいたします。

初期値 = Code39 セキュリティレベル 1



Code39 セキュリティレベル 0



Code39 セキュリティレベル 1



Code39 セキュリティレベル 2

Code39 セキュリティレベル 3

15.4.10. Code39 縮小クワイエットゾーン

より小さいクワイエットゾーン(バーコードの左右にある空白のマージン)を含む Code39 の読取りの有効 化/無効化を設定することができます。この機能を**有効**に設定した場合、16.4.1 次元コードのクワイエットゾ ーンレベル(171 ページ)も選択してください。

初期值 = 無効





15.5. Code93

15.5.1. Code93 の読取り

Code93の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.5.2. Code93 の読取り桁数

Code93の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

1 つの固定桁数 - 設定した桁数の Code93 のみを読み取ります。

2つの固定桁数 - 設定した2つの桁数の Code93 のみを読み取ります。

範囲指定 – 指定された範囲内の桁数の Code93 のみを読み取ります。

任意桁数 - スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。

・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」

- ・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」
- ・ 4 桁~12 桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244 ページ)から「**0**」「4」「1」「2」

初期值 = 範囲指定(4文字~55文字)





2つの固定桁数





15.6. Code11

15.6.1. Code11 の読取り

Codel1の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.6.2. Code11 の読取り桁数

Codel1の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。 **1つの固定桁数** – 設定した桁数のCodel1のみを読み取ります。 **2つの固定桁数** – 設定した2つの桁数のCodel1のみを読み取ります。 **範囲指定** – 指定された範囲内の桁数のCodel1のみを読み取ります。 **任意桁数** – スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。

・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」

- ・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」
- ・ 4 桁~12 桁の範囲で設定する:**範囲指定→25**.数字バーコード(244 ページ)から「**0**」「**4**」「**1**」「**2**」

初期值 = 範囲指定(4文字~55文字)









15.6.3. Code11 チェックデジットの検査

この機能により、スキャナは Code 11 のチェックデジットを検査して、データが完全かどうかを確認できま す。次のいずれかのバーコードをスキャンして、**チェックデジットの数を指定**するか、この機能を**無効**にし ます。

初期值 = 無効







2つのチェックデジット

15.6.4. Code11 チェックデジットの送信

Codel1のチェックデジットの送信を設定することができます。この設定を変更するには15.6.3.Codel1チ ェックデジットの検査(122ページ)を**1つのチェックデジット**に設定しておく必要があります。

初期値 = 送信しない





15.7. ITF (Interleaved 2 of 5)

15.7.1. ITF の読取り

ITF の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.7.2. ITF の読取り桁数

ITF の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

- 1つの固定桁数 設定した桁数の ITF のみを読み取ります。
- **2つの固定桁数** 設定した2つの桁数の ITF のみを読み取ります。
- 範囲指定 指定された範囲内の桁数の ITF のみを読み取ります。
- **任意桁数** スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。任意桁数の使用は、誤 読の発生する可能性を高めますのでご注意ください。
- ・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」
- ・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」
- ・4桁~12桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「4」「1」「2」

初期値 = 1 つの固定桁数(14 文字)





2つの固定桁数





15.7.3. ITF チェックデジットの検査

ITF のチェックデジットの検査を設定することができます。**検査する**場合、誤ったチェックデジットを持つ バーコードや、チェックデジットの無いバーコードは読取ることができません。チェックデジットの種類が 不明の場合は、まず**検査する(USS チェックデジット)**でお試しください。

初期値 = 検査しない





検査する(USS チェックデジット)



検査する(OPCC チェックデジット)

15.7.4. ITF チェックデジットの送信

ITF のチェックデジットの送信を設定することができます。この設定を変更するには 15.7.3.ITF チェックデ ジットの検査(124ページ)を**検査する**に設定しておく必要があります。

初期値 = 送信しない





15.7.5. ITF を JAN13 に変換する

14 桁の ITF を 13 桁の JAN コードに変換して出力することができます。正しく変換を行うためには、コードの先頭に 0 と、正しい JAN13 用のチェックデジットが必要です。

初期値 = 変換しない





15.7.6. ITF セキュリティレベル

ITF は、15.7.2.ITF の読取り桁数(123 ページ)が**任意桁数**に設定されている場合、誤読に対して非常に脆弱です。スキャナは誤読に対して以下の4つのセキュリティレベルを提供します。セキュリティレベルと読み取り易さは相反していて、セキュリティレベルを上げると誤読に対して強固になりますが、バーコードの読み取り易さは低下します。必要なセキュリティレベルを設定してください。

- **セキュリティレベルO** この設定は、スキャナの設定を最大の状態で使用でき、ほとんどの「規格内」 バーコードを読み取るために十分な精度を持っています。
- **セキュリティレベル1** このオプションは、妥当な読み取り精度を維持しながら、ほとんどの誤読を排除します。
- **セキュリティレベル 2** このオプションは、**セキュリティレベル 1** でも誤読してしまうような、品質の 悪いバーコードの読み取るために使用します。
- **セキュリティレベル3 セキュリティレベル2**でも誤読が発生する場合に、スキャナの持つ機能の範囲 で最大限の正確性を提供します。
- セキュリティレベル3を選択することは、規格外のバーコードを誤読することに対する極端な措置であり、エンジンの読み取り能力を著しく損ないます。このセキュリティレベルが必要な場合は、バーコードの品質を向上させることを強くお勧めいたします。

初期値 = ITF セキュリティレベル 1







ITF セキュリティレベル 2



15.7.7. ITF 縮小クワイエットゾーン

より小さいクワイエットゾーン(バーコードの左右にある空白のマージン)を含む ITF の読取りの有効化/無 効化を設定することができます。この機能を**有効**に設定した場合、16.4.1 次元コードのクワイエットゾーン レベル(171 ページ)も選択してください。

初期值 = 無効





15.8. Discrete 2 of 5

15.8.1. Discrete 2 of 5 の読取り

Discrete 2 of 5 の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.8.2. Discrete 2 of 5 の読取り桁数

Discrete 2 of 5の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

1 つの固定桁数 - 設定した桁数の Discrete 2 of 5 のみを読み取ります。

2つの固定桁数 - 設定した2つの桁数の Discrete 2 of 5 のみを読み取ります。

範囲指定 – 指定された範囲内の桁数の Discrete 2 of 5 のみを読み取ります。

任意桁数 - スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。任意桁数の使用は、誤 読の発生する可能性を高めますのでご注意ください。

・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」

・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」

・ 4 桁~12 桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「4」「1」「2」

初期値 = 1 つの固定桁数(12 文字)

<u>1 つの固定桁数(12)</u>



2つの固定桁数





15.9. NW-7 (Codabar)

15.9.1. NW-7 の読取り

NW-7の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.9.2. NW-7 の読取り桁数

NW-7の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。です。

- 1 つの固定桁数 設定した桁数の NW-7 のみを読み取ります。
- **2つの固定桁数** 設定した2つの桁数のNW-7のみを読み取ります。
- 範囲指定 指定された範囲内の桁数の NW-7 のみを読み取ります。

任意桁数 - スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。

- ・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」
- ・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」
- ・4桁~12桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「4」「1」「2」

初期值 = 範囲指定(5文字~55文字)





2つの固定桁数





15.9.3. NW-7 の CLSI 編集

14 文字の NW-7 を CLSI 形式で出力することができます。このオプションを**有効**にすると、スタート・スト ップキャラクタを取り除き、14 文字の1 文字目、5 文字目、10 文字目の後にスペースを挿入します。

初期值 = 無効





15.9.4. NW-7 セキュリティレベル

MS852B_LR は誤読に対して以下の4つのセキュリティレベルを提供します。セキュリティレベルと読み取 り易さは相反していて、セキュリティレベルを上げると誤読に対して強固になりますが、バーコードの読み 取り易さは低下します。必要なセキュリティレベルを設定してください。

- **セキュリティレベル 0** この設定は、スキャナの設定を最大の状態で使用でき、ほとんどの「規格内」 バーコードを読み取るために十分な精度を持っています。
- **セキュリティレベル 1** このオプションは、妥当な読み取り精度を維持しながら、ほとんどの誤読を排除します。
- **セキュリティレベル 2** このオプションは、**セキュリティレベル 1** でも誤読してしまうような、品質の 悪いバーコードの読み取るために使用します。
- **セキュリティレベル3 セキュリティレベル2**でも誤読が発生する場合に、スキャナの持つ機能の範囲 で最大限の正確性を提供します。
- 注 **セキュリティレベル3**を選択することは、仕様外のバーコードを誤読することに対する極端な措置であ り、エンジンの読み取り能力を著しく損ないます。このセキュリティレベルが必要な場合は、バーコー ドの品質を向上させることを強くお勧めいたします。

初期値 = NW-7 セキュリティレベル 1



NW-7 セキュリティレベル 0



NW-7 セキュリティレベル 1



NW-7 セキュリティレベル 2

NW-7 セキュリティレベル 3

15.9.5. NW-7 スタート・ストップキャラクタの送信

スタート・ストップキャラクタとは、NW-7 の始まりと終わりに配置される文字のことです。通常、A、B、 C、D の 4 つのアルファベットのいずれかが配置されます。

初期値 = 送信する





15.9.6. NW-7 スタート・ストップキャラクタの文字種

NW-7のスタート・ストップキャラクタの文字種を設定することができます。

初期值 = 大文字





15.9.7. NW-7 の Mod16 チェックデジットの検査

この機能を使用すると、MS852B_LR は NW-7 の Mod16 チェックデジットを検査して、バーコードデータ が指定されたチェックデジットアルゴリズムに準拠していることを確認できます。チェックデジットを**検査 する**場合、誤ったチェックデジットを持った NW-7 および、チェックデジットを持たない NW-7 は読み取る ことができなくなります。

初期値 =チェックデジットを検査しない



チェックデジットを検査しない

15.9.8. NW-7 の Mod16 チェックデジットの送信

以下のバーコードの1つをスキャンして、NW-7のチェックデジットをバーコードデータの最後に追加して 送信するかどうかを選択します。このパラメータを機能させるには、15.9.7.NW-7の Mod16 チェックデジ ットの検査(133ページ)がチェックデジットを検査する設定になっている必要があります。

初期値 = チェックデジットを送信しない



チェックデジットを送信する



15.10. MSI

15.10.1. MSI の読取り

MSIの読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.10.2. MSI の読取り桁数

MSIの読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

- 1 つの固定桁数 設定した桁数の MSI のみを読み取ります。
- **2つの固定桁数** 設定した2つの桁数の MSI のみを読み取ります。

範囲指定 – 指定された範囲内の桁数の MSI のみを読み取ります。

任意桁数 - スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。

・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」

- ・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」
- ・4桁~12桁の範囲で設定する:範囲桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「4」「1」「2」

初期值 = 範囲指定(4文字~55文字)





2つの固定桁数





15.10.3. MSI チェックデジットの検査

MSI コードには1桁のチェックデジットが常に必要です。2桁目のチェックデジットはオプションです。**2 桁のチェックデジット**を使用する場合は、15.10.5.MSI チェックデジットのアルゴリズム(136ページ)も 適切に設定してください。

初期値 = 1桁のチェックデジット

1 桁のチェックデジット



15.10.4. MSI チェックデジットの送信

MSIのチェックデジットの送信を設定することができます。

初期値 = 送信しない





15.10.5. MSI チェックデジットのアルゴリズム

2桁目のチェックデジットを検査するアルゴリズムは2つあります。以下のいずれかのバーコードをスキャンしてアルゴリズムを設定することができます。

初期值 = MOD 10/MOD 10



MOD 11/MOD 10



15.10.6. MSI 縮小クワイエットゾーン

より小さいクワイエットゾーン(バーコードの左右にある空白のマージン)を含む MSI の読取りの有効化/無 効化を設定することができます。この機能を**有効**に設定した場合、16.4.1 次元コードのクワイエットゾーン レベル(171 ページ)も選択してください。

初期值 = 無効





有効

15.11. Chinese 2 of 5

15.11.1. Chinese 2 of 5 の読取り

Chinese 2 of 5 の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.12. Matrix 2 of 5

15.12.1. Matrix 2 of 5の読取り

Matrix 2 of 5の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.12.2. Matrix 2 of 5の読取り桁数

Matrix 2 of 5の読取り可能な桁数を以下の4種類から設定することができます。

1 つの固定桁数 - 設定した桁数の Matrix 2 of 5 のみを読み取ります。

2つの固定桁数 - 設定した2つの桁数の Matrix 2 of 5のみを読み取ります。

範囲指定 – 指定された範囲内の桁数の Matrix 2 of 5のみを読み取ります。

任意桁数 - スキャナの機能が許す範囲で、桁数の指定を行なわず読み取ります。任意桁数の使用は、誤 読の発生する可能性を高めますのでご注意ください。

・ 6 桁で固定する:1つの固定桁数→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「6」

・8桁と16桁で固定する:2つの固定桁数→25.数字バーコード(244ページ)から「0」「8」「1」「6」

・ 4 桁~12 桁の範囲で設定する:範囲指定→25.数字バーコード(244 ページ)から「0」「4」「1」「2」

初期値 = 1つの固定桁数(14文字)





2つの固定桁数





15.12.3. Matrix 2 of 5 チェックデジットの検査

Matrix 2 of 5のチェックデジットの検査を設定することができます。検査する設定に変更した場合、チェ ックデジットの無いバーコードを読取ることはできません。

初期値 = 検査しない





15.12.4. Matrix 2 of 5 チェックデジットの送信

Matrix 2 of 5のチェックデジットの送信を設定することができます。この設定を変更するには 15.12.3.Ma trix 2 of 5チェックデジットの検査(139ページ)を**検査する**に設定しておく必要があります。

初期値 = 送信しない





15.13. GS1 Databar

15.13.1. GS1 Databar Omnidirectional の読取り

GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 Databar Stacked の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.13.2. GS1 Databar Limited の読取り

GS1 Databar Limited の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.13.3. GS1 Databar Expanded の読取り

GS1 Databar Expanded、GS1 Databar Expanded Stackedの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.13.4. GS1 Databar を UPC/JAN に変換

GS1 Databar または GS1 Databar Limited を UPC/JAN に変換して送信します。この設定を**有効**にする と、先頭の「010」を削除して 13 桁の JAN-13 として送信されます。2 個以上 6 個未満の「0」から開始さ れる場合は、「0100」を削除して 12 桁の UPC-A として送信されます。

初期值 = 無効





15.13.5. GS1 Databar Limited マージンチェックレベル

GS1 Databar Limited に対して4種類の読取精度レベルを設定することができます。レベルが高いほど読取 精度も高くなりますが、バーコードをスキャンするときの読取速度が低下します。

- **マージンチェックレベル 1** バーコードにクワイエットゾーン(バーコード左右の空白)は必要ありま せん。以前の GS1 規格に準拠しています。ただし「7」と「9」で始まる UPC コードを読取った時に GS1 Databar Limited として読取る可能性があります。
- **マージンチェックレベル2** 自動的にバーコードの危険性を検知します。UPC コードを読取った時にG S1 Databar Limited として読取る可能性があります。誤った読取りを行なう場合は、レベルを上げ るか下げてください。
- **マージンチェックレベル3** 2011 年以降の新しい GS1 規格を読取るのに適しています。読取るバーコ ードの末尾に5 モジュール分のクワイエットゾーン(バーコード左右の空白)が必要です。
- **マージンチェックレベル4** さらに厳しいバーコードの読取りに適しています。読取るバーコードの先 頭と末尾に、それぞれ5モジュール分のクワイエットゾーン(バーコード左右の空白)が必要です。

初期値 = マージンチェックレベル3

マージンチェックレベル1

マージンチェックレベル2

マージンチェックレベル3



15.13.6. GS1 Databar セキュリティレベル

スキャナは GS1 Databar (GS1 Databar、GS1 Databar Limited、GS1 Databar Expanded)の誤読に対 して以下の4つのセキュリティレベルを提供します。セキュリティレベルと読み取り易さは相反していて、 セキュリティレベルを上げると誤読に対して強固になりますが、バーコードの読み取り易さは低下します。 必要なセキュリティレベルを設定してください。

- **セキュリティレベルO** この設定は、スキャナの設定を最大の状態で使用でき、ほとんどの「規格内」 バーコードを読み取るために十分な精度を持っています。
- **セキュリティレベル1** このオプションは、妥当な読み取り精度を維持しながら、ほとんどの誤読を排除します。
- **セキュリティレベル2** このオプションは、**セキュリティレベル1** でも誤読してしまうような、品質の 悪いバーコードの読み取るために使用します。
- **セキュリティレベル3 セキュリティレベル2**でも誤読が発生する場合に、スキャナの持つ機能の範囲 で最大限の正確性を提供します。
- セキュリティレベル3を選択することは、規格外のバーコードを誤読することに対する極端な措置であり、エンジンの読み取り能力を著しく損ないます。このセキュリティレベルが必要な場合は、バーコードの品質を向上させることを強くお勧めいたします。

初期値 = GS1 Databar セキュリティレベル1



GS1 Databar セキュリティレベル 0



GS1 Databar セキュリティレベル1



GS1 Databar セキュリティレベル2



GS1 Databar セキュリティレベル3

15.14. 合成シンボル

15.14.1. CC-C の読取り

合成シンボル CC-C の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.14.2. CC-A/B の読取り

合成シンボル CC-A、CC-B の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





有効
15.14.3. TLC-39 の読取り

合成シンボル TLC-39 の読取りを設定することができます。





15.14.4. 反転合成シンボル

反転した合成シンボルの読取りを設定することができます。

標準のみ – 標準の合成シンボルを読取ることができます。

反転のみ — 反転した合成シンボルを読取ることができます。このモードでは、GS1 Databar Limited を1次元コードに持った CC-A/B のみがサポートされます。このモードを正しく動作させるには、1 5.13.2.GS1 Databar Limited の読取り(140 ページ)と15.14.2.CC-A/B の読取り(144 ペー ジ)の両方が有効に設定されており、16.1.反転1次元バーコード(168 ページ)が反転のみまたは 自動検出に設定されている必要があります。

初期値 = 標準のみ





合成シンボルの例

(標準合成シンボル)

標準合成シンボルを読み取るには、反転合成シンボルを**標準のみ**に設定し、反転1次元バーコードを**標準** のみまたは自動検出に設定します。





(反転合成シンボル)

反転合成シンボルを読み取るには、反転合成シンボルを**反転のみ**に設定し、を**反転のみ**または**自動検出**に 設定します。



15.14.5. UPC 合成モード

15.14.2.CC-A/B の読取り(144 ページ)を**有効**に設定した場合、UPC/JAN コードをどのように扱うか設定 することができます。

リンクしない - 2次元コードの有無にかかわらず、UPC/JAN コードのみを送信します。

常にリンクする* — UPC/JAN コードと 2 次元コードを常にリンクして送信します。2 次元コードの存在 しない UPC/JAN コードは読み取ることができません。

自動認識する - 2次元コードがリンクされているか自動認識して送信します。

初期値 = 常にリンクする





自動認識する

15.14.6. ビープモード

合成シンボルの読取り成功時に何回ビープ音を鳴らすか設定することができます。

┃回 − 読取り成功後に 1回鳴ります。

各1回 — 各コードタイプ読取り成功後に1回ずつ鳴ります

2回 — 読取り成功後に2回鳴ります。

初期值 = 各1回



1 🗆





15.14.7. UCC/EAN 合成シンボルを GS1-128 に変換

UCC/EAN を含む合成シンボルを GS1-128 として出力します。





15.15. PDF417

15.15.1. PDF417 の読取り

PDF417の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.15.2. Micro PDF417の読取り

Micro PDF417の読取りを設定することができます。





15.15.3. Code128 エミュレーション

このオプションを**有効**にすると、特定の Micro PDF417 コードを Code128 として送信することが出来ま す。この機能を使用するためには 13.2.コード ID の送信(61 ページ)が **AIM コード ID を送信**にセットさ れている必要があります。

以下の表は、この機能の設定値と特定の Micro PDF417 を読み取った時の AIM ID の確認表です。

先頭3桁	無効	有効
903~905]L3]C1
908、909]L4]C2
910、911]L5]C0

初期值 = 無効





15.15.4. PDF417 の優先

この機能を**有効**に設定すると特定の1次元バーコード(下記参照)の読取りを15.15.5.PDF417の優先タイ ムアウト(151ページ)の時間だけ遅延させることができます。スキャナは、優先タイムアウトまでの期間 は PDF417 コードのみを読み取ろうとし、読取りに成功すると PDF417 コードのデータだけを出力します。 その期間に PDF417 コードを読み取らなければ、1次元バーコードの読取りを行い出力します。この設定 は、PDF417 および下記1次元バーコード以外には影響を与えません。

特定の1次元バーコード

- Code 128 :7~10 文字、14~22 文字、27~28 文字
- Code 39 :8 文字、12 文字





15.15.5. PDF417 の優先タイムアウト

15.15.4.PDF417の優先(150ページ)が**有効**になっている場合、特定の1次元バーコードを読み取るまでのタイムアウト期間を設定することができます。設定範囲は0000ミリ秒~5000ミリ秒です。

初期値 = 0200 ミリ秒



PDF417 優先タイムアウト

「400ミリ秒」に変更する場合は、次の手順で行います。

- 1. PDF417 優先タイムアウトを読取ります。
- 2. 25.数字バーコード(244ページ)から「0」「4」「0」の順に読取ります。

15.16. Data Matrix

15.16.1. Data Matrix の読取り

Data matrixの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.16.2. GS1 Data Matrix の読取り

GS1 Data Matrixの読取りを設定することが出来ます。





15.16.3. Data Matrix 反転イメージの読取り

白と黒が反転している Data Matrix の読取りを設定することができます。

初期値 = 標準のみ







15.17. Maxicode

15.17.1. Maxicode の読取り

Maxicode の読取りを設定することができます。





15.18. QR コード

15.18.1. QR コードの読取り

QR コードの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.18.2. GS1 QR コードの読取り

GS1 QR コードの読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





有効

15.18.3. Micro QR コードの読取り

MicroQR コードの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.18.4. QR コードの連結機能について

スキャナは QR コードの使用に従って分割された QR コードを連結して出力することができます。QR コード の連結機能を使用するには、スキャナのフォーカス範囲にすべての分割された QR コードが存在している必 要があります。QR コードの分割仕様に従っていなかったり、QR コード同士が離れていたり、QR コードが 複数の紙面にまたがっていたりする場合は読取ることができませんのでご注意ください。



- **常に連結*** スキャナは、仕様に沿って分割された QR コードを 1 回のスキャンで読取り、連結したデー タを送信します。
- **連結なし、ヘッダあり** スキャナは仕様に沿って分割された QR コードを、個別の QR コードとして読 取り、ヘッダ情報を含めたデータを送信します。
- **連結なし、ヘッダなし** スキャナは仕様に沿って分割された QR コードを、個別の QR コードとして読 取り、ヘッダ情報を除外したデータで送信します。

初期値 = 常に連結







連結なし、ヘッダなし

15.19. Aztec

15.19.1. Aztec の読取り

Aztec の読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.19.2. Aztec 反転イメージの読取り

白と黒が反転している Aztec の読取りを設定することができます。

初期值 = 自動検出







15.20. Han Xin

15.20.1. Han Xin の読取り

Han Xin の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.20.2. Han Xin 反転イメージの読取り

白と黒が反転している Han Xin の読取りを設定することができます。

初期値 = 標準のみ







自動検出

15.21. Grid Matrix

15.21.1. Grid Matrix の読取り

Grid Matrixの読取りを設定することができます。

初期值 = 有効





15.21.2. Grid Matrix 反転イメージの読取り

白と黒が反転している Grid Matrix の読取りを設定することができます。

初期値 = 標準のみ







自動検出

15.21.3. Grid Matrix 鏡面イメージの読取り

左右が反転している Grid Matrix の読取りを設定することができます。

初期値 = 標準のみ







15.22. DotCode

15.22.1. DotCode の読取り

DotCodeの読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.22.2. DotCode 反転イメージの読取り

白と黒が反転している DotCode の読取りを設定することができます。

初期值 = 自動検出









15.22.3. DotCode 鏡面イメージの読取り

左右が反転している DotCode の読取りを設定することができます。

初期值 = 自動検出







15.22.4. DotCode の優先

この機能を使用して他のシンボルに比べて DotCode を優先的に読み取れるようにします。

初期值 = 無効





162

15.23. 郵便バーコード

15.23.6.日本郵便カスタマバーコードの読取り(164ページ)

15.23.1. US Postnet の読取り

US Postnet の読み取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.2. US Planet の読取り

US Planetの読み取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.3. US Postal チェックデジットの送信

US Postnet および US Planet を含む、US Postal のチェックデジットの送信を設定することができます。

初期値 = 送信する





15.23.4. UK Postal の読取り

UK Postal の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.5. UK Postal チェックデジットの送信

UK Postal のチェックデジットの送信を設定することができます。

初期値 = 送信する





15.23.6. 日本郵便カスタマバーコードの読取り

カスタマバーコードの読取りを設定することができます。





15.23.7. Australia Postの読取り

Australia Postの読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.8. Australia Post フォーマット

Australia Post のフォーマットを設定することができます。

自動識別 - NおよびCエンコーディングテーブルを使用して顧客情報フィールドをデコードします。このオプションは、エンコーディングテーブルを指定していないため、誤読のリスクが増加します。
 Raw フォーマット - 0~3の数字を使用した生データのパターンで出力します。
 英数字エンコード - Cエンコーディングテーブルを使用して顧客情報フィールドをデコードします。
 数字エンコード - Nエンコーディングテーブルを使用して顧客情報フィールドをデコードします。

Australia Post のエンコーディングテーブルの詳細については、<u>http://www.auspost.com.au</u>の Australia Post Customer Barcoding Technical Specifications を参照してください。

初期值 = 自動識別









15.23.9. Netherlands KIX コードの読取り

Netherlands KIX コードの読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.10. USPS 4CB/One Code/Intelligent Mail の読取り

USPS 4CB/One Code/Intelligent Mailの読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.11. UPU FICS Postal の読取り

UPU FICS Postal の読取りを設定することができます。





15.23.12. Mailmark の読取り

Mailmark の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





15.23.13. Korea Postal の読取り

Korean Postal の読取りを設定することができます。

初期值 = 無効





167

16. バーコードオプション

16.1. 反転1次元バーコード

白と黒が反転している1次元バーコードの読取りを設定することができます。 標準のみ — 標準の1次元バーコードのみ読取ることができます。 反転のみ — 反転の1次元バーコードのみ読取ることができます。 自動検出 — 標準と反転の両方の1次元バーコードを読取ることができます。

初期値 = 標準のみ







168

16.2.2 値バーコードのセキュリティレベル

スキャナは特定バーコードの誤読に対して以下の4つのセキュリティレベルを提供します。セキュリティレ ベルと読み取り易さは相反していて、セキュリティレベルを上げると誤読に対して強固になりますが、バー コードの読み取り易さは低下します。必要なセキュリティレベルを設定してください。

セキュリティレベル 1* - 次のバーコードを読取る際に2度読みして一致してから出力します。

- 8桁以下の Codabar (NW-7)
- 4 桁以下の MSI
- 8桁以下の Discrete 2 of 5
- 8桁以下の Interleved 2 of 5 (ITF)

セキュリティレベル2 - すべての2値バーコードを読取る際に2度読みして一致してから出力します。

セキュリティレベル3 - 次のバーコードを読取る際には3度読みして一致してから出力します。それ以外のバーコードは2度読みして一致してから出力します。

- 8桁以下の Codabar (NW-7)
- 4 桁以下の MSI
- 8桁以下の Discrete 2 of 5
- 8桁以下の Interleved 2 of 5 (ITF)

セキュリティレベル4 - すべての2値バーコードを読取る際に3度読みして一致してから出力します。

初期値 = 2 値バーコード セキュリティレベル1



2値バーコード セキュリティレベル1





2値バーコード セキュリティレベル3



2値バーコード セキュリティレベル4

16.3.4 値バーコードのセキュリティレベル

スキャナは特定バーコード(Code128、Code93、JAN/EAN/UPC)の誤読に対して以下の4つのセキュリ ティレベルを提供します。セキュリティレベルと読み取り易さは相反していて、セキュリティレベルを上げ ると誤読に対して強固になりますが、バーコードの読み取り易さは低下します。必要なセキュリティレベル を設定してください。

- **セキュリティレベル0** この設定は、スキャナの設定を最大の状態で使用でき、ほとんどの「規格内」 バーコードを読み取るために十分な精度を持っています。
- **セキュリティレベル 1*** このオプションは、妥当な読み取り精度を維持しながら、ほとんどの誤読を排除します。
- **セキュリティレベル2** このオプションは、**セキュリティレベル1** でも誤読してしまうような、品質の 悪いバーコードの読み取るために使用します。
- **セキュリティレベル3 セキュリティレベル2**でも誤読が発生する場合に、スキャナの持つ機能の範囲 で最大限の正確性を提供します。
- セキュリティレベル3を選択することは、規格外のバーコードを誤読することに対する極端な措置であり、エンジンの読み取り能力を著しく損ないます。このセキュリティレベルが必要な場合は、バーコードの品質を向上させることを強くお勧めいたします。

初期値 = 4 値バーコード セキュリティレベル1



4値バーコード セキュリティレベル0





4値バーコード セキュリティレベル2

4値バーコード セキュリティレベル3

16.4.1 次元コードのクワイエットゾーンレベル

この機能は、クワイエットゾーン(バーコード左右にある空白のマージン)が少ないバーコードに対する読 み取りに使用されます。クワイエットゾーンレベルを高くすることは、読み取りの時間を長くし誤読のリス クを高めるため、必要なコードタイプのみ有効にし、その他のコードタイプでは無効にすることを強くお勧 めします。

- **クワイエットゾーンレベル0** スキャナはクワイエットゾーンに関して通常通りに動作します。
- クワイエットゾーンレベル1 スキャナはクワイエットゾーンに関して厳密に動作します。
- **クワイエットゾーンレベル 2** スキャナは読み取りのためにバーコードの終わりにあるクワイエットゾ ーンのみを必要とします。
- **クワイエットゾーンレベル3** スキャナはクワイエットゾーンやバーコードの終わりに何も無くても読み取ります。

初期値 = クワイエットゾーンレベル1



クワイエットゾーンレベル0





クワイエットゾーンレベル2



16.5. 文字間ギャップサイズ

Code 39 および NW-7 は、一般的に小さな文字間ギャップを持っていますが、これは通常とても小さいもの です。バーコード印刷技術によっては、このギャップが許容される最大サイズよりも大きくなり、読み取り ができなくなる場合があります。この問題が発生した場合、**大きい文字間ギャップ**を設定することで、この ような規格外のバーコードを読取ることができる可能性があります。

初期値 = 通常の文字間ギャップ



大きい文字間ギャップ

16.6. マクロ PDF417

マクロ PDF417 とは、単一の PDF417 では表現できないような大量のデータを、複数のコードに分割して表 現した PDF417 を 1 つのデータとしてエンコードする機能のことです。スキャナは、最大 50 個のマクロ PD F417 シンボルに格納された 64KB 以上の読み取りデータに対応することができます。

16.6.1. バッファの送信

このバーコードを読み取ると、スキャナはその時点で保存されていたマクロ PDF417 のデータを全てホスト へ送信し、マクロ PDF417 の読取りを中止します。



マクロ PDF417 バッファの送信

16.6.2. エントリの中止

このバーコードを読み取ると、スキャナはその時点で保存されていたマクロ PDF417 のデータをホストへ送 信せずにクリアし、マクロ PDF417 の読取りを中止します。



マクロ PDF417 エントリの中止

17. Digimarc® Barcode

Digimarc Barcode は、人間の目には見えないパターンを製品パッケージ、印刷物、画像などに埋め込みま す。埋め込まれたパターンは、人間には知覚できませんが、スマートフォンのカメラやバーコードイメージ スキャナなどで読取ることができます。



[Digimarc 社より引用]

上の画像は Digimarc Barcode の埋め込みイメージです。この図では埋め込みパターンがバーコードとして 表されていますが、分かりやすくするためのもので厳密には正しくありません。

MS852LR は、Digimarc 対応バーコードスキャナですので、このようなウォーターマーク(透かし)から情報を取り出して、あたかもバーコードを読み取るのと同じようにデータを復元し出力することができます。

💊 Digimarc Barcode についての詳細は、Digimarc 社の Web サイトをご覧下さい。

17.1. Digimarc Barcode の読取り

Digimarc Barcodeの読み取りを設定することができます。





18. OCR プログラミング

18.1. はじめに

MS852B_LR は、6~60 ポイントの OCR フォントを読取ることができます。読取り可能なフォンタイプは、 OCR-A、OCR-B、MICR-E13B、US Currency Serial Number です。

OCR はバーコードほど誤読に対して強固ではありません。OCR の誤読を減らし、OCR の読取りを高速化させるには、正確な OCR テンプレートと文字サブセットを設定し、チェックデジットを使用します。

すべての OCR フォントは、ご購入時には読み取り無効に設定されています。OCR の読取りを有効にする と、バーコードの読取りが遅くなることがあります。複数の OCR フォントを有効にすると、OCR の読取り 速度が遅くなり、また OCR の読取り精度にも影響を与える可能性があります。

OCR-A フォントサンプル:

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 0123456789

#\$&()*+-./<>@¥€£

OCR-B フォントサンプル:

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789

#\$&()*+-./<>a¥€£

MICR E-13B フォントサンプル:

1234567891....

18.2. OCR-A の読取り

OCR-Aフォントの読取りを設定します。

- 注 OCR はバーコードほど誤読に対して強固ではありません。OCR の誤読を減らし、OCR の読取りを高速 化させるには、正確な OCR テンプレートと文字サブセットを設定し、チェックデジットを使用します。
- 注 すべての OCR フォントは、ご購入時には読み取り無効に設定されています。OCR の読取りを有効にす ると、バーコードの読取りが遅くなることがあります。複数の OCR フォントを有効にすると、OCR の 読取り速度が遅くなり、また OCR の読取り精度にも影響を与える可能性があります。

初期值 = OCR-A 無効





18.3. OCR-A バリアント

OCR-A バリアントを選択するには、以下のバーコードのいずれかをスキャンします。最も適切なバリアント を選択すると、パフォーマンスと精度が最適化されます。

OCR-A は以下のバリアントをサポートします。

- OCR-A フルアスキー !"#\$()*+₁-./Dl23456789<>ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ¥^
- OCR-A 予約 1 **\$*+-./□123456789ABCDEFGHIJKLMN0P@RSTUVWXYZ**
- OCR-A 予約 2 \$*+-./□123456789<>ABCDEFGHIJKLMN0P@RSTUVWXYZ
- OCR-A Banking
 -0123456789<>\H

OCR-A Banking 専用の3つの特殊文字は、以下の文字として出力されます。

- 「¥」は「f」として出力されます。
- 「H」は「c」として出力されます。
- 「『」は「h」として出力されます。
- ◇ このパラメータを設定する前に、18.2.OCR-Aの読取り(177 ページ)を**有効**にします。
- № 18.2.OCR-Aの読取り(177ページ)を無効にすると、このパラメータは初期値(OCR-Aフルアスキー)に戻ります。

OCR-A バリアント(続き)

初期値 = OCR-A フルアスキー









18.4. OCR-B の読取り

OCR-Bフォントの読取りを設定します。

- 注 OCR はバーコードほど誤読に対して強固ではありません。OCR の誤読を減らし、OCR の読取りを高速 化させるには、正確な OCR テンプレートと文字サブセットを設定し、チェックデジットを使用します。
- 注 すべての OCR フォントは、ご購入時には読み取り無効に設定されています。OCR の読取りを有効にす ると、バーコードの読取りが遅くなることがあります。複数の OCR フォントを有効にすると、OCR の 読取り速度が遅くなり、また OCR の読取り精度にも影響を与える可能性があります。

初期值 = OCR-B 無効




18.5. OCR-B バリアント

OCR-B は以下のバリアントをサポートします。最も適切なバリアントを選択すると、パフォーマンスと精度 が最適化されます。

- OCR-B フルアスキー !"#\$()*+,-./0123456789<>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ^|Ñ
- OCR-B Banking #+-0123456789<>JNP|
- OCR-B Limited
 +,-./0123456789<>ACENPSTVX
- OCR-B ISBN-10
 -0123456789>BCEINPSXz
- OCR-B ISBN-10 または ISBN-13
 -0123456789>BCEINPSXz
- OCR-B 旅券 TD1 サイズ(3行 ID カード)
 -0123456789<ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ
- OCR-B 旅券 TD2 サイズ (2行 ID カード) -0123456789<ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZ
- OCR-B 旅券サイズ自動識別 (TD1/TD2) !#\$%()*+,-./0123456789<>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ^|Ñ
- OCR-B パスポート -0123456789<ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZÑ
- OCR-B ビザ タイプ A
 −0123456789<ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
- OCR-B ビザ タイプ B
 −0123456789<ABCDEFGHIJKLMN0PQRSTUVWXYZñ
- OCR-B ICAO 旅行書類 この文字サブセットは、TD1、TD2、パスポート、ビザ タイプ A、ビザ タイプ B を切り替えずに 読み取ることができます。読み取った旅行書類を自動的に識別します。

次の OCR-B バリアントを選択すると、OCR 読取り行数が自動的に設定されます。これら5つのバリアント は、そのドキュメントタイプ特有のテンプレートや、アルゴリズムをセットします。

文字サブセット OCR ライン

パスポート	2 行
TD1 ID カード	3行
TD2 ID カード	2行
ビザ タイプA	2行
ビザ タイプB	2行

💊 ISBN を選択すると、自動的に適切なチェックデジットが適用されます。

- 💊 このパラメータを設定する前に、18.4.OCR-Bの読取り(180 ページ)を**有効**にします。
- № 18.4.OCR-Bの読取り(180ページ)を無効にすると、このパラメータは初期値(OCR-Bフルアスキー)に戻ります。

OCR-B バリアント(続き)







OCR-B バリアント(続き)



OCR-B ISBN-10 または ISBN-13



OCR-B 旅券 TD1 サイズ(3行 ID カード)



OCR-B 旅券 TD2 サイズ(2 行 ID カード)



OCR-B 旅券サイズ自動識別(TD1/TD2)

OCR-B バリアント(続き)









18.6. MICR E13B の読取り

MICR E13B フォントの読取りを設定します。MICR E13B は、以下の文字をサポートしています。

1234567894.,******

MICR E13B 専用の4つの特殊文字(TOAD: Transit、On Us、Amount、Dash)は、以下の文字として出 力されます。

- 「L」は「t」として出力されます。
- 「」」は「a」として出力されます。
- 「II」は「o」として出力されます。
- 「
 ・
 」は「d」として出力されます。
- 注 OCR はバーコードほど誤読に対して強固ではありません。OCR の誤読を減らし、OCR の読取りを高速 化させるには、正確な OCR テンプレートと文字サブセットを設定し、チェックデジットを使用します。
- 注 すべての OCR フォントは、ご購入時には読み取り無効に設定されています。OCR の読取りを有効にす ると、バーコードの読取りが遅くなることがあります。複数の OCR フォントを有効にすると、OCR の 読取り速度が遅くなり、また OCR の読取り精度にも影響を与える可能性があります。
- 初期值 = MICR E13B 無効

MICR E13B 有効



18.7. US Currency Serial Number の読取り

US Currency Serial Numberの読取りを設定します。

- 注 OCR はバーコードほど誤読に対して強固ではありません。OCR の誤読を減らし、OCR の読取りを高速 化させるには、正確な OCR テンプレートと文字サブセットを設定し、チェックデジットを使用します。
- 注 すべての OCR フォントは、ご購入時には読み取り無効に設定されています。OCR の読取りを有効にす ると、バーコードの読取りが遅くなることがあります。複数の OCR フォントを有効にすると、OCR の 読取り速度が遅くなり、また OCR の読取り精度にも影響を与える可能性があります。

初期值 = US Currency Serial Number 無効



US Currency Serial Number 有効

US Currency Serial Number 無効

18.8. OCR 読取り方向

以下の5つのオプションから、OCR 文字列の読取り方向を選択します。誤った OCR 文字列の読取り方向は 誤読の原因になります。

初期值 = 正面 0°



OCR 読取り方向:正面 O[°]



OCR 読取り方向:時計回り 270°



OCR 読取り方向:時計回り 180°



OCR 読取り方向:時計回り 90°



OCR 読取り方向:全方向

18.9. OCR 読取り行数

以下から読み取る OCR 文字列の行数を選択します。18.5.OCR-B バリアント(181 ページ)のパスポート、 ビザ、TD1/TD2 ID カードでは適切な行数が自動的に使用されます。

初期値 = OCR 読取り行数:1 行

OCR 読取り行数:1 行





OCR 読取り行数:3行

18.10. OCR 最小文字数

読取りを行う行のごとの OCR 文字列の最小文字数(スペースは含まない)を設定します。この値を変更する には、以下の OCR 最小文字数バーコードを読取り、続いて 25.数字バーコード(244 ページ)を使用して、 希望の最小文字数を 3 つの数値を読み取って設定します。設定可能な範囲は 003~100 です。MS852LR は、最小文字数未満で構成された OCR 文字列を無視して読み取りません。

初期值 = 003



18.11. OCR 最大文字数

読取りを行う行のごとの OCR 文字列の最大文字数(スペースも含む)を設定します。この値を変更するに は、以下の OCR 最大文字数バーコードを読取り、続いて 25.数字バーコード(244 ページ)を使用して、希 望の最大文字数を3つの数値を読み取って設定します。設定可能な範囲は 003~100 です。MS852LR は、 最大文字数より多い文字数で構成された OCR 文字列を無視して読み取りません。

初期值 = 100



18.12. OCR サブセット

OCR サブセットを設定して、プリセットされている OCR-A/OCR-B バリアントの代わりに文字のカスタムグ ループを定義します。たとえば、数字とA、B、C、D の文字のみで構成された OCR 文字を読み取る場合 は、読取りを高速化するために、これらの文字のみのサブセットを作成します。ここで定義されたカスタム サブセットは、有効なすべての OCR フォントに対して適用されます。

OCR サブセットを設定または変更するには、まず適切な OCR フォント (OCR-A または、OCR-B) を有効 にします。次に、以下の **OCR サブセット**バーコードを読取り、**26**.英数記号バーコード (246 ページ) か ら、数字と文字を読み取って OCR サブセットを形成します。最後に、26.英数記号バーコード (246 ペー ジ) から**メッセージの終了**バーコードを読み取り、OCR サブセットを保存します。

OCR-A または OCR-B の OCR サブセットの使用を中止するには、18.3.OCR-A バリアント(178 ページ) または、18.5.OCR-B バリアント(181 ページ)のフルアスキーを設定し、OCR サブセットに Null を設定し ます。



OCR サブセット

18.13. OCR クワイエットゾーン

このオプションは、OCR のクワイエットゾーン(空白領域)を設定します。スキャナは、OCR 文字列内に 十分に広い空白領域を検出すると、そこを終端としてスキャンを停止します。この空白の幅は「フィールド の終了」オプションによって定義されます。斜体文字を許容するパーサーと一緒に使用すると、「フィールド の終了」カウントは、文字幅に対しておよそ8となります。たとえば、このオプションが15に設定されて いる場合、2文字分の幅の空白領域が、OCR 文字列の行末(終端)指標となります。このオプションの値を 大きくすると、その分だけ OCR 文字列行の各終端に大きな幅のクワイエットゾーン(空白領域)が必要にな ります。

クワイエットゾーンの値を変更するには、以下のバーコードをスキャンしてから、25.数字バーコード(244 ページ)を使用して、2桁の数字を読み取ります。クワイエットゾーンの適用可能範囲は 20~99 です。標準 値は 50 で、6 文字幅のクワイエットゾーンを示します。

初期值 = 50



18.14. OCR テンプレート

このオプションは、スキャンする OCR 文字列を希望の入力形式に正確に一致させるためのテンプレートを作成します。OCR テンプレートを適切に作成すると、スキャンエラーがなくなります(減少します)。

OCR テンプレートを設定または変更するには、**OCR テンプレート**バーコードをスキャンしてから、次から 始まる数字と文字に対応するバーコードをスキャンしてテンプレート式を形成し、最後に**メッセージの終了** バーコードをスキャンして、OCR テンプレートの設定または変更を終了します。標準値は、8 桁の数字のみ で構成された OCR 文字列の読取りのみを許可する「99999999」です。

初期值 = 99999999





18.14.1. 数字必須

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、数字のみが許可されます。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
99999	12987	30517	123AB

18.14.2. 英字必須

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、英字のみが許可されます。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
AAA	ABC	WXY	12F

18.14.3. 英数字オプション

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置に英数字が現れた場合は受け入れます。

注 オプション文字は、同種の文字のフィールドの最初の文字としては使用できません。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
99991	1234A	12345	1234<

18.14.4. 英字オプション

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置に英字が現れた場合は受け入れます。

注 オプション文字は、同種の文字のフィールドの最初の文字としては使用できません。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
AAAA2	ABCDE	WXYZ	ABCD6

18.14.5. 英字または数字

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、英字または数字のみが許可されます。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
33333	12ABC	WXY34	12AB<

18.14.6. スペース/リジェクトを含む任意の文字

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、スペースとリジェクトを含む任意の文字を受け入れます。 リジェクトは、アンダースコア(_)として出力されます。これはトラブルシューティングに適した選択で す。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列
99499	12\$34	34_98

18.14.7. スペース/リジェクトを除く任意の文字

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、スペースとリジェクトを除く任意の文字を受け入れます。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
55999	A.123	*Z456	A BCD

18.14.8. 数字オプション

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置に数字が現れた場合は受け入れます。

注 オプション文字は、同種の文字のフィールドの最初の文字としては使用できません。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
99977	12345	789	7898AB

18.14.9. 数字または埋め文字

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、数字または埋め文字のみが許可されます。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列
88899	12345	>>789	<<789

18.14.10. 英字または埋め文字

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置では、英字または埋め文字のみが許可されます。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
AAAFF	ABCXY	LMN>>	ABC<5

18.14.11. スペースオプション

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置にスペースが現れた場合は受け入れます。

注 オプション文字は、同種の文字のフィールドの最初の文字としては使用できません。



テンプレート有効な OCR 文字列有効な OCR 文字列無効な OCR 文字列99 9912 34123467891

18.14.12. 特殊文字オプション

OCR テンプレート内のこの文字が示す位置に特殊文字が現れた場合は受け入れます。

- 注 オプション文字は、同種の文字のフィールドの最初の文字としては使用できません。
- 注 特殊文字とは「- (ハイフン)」と「. (ドット)」です。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
AA.99	MN.35	XY98	XYZ12

18.14.13. その他のテンプレート演算子

これらのテンプレート演算子は、スキャンした OCR 文字列のキャプチャ、区切り、フォーマッティングを支援します。

18.14.13.1. リテラル文字列

スキャンする OCR 文字列に存在しなければならないリテラル文字列を定義するには、26.英数記号バーコード (246 ページ)を使用して文字(列)を作成し、2 つの区切り文字のいずれかで囲みます。リテラル文字 列を区切るための文字は、「"(ダブルクォーテーション)」または「+(プラス)」です。これらの区切り文字 のいずれかが希望するリテラル文字列に存在する場合は、もう一方の区切り文字を使用します。





テンプレート	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
"35+BC"	35+BC	AB+22

18.14.13.2. 改行

複数行のテンプレートを作成するには、各行のテンプレートの間に E を追加します。



テンプレート	有効な OCR 文字列	有効な OCR 文字列	無効な OCR 文字列
999EAAAA	321	987	XYZW
	BCAD	ZXYW	12

18.14.13.3. 文字列抽出

このテンプレート用演算子は、他のテンプレート用演算子と組み合わせて、読み取った OCR 文字列から抽出 する文字列を定義します。文字列の抽出は以下の様に構成されています。

CbPe

- C は、文字列抽出演算子
- b は、抽出を開始する区切り文字
- P は、文字列表現を記述するカテゴリ(1つ以上の数字または英字)
- e は、抽出を終了する区切り文字

b と e の値は、任意の読取り可能な文字にすることができます。これらは出力データに含まれます。



テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列
C>A>	XQ3>ABCDE>	>ABCDE>
	->ATHRUZ>123	>ATHRUZ>
	1 ABCZXYZ	出力なし

18.14.13.4. フィールドの終わりを無視す

このテンプレート演算子を使用すると、それ以降の OCR 文字列がすべて無視されます。テンプレート式の最 後の文字として使用します。



テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列
999D	123-PED	123
	357298	357
	193	193

18.14.13.5. XX に一致するまでスキップ

このテンプレート演算子を使用すると、特定の文字種またはリテラル文字列に一致するまで OCR 文字をスキ ップします。2つの方法で使用できます。

P1ct

(特定の文字種)

- P1 は、XX に一致するまでスキップする演算子
- c は、出力を開始するためのトリガーとなる文字種
- t は、1つ以上の OCR テンプレート文字

(特定のリテラル文字列)

- P1 は、XX に一致するまでスキップする演算子
- c は、出力を開始するためのトリガーとなる1つ以上のリテラル文字列(195ページ)
- t は、1つ以上の OCR テンプレート文字

トリガーとなる文字種またはリテラル文字列は出力されるデータに含まれ、それはテンプレートに含まれな ければなりません。





テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列
P1"PN"AA9999	123PN9876	PN9876
	PN1234	PN1234
	X-PN3592	PN3592

18.14.13.6. XX に非一致するまでスキップ

このテンプレート演算子を使用すると、特定の文字種またはリテラル文字列に非一致するまで OCR 文字をス キップします。2つの方法で使用できます。

P0ct

(特定の文字種)

- P1 は、XX に非一致するまでスキップする演算子
- c は、出力を開始するためのトリガーとなる文字種
- t は、1つ以上の OCR テンプレート文字

(特定のリテラル文字列)

- P1 は、XX に非一致するまでスキップする演算子
- c は、出力を開始するためのトリガーとなる1つ以上のリテラル文字列(195ページ)
- t は、1つ以上の OCR テンプレート文字

トリガーとなる文字種またはリテラル文字列は出力されるデータには含まれません。





テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列
P0A9999	BPN3456	3456
	PN1234	1234
	5341	出力なし

テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列		
P0"PN"9999	PN3456	3456		
	5341	出力なし		
	PNPN7654	7654		

18.14.13.7. 繰り返し

このテンプレート演算子は、直前の OCR テンプレート文字を1回以上繰り返すことを許容し、可変長の OC R 文字列の読取りを可能にします。例では、2つの英字(必須)の後に1つ以上の数字(必須)を受け入れます。



テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列
AA9R	AB3	AB3
	PN12345	PN12345
	32RM52700	出力なし

18.14.13.8. テンプレートに一致するまでスクロール

このテンプレート演算子は、読み取った OCR 文字列に対してテンプレートが一致するまで1文字ずつスクロールします。



テンプレート	読み取る OCR 文字列	出力される OCR 文字列
S99999	AB3	出力なし
	PN12345	12345
	32RM52700	52700

18.14.13.9. 複数テンプレート

この機能では OCR 文字列読取り用の複数のテンプレートをスキャナに設定します。これを行うには、18.14. OCR テンプレート(190 ページ)の手順に従って OCR テンプレートを作成し、次の OCR テンプレートと 区切るために X を区切り文字として使用します。

たとえば、OCR テンプレートを **99999XAAAAA** に設定すると、**12345** または **ABCDE** のいずれかの O CR 文字列を読取ることができます。

18.14.13.10. テンプレート例

以下は、各定義の有効なデータを記述したテンプレートのサンプルです。

テンプレート例	詳細
"M"99977	Mに続く3桁の数字(必須)と2桁の数字(オプション)
"X"997777"X"	X に続く2桁の数字(必須)と4桁の数字(オプション)と X
9959775599	2 桁の数字(必須)に続く任意の 1 文字、1 桁の数字(必須)、2 桁の数字(オプシ
	ョン)、任意の2文字と2桁の数字(必須)
A55"-"999"-"99	1 文字の英字(必須)に続く任意の 2 文字、ダッシュ、3 桁の数字(必須)、ダッシ
	ュと2桁の数字(必須)
33A"."99	2 桁の英数字(必須)に続く1文字の英字(必須)、ドットと2桁の数字(必須)
999992991	5 桁の数字(必須)に続く 1 文字の英字(オプション)、2 桁の数字(必須)と英数
	字(オプション)
"PN98"	リテラル文字列「 PN98 」

18.15. OCR チェックデジットのモジュラス

このオプションは、OCR 文字列のチェックデジットの計算方法を設定します。チェックデジットは OCR 文 字列の最終桁(最も右の位置)に配置され、読み取った OCR 文字列の正確性(精度)を向上させます。チェ ックデジットは入力された OCR 文字列から最終的に生成されるものです。チェックデジットを計算する場 合、OCR 文字列の英字と数字にあらかじめ割り当てられているウェイトと呼ばれる数値を、18.16.OCR チ ェックデジットの乗数(202 ページ)で設定された乗数で乗算し、計算の結果のチェックデジットが OCR 文 字列の最後に追加されます。読み取ったデータがチェックデジットと一致しない場合は、データが破損して いるとみなされます。

このオプションは、18.17.OCR チェックデジットの検査(203 ページ)が設定されるまで効果はありません。

モジュラスを変更するには、以下のバーコードを読み取って、25.数字バーコード(244 ページ)を使用して、モジュラスを表す3桁の数値(モジュラス10=010)を入力します。設定範囲は001~099です。

初期値 = 1 (モジュラス1)



OCR チェックデジット

18.16. OCR チェックデジットの乗数

このオプションは、文字位置の OCR チェックデジットの乗数を設定します。チェックデジットの検証のため、読み取られたデータの各文字は、チェックデジットの計算に使用されるウェイトと呼ばれる数値を持っています。MS852LR には、以下のウェイトが定義されています。

0 = 0	A = 10	K = 20	U = 30
1 = 1	B = 11	L = 21	V = 31
2 = 2	C = 12	M = 22	W = 32
3 = 3	D = 13	N = 23	X = 33
4 = 4	E = 14	0 = 24	Y = 34
5 = 5	F = 15	P = 25	Z = 35
6 = 6	G = 16	Q = 26	スペース = 36
7 = 7	H = 17	R = 27	
8 = 8	I = 18	S = 28	
9 = 9	J = 19	T = 29	
その他のすべての文字は	はウェイトとして1を持っ	ています。	

初期値と異なる乗数を必要とする場合は、乗数文字列を設定することができます。

121212121212(乗数文字列の初期値)

例:18.15.OCR チェックデジットのモジュラス(201ページ)に**10**(モジュラス10)を選択し、18.17.0 CR チェックデジットの検査(203ページ)に**積を左から右へ計算**を選択する場合

			,			A = . =				
OCR 文字列	1	2	3	4	5	6	7	8	4	
乗数	1	2	1	2	1	2	1	2	1	
積	1	4	3	8	5	12	7	16	4	
総和	1+	4+	3+	8+	5+	12+	7+	16+	4=	60

総和の 60 をモジュラス 10 の 10 で除算します。60 は 10 で割り切れるためチェックデジットの検証をパス します。

乗数文字列を設定するには、以下のバーコードを読み取って、26.英数記号バーコード(246 ページ)から乗 数文字列の数字および英字を読取り、最後に**メッセージの終了**を読み取ります。

初期值 = 121212121212



OCR チェックデジット乗数

18.17. OCR チェックデジットの検査

このオプションを使用してチェックデジット検査スキームを適用することで、OCR の読取りエラーから保護 します。以下のオプションがあります。

18.17.1. 検査なし

チェックデジットの検査を行いません。これが初期値です。



18.17.2. 積を左から右に計算

読み取った OCR 文字列の各文字にはウェイト(18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)参照) とよばれる数値が割り当てられます。各桁の文字のウェイトは、18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)の対応する乗数と乗算され、各桁の積の総和が計算されます。この総和を18.15.OCR チェックデジ ットのモジュラス(201 ページ)で設定した数値で除算し、余り(モジュロ)が0(ゼロ)の場合、チェッ クデジットの検査結果が合格となりデータが出力されます。

(例)

読み取った OCR 文字列が「132456(6 はチェックデジット)」 OCR チェックデジットモジュラスは「モジュラス 10」 OCR チェックデジット乗数は「123456」

OCR 文字列	1	3	2	4	5	6	
乗数	1	2	3	4	5	6	
積	1	6	6	16	25	36	
総和	1+	6+	6+	16+	25+	36=	90

総和の 90 は、10 で割り切れる(余りが 0)ため検査に合格します。



積を左から右へ計算

18.17.3. 積を右から左に計算

読み取った OCR 文字列の各文字にはウェイト(18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)参照) とよばれる数値が割り当てられます。各桁の文字のウェイトは、18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)の反転した対応する乗数と乗算され、各桁の積の総和が計算されます。この総和を18.15.OCR チェ ックデジットのモジュラス(201 ページ)で設定した数値で除算し、余り(モジュロ)が0(ゼロ)の場 合、チェックデジットの検査結果が合格となりデータが出力されます。

(例)

読み取った OCR 文字列が「132459(9 はチェックデジット)」 OCR チェックデジットモジュラスは「モジュラス 10」 OCR チェックデジット乗数は「123456」

OCR 文字列	1	3	2	4	5	9	
乗数	6	5	4	3	2	1	
積	6	15	8	12	10	9	
総和	6+	15+	8+	12+	10+	9=	60

総和の 60 は、10 で割り切れる(余りが 0) ため検査に合格します。



積を右から左に計算

18.17.4. 桁を左から右に計算

読み取った OCR 文字列の各文字にはウェイト(18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)参照) とよばれる数値が割り当てられます。各桁の文字のウェイトは、18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)の対応する乗数と乗算され、各桁の積の総和が計算されます。この総和を18.15.OCR チェックデジ ットのモジュラス(201 ページ)で設定した数値で除算し、余り(モジュロ)が0(ゼロ)の場合、チェッ クデジットの検査結果が合格となりデータが出力されます。

(例)

読み取った OCR 文字列が「132456(6 はチェックデジット)」 OCR チェックデジットモジュラスは「モジュラス 12」 OCR チェックデジット乗数は「123456」

OCR 文字列	1	3	2	4	5	6	
乗数	1	2	3	4	5	6	
積	1	6	6	16	25	36	
総和	1+	6+	6+	1+6+	2+5+	3+6=	36

総和の36は、12で割り切れる(余りが0)ため検査に合格します。

桁を左から右へ計算

18.17.5. 桁を右から左へ計算

読み取った OCR 文字列の各文字にはウェイト(18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)参照) とよばれる数値が割り当てられます。各桁の文字のウェイトは、18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)の反転した対応する乗数と乗算され、各桁の積の総和が計算されます。この総和を18.15.OCR チェ ックデジットのモジュラス(201 ページ)で設定した数値で除算し、余り(モジュロ)が0(ゼロ)の場 合、チェックデジットの検査結果が合格となりデータが出力されます。

(例)

読み取った OCR 文字列が「132456(6 はチェックデジット)」 OCR チェックデジットモジュラスは「モジュラス 10」 OCR チェックデジット乗数は「123456」

OCR 文字列	1	3	2	4	5	6	
乗数	6	5	4	3	2	1	
積	6	15	8	12	10	6	
総和	6+	1+5+	8+	1+2+	1+0+	6=	30

総和の30は、10で割り切れる(余りが0)ため検査に合格します。



桁を右から左に計算

18.17.6. チェックデジットを除いて積を右から左に計算

読み取った OCR 文字列の各文字にはウェイト(18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)参照) とよばれる数値が割り当てられます。各桁の文字のウェイトは、18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)の反転した対応する乗数と乗算され、**チェックデジットの桁を除いた**各桁の積の総和が計算されま す。この総和を18.15.OCR チェックデジットのモジュラス(201 ページ)で設定した数値で除算し、余り (モジュロ)がチェックデジットの積と等しい場合、チェックデジットの検査結果が合格となりデータが出力 されます。

(例)

読み取った OCR 文字列が「122456(6 はチェックデジット)」 OCR チェックデジットモジュラスは「モジュラス 10」 OCR チェックデジット乗数は「123456」

OCR 文字列	1	2	2	4	5		6
乗数	6	5	4	3	2		1
積	6	10	8	12	10		6
総和	6+	10+	8+	12+	10=	46	6

チェックデジットを除いた積の総和の 46 は、10 で割ると余りが 6 であるため、チェックデジットの積と等 しくなり、検査に合格します。

チェックデジットを除いて積を右から左に計算

18.17.7. チェックデジットを除いて桁を右から左へ計算

読み取った OCR 文字列の各文字にはウェイト(18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)参照) とよばれる数値が割り当てられます。各桁の文字のウェイトは、18.16.OCR チェックデジットの乗数(202 ページ)の反転した対応する乗数と乗算され、**チェックデジットの桁を除いた**各桁の積の総和が計算されま す。この総和を18.15.OCR チェックデジットのモジュラス(201 ページ)で設定した数値で除算し、余り (モジュロ)がチェックデジットの積と等しい場合、チェックデジットの検査結果が合格となりデータが出力 されます。

(例)

読み取った OCR 文字列が「122459(9 はチェックデジット)」 OCR チェックデジットモジュラスは「モジュラス 10」 OCR チェックデジット乗数は「123456」

OCR 文字列	1	2	2	4	5	9
乗数	6	5	4	3	2	1
積	6	10	8	12	10	9
総和	6+	1+0+	8+	1+2+	1+0= 19	9

チェックデジットを除いた積の総和の 19 は、10 で割ると余りが 9 であるため、チェックデジットの積と等 しくなり、検査に合格します。

チェックデジットを除いて桁を右から左に計算

18.17.8. 医療業界-HIBCC43

このオプションは、医療業界標準のモジュラス 43 チェックデジットです。チェックデジットは、与えられた データのすべてのウェイトの総和をモジュラス 43 で計算し、与えられたデータの最後の桁として追加されま す。

(例)

供給元のラベルデータの構成が「+A123BJC5D6E71」

データ	+	А	1	2	3	В	J	С	5	D	6	Е	7	1	
ウェイト	41	10	1	2	3	11	19	12	5	13	6	14	7	1	
総和	41+	10+	1+	2+	3+	11+	19+	12+	5+	13+	6+	14+	7+	1=	145

総和の 145 を 43 で除算すると、商は 3 で余りは 16 になります。チェックデジットは余りに対応した値にな り、例では 16、つまり G となります。そのため、最終桁にチェックデジットを加えた実際の OCR 文字列は 「+A123BJC5D6E71G」となります。

0 = 0	A = 10	K = 20	U = 30	/ = 40
1 = 1	B = 11	L = 21	V = 31	+ = 41
2 = 2	C = 12	M = 22	W = 32	% = 42
3 = 3	D = 13	N = 23	X = 33	
4 = 4	E = 14	0 = 24	Y = 34	
5 = 5	F = 15	P = 25	Z = 35	
6 = 6	G = 16	Q = 26	- = 36	
7 = 7	H = 17	R = 27	. = 37	
8 = 8	I = 18	S = 28	スペース = 38	
9 = 9	J = 19	T = 29	\$ = 39	



18.18. 反転 OCR

反転 OCR は、黒または暗色の背景に白または明色の OCR 文字列です。反転 OCR を読み取るためのオプションを選択します。

初期値 = 標準 OCR のみ







18.19. OCR 冗長化

このオプションは、出力前に OCR 文字列をデコードする回数を調整します。このオプションには3つのレベルが存在します。レベルと OCR 文字列の読取り積極性(読み取りやすさ)は反対の関係にあり、レベルを上げると読取り積極性は低下します。必要なレベルを選択してください。

- **OCR 冗長化レベル 1** この設定では、スキャナを最も積極的な状態で動作させながら、ほとんどの仕様 内の OCR 文字列の読取りに十分な精度を提供することができます。
- **OCR 冗長化レベル 2** この設定では、十分な積極性を維持しつつ、ほとんどの誤読を排除することができます。
- **OCR 冗長化レベル 3** OCR 冗長化レベル 2 でも誤読の排除ができない場合に、この設定を選択して冗 長化の要件をさらに厳しくします。

初期値 = OCR 冗長化レベル1







19. 標準設定値一覧

パラメータ	標準値	掲載ページ
システム設定		
設定バーコードの読取	有効	40
設定値の初期化	N/A	40
オペレーションモード	自動モード	41
自動パワーオフ(省電力)	15分	42
通信設定		
クレードルの自動ペアリング設定	有効	43
Bluetooth®通信タイプ	BT キーボード	44
無線電波状態の確認	標準レベル	45
BT SPP 自動接続	有効	46
BT SPP ACK/NAK	無効	46
インジケーター設定		
ブザー音量	音量「中」	47
バイブレーター	有効	47
読取成功インジケーター	ブザー	48
無線接続インジケーター	ブザー	48
システム設定インジケーター	ブザー	49
警告・エラーインジケーター	ブザー	49
パワーオンインジケーター	ブザー	50
パワーオフインジケーター	ブザー	51
ダイレクトデコードインジケーター	無効	52
内蔵メモリ設定(バッチモード)		
バッチデータ送信	N/A	53
最後に保存されたデータを削除	N/A	53
すべてのバッチデータを削除	N/A	54
すべての一時データを削除	N/A	54
内蔵メモリ容量の確認	N/A	54
バッチ送信終了メッセージ	無効	55
電源オフ時の一時データ	無効	55
USB/BT/BLE キーボード設定		
USB/BT/BLE キーボード文字間遅延	遅延無し	56
USB/BT/BLE キーボードデータ間遅延	遅延無し	57
大文字/小文字の変換	自動トレース	58
キーボードレイアウト	英語(北米)	58

パラメータ	標準値	掲載ページ
RS232 設定	1	
標準設定値	9600,8,なし,1,なし	60
ボーレート	9600	60
データ送信設定		
コード ID の送信	送信しない	61
ターミネーター	CR	67
プリフィックスとサフィックス	未定義	68
送信データフォーマット	データのみ	69
"読取なし"メッセージの送信	無効	70
バーコード内の制御コードの送信	部分的に送信する	70
ECI 文字の送信	有効	71
キーストロークの送信	N/A	72
トリガー操作設定		
自動プレゼンテーション	無効	83
スキャンモード	レベル	84
連続読取りモード	無効	85
ユニークバーコードの読取り	無効	85
ピックリストモード	常に無効	86
屋外ピックリストモード	屋外ピックリスト無効	86
読取りセッションタイムアウト	9.9 秒	87
同一バーコードの読取間隔	0.5 秒	87
異なるバーコードの読取間隔	0.1 秒	88
照準パターンの切り替え	許可	89
照準パターンの明るさ	明度 3	89
照明の切り替え	許可	90
照明の明るさ	明度 6	91
バーコード検出支援	支援なし	92
視界調整	標準の境界	92
携帯電話/ディスプレイモード	無効	93
iOS ソフトキーボード	N/A	93
バーコード読取設定		
全てのバーコードの読取り	N/A	94
UPC/JAN		
UPC-A の読取り	有効	95

パラメータ	標準値	掲載ページ
UPC/JAN(続き)		
UPC-E の読取り	有効	95
UPC-E1 の読取り	無効	95
JAN-8 の読取り	有効	96
JAN-13 の読取り	有効	96
ISBN の読取り	無効	96
UPC/JAN アドオンコードの読取り	無視	97
ユーザー定義アドオン1	000	99
ユーザー定義アドオン2	000	99
アドオンコードの確認回数	10	99
アドオンコードの AIM ID フォーマット	結合	100
UPC 縮小クワイエットゾーン	無効	100
UPC-A チェックデジットの送信	送信する	101
UPC-E チェックデジットの送信	送信する	101
UPC-E1 チェックデジットの送信	送信する	101
UPC-A プリアンブル	システムキャラクタ	102
UPC-E プリアンブル	システムキャラクタ	103
UPC-E1 プリアンブル	システムキャラクタ	104
UPC-E を UPC-A に拡張	拡張しない	105
UPC-E1 を UPC-A に拡張	拡張しない	105
JAN-8 を JAN-13 に拡張	拡張しない	105
ISBN の出力フォーマット	ISBN-10	106
UCC クーポン拡張コード	無効	106
クーポンフォーマット	新クーポン	107
ISSN の読取り	無効	107
Code128		
Code128の読取り	有効	108
Code128 の読取り桁数	任意桁数	108
GS1-128 の読取り	有効	109
ISBT 128の読取り	有効	109
ISBT 連結	ISBT 連結無効	110
ISBT テーブルチェック	チェックする	110
ISBT 連結冗長性	10	111
Code128 セキュリティレベル	セキュリティレベル1	112
Code128 縮小クワイエットゾーン	無効	113
Code128 <fnc4></fnc4>	<fnc4>を使用する</fnc4>	113

パラメータ	標準値	掲載ページ
Code39		
Code39 の読取り	有効	114
Trioptic Code 39の読取り	無効	114
Code39 を Code32 に変換	無効	115
Code32 プリフィックス	無効	115
Code39 の読取り桁数	範囲指定(2文字~55文字)	116
Code39 チェックデジットの検査	検査しない	117
Code39 チェックデジットの送信	送信しない	117
Code39 読取りフォーマット	標準フォーマット	117
Code39 セキュリティレベル	セキュリティレベル 1	118
Code39 縮小クワイエットゾーン	無効	119
Code93		
Code93 の読取り	無効	120
Code93 の読取り桁数	範囲指定(4 文字~55 文字)	120
Code11		
Codellの読取り	無効	121
Codel1の読取り桁数	範囲指定(4 文字~55 文字)	121
Codell チェックデジットの検査	無効	122
Code11 チェックデジットの送信	送信しない	122
ITF (Interleaved 2 of 5)		
ITF の読取り	無効	123
ITF の読取り桁数	1つの固定桁数(14文字)	123
ITF チェックデジットの検査	検査しない	124
ITF チェックデジットの送信	送信しない	124
ITF を JAN13 に変換する	変換しない	125
ITF セキュリティレベル	セキュリティレベル 1	126
ITF 縮小クワイエットゾーン	無効	127
Discrete 2 of 5		
Discrete 2 of 5の読取り	無効	128
Discrete 2 of 5の読取り桁数	1 つの固定桁数(12 文字)	128
NW-7 (Codabar)		
NW-7 の読取り	有効	129
NW-7 の読取り桁数	範囲指定(5 文字~55 文字)	129
NW-7 の CLSI 編集	無効	130
NW-7 セキュリティレベル	セキュリティレベル 1	131

パラメータ	標準値	掲載ページ
NW-7(Codabar)(続き)		
NW-7 スタート・ストップキャラクタの送信	送信する	132
NW-7 スタート・ストップキャラクタの文字種	大文字	132
NW-7 の Mod16 チェックデジットの検査	検査しない	133
NW-7 の Mod16 チェックデジットの送信	送信しない	133
MSI		
MSI の読取り	無効	134
MSIの読取り桁数	範囲指定(4文字~55文字)	134
MSI チェックデジットの検査	1桁のチェックデジット	135
MSI チェックデジットの送信	送信しない	135
MSI チェックデジットのアルゴリズム	MOD 10/MOD 10	136
MSI 縮小クワイエットゾーン	無効	136
Chinese 2 of 5		
Chinese 2 of 5の読取り	無効	137
Matrix 2 of 5		
Matrix 2 of 5の読取り	無効	138
Matrix 2 of 5の読取り桁数	1つの固定桁数(14文字)	138
Matrix 2 of 5 チェックデジットの検査	検査しない	139
Matrix 2 of 5 チェックデジットの送信	送信しない	139
GS1 Databar		
GS1 Databar Omnidirectional の読取り	有効	140
GS1 Databar Limited の読取り	有効	140
GS1 Databar Expanded の読取り	有効	140
GS1 Databarを UPC/JAN に変換	無効	141
GS1 Databar Limited マージンチェックレベル	チェックレベル3	142
GS1 Databar セキュリティレベル	セキュリティレベル 1	143
合成シンボル		
CC-C の読取り	無効	144
CC-A/B の読取り	無効	144
TLC-39 の読取り	無効	145
反転合成シンボル	標準のみ	146
 UPC 合成モード	常にリンクする	147
ビープモード	各1回	147
 UCC/EAN 合成シンボルを GS1-128 に変換		148
標準設定値一覧(続き)

パラメータ	標準値	掲載ページ
PDF417		
PDF417 の読取り	有効	149
Micro PDF417の読取り	無効	149
Code128エミュレーション	無効	150
PDF417 の優先	無効	150
PDF417 の優先タイムアウト	200 ミリ秒	151
Data Matrix		
Data Matrix の読取り	有効	152
GS1 Data Matrix の読取り	無効	152
Data Matrix 反転イメージの読取り	標準のみ	153
Maxicode		
Maxicode の読取り	無効	154
QR コード		
QR コードの読取り	有効	155
GS1 QR コードの読取り	無効	155
Micro QR コードの読取り	有効	155
QR コードの連結機能について	常に連結	156
Aztec		
Aztec の読取り	有効	157
Aztec 反転イメージの読取り	自動検出	157
Han Xin		
Han Xin の読取り	無効	158
Han Xin 反転イメージの読取り	標準のみ	158
Grid Matrix		
Grid Matrix の読取り	有効	159
Grid Matrix 反転イメージの読取り	標準のみ	159
Grid Matrix 鏡面イメージの読取り	標準のみ	160
DotCode		
DotCode の読取り	無効	161
DotCode 反転イメージの読取り	自動検出	161
DotCode 鏡面イメージの読取り	自動検出	162
DotCode の優先	無効	162
郵便バーコード		
US Postnet の読取り	無効	163

標準設定値一覧(続き)

パラメータ	標準値	掲載ページ
郵便バーコード(続き)		
US Planet の読取り	無効	163
US Postal チェックデジットの送信	送信する	163
UK Postal の読取り	無効	164
UK Postal チェックデジットの送信	送信する	164
日本郵便カスタマバーコードの読取り	無効	164
Australia Post の読取り	無効	165
Australia Post フォーマット	自動識別	165
Netherlands KIX コードの読取り	無効	166
USPS 4CB/One Code/Intelligent Mailの読取り	無効	166
UPU FICS Postal の読取り	無効	166
Mailmark の読取り	無効	167
Korea Postalの読取り	無効	167
バーコードオプション		
反転1次元バーコード	標準のみ	168
2値バーコードのセキュリティレベル	セキュリティレベル 1	169
4 値バーコードのセキュリティレベル	セキュリティレベル 1	170
1次元コードのクワイエットゾーンレベル	クワイエットゾーンレベル 1	171
文字間ギャップサイズ	通常の文字間ギャップ	172
マクロ PDF417	N/A	173
Digimarc [®] Barcode		
Digimarc Barcode の読取り	無効	175
OCR プログラミング		
OCR-A の読取り	無効	177
OCR-A バリアント	フルアスキー	178
OCR-B の読取り	無効	180
OCR-B バリアント	フルアスキー	181
MICR E13B の読取り	無効	185
US Currency Serial Numberの読取り	無効	186
OCR 読取り方向	正面 O°	187
OCR 読取り行数	1 行	188
OCR 最小文字数	003(3文字)	188
OCR 最大文字数	100(100文字)	188
OCR サブセット	未定義	189
OCR クワイエットゾーン	50	189

標準設定値一覧(続き)

パラメータ	標準値	掲載ページ
OCR プログラミング(続き)		
OCR テンプレート	99999999	190
OCR チェックデジットのモジュラス	1(モジュラス1)	201
OCR チェックデジットの乗数	121212121212	202
OCR チェックデジットの検査	検査なし	203
反転OCR	標準 OCR のみ	210
OCR 冗長化	レベル 1	211

20. クレードルを使用した接続方法

20.1. USB キーボードインターフェース

本機の標準の接続方法です。スキャナは、読み取ったバーコードデータをクレードルにワイヤレスで送信 し、クレードルは受信したバーコードデータをあたかもキーボードで入力したように USB ケーブルでホスト へ送信します。ホストでは、Excel や Word などのキーボードによる文字の入力が可能なソフトウェアが待 機状態で実行されている必要があります。

- クレードルのインターフェーススイッチを 『左』へ切り替えます。
- この操作は、必ずすべてのケーブルを取り外した状態で行ってください。



 USB インターフェースケーブルをクレードル のインターフェースポートへ接続し、ケーブル をクレードルのガイドスロットに沿ってはめ込 みます。



 専用の USB インターフェースケーブルを使用 してホスト PC の USB ポートに接続します。 はじめてホスト PC に接続した場合、ドライバ のインストールに時間がかかる場合がありま す。クレードルが使用可能になるまで、クレー ドルの LED ランプは赤色に点灯し続けます。 使用可能になると、次のようにランプが点灯し ます。

緑色の点灯:次の手順4を行います。
青色の点滅:次の手順はスキップし手順5
を行います。(手順4を行うこともできます)

- クレードルの LED ランプが消えるまで、2 秒 間クレードルボタンを押し続け、その後放しま す。クレードルの LED ランプが緑色の点滅に 変化し、続いて青色の点滅に変化します。
- 5. スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続け、スキャナの電源をオンにします。
- スキャナで8.4.ペアリング情報削除(45ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

- スキャナをクレードルに置くとペアリングが自 動的に開始されます。
- ペアリングが完了すると、クレードルおよびス キャナ双方の LED インジケーターが青色に点 灯し使用可能になります。

20.2. USB 仮想 COM インターフェース

スキャナは、読み取ったバーコードデータをクレードルにワイヤレスで送信し、クレードルはホスト PC に 擬似的なシリアル通信でデータを送信します。シリアル通信を行うには、①適切なドライバのインストール と、②適切な受信ソフトウェアの使用が求められます。

シリアル通信では、かな、カナ、半角カナ、漢字、その他の全角文字を含む QR コードをただしく出力する ことができます。

USB 仮想 COM エミュレーションは、Windows のみを正式にサポートしています。その他の OS については ドライバおよびソフトウェアの提供は行っておりません。あらかじめご了承ください。

- クレードルのインターフェーススイッチを 『右』へ切り替えます。
- この操作は、必ずすべてのケーブルを取り外した状態で行ってください。



 USB インターフェースケーブルをクレードル のインターフェースポートへ接続し、ケーブル をクレードルのガイドスロットに沿ってはめ込 みます。



 専用の USB インターフェースケーブルを使用 してホスト PC の USB ポートに接続します。 はじめてホスト PC に接続した場合、ドライバ のインストールが必要です。ドライバのインス トールについては 20.2.1.USB CDC ドライバ (222 ページ)をご覧下さい。

クレードルが使用可能になるまで、クレードル の LED ランプは赤色に点灯し続けます。ドラ イバがインストールされ使用可能になると、次 のようにランプが点灯します。

緑色の点灯:次の手順4を行います。
青色の点滅:次の手順はスキップし手順5
を行います。(手順4を行うこともできます)

- クレードルの LED ランプが消えるまで、2 秒 間クレードルボタンを押し続け、その後、開放 します。クレードルの LED ランプが緑色の点 滅に変化し、続いて青色の点滅に変化します。
- 5. スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続け、スキャナの電源をオンにします。
- スキャナで8.4.ペアリング情報削除(45ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

- スキャナをクレードルに置くとペアリングが自 動的に開始されます。
- ペアリングが完了すると、クレードルおよびス キャナ双方の LED インジケーターが青色に点 灯し使用可能になります。
- シリアル通信用のソフトウェアをホスト PC で セットアップして実行します。

シリアル通信用のソフトウェアをお持ちでない 場合は、無償の RSWedge を使用してシリア ル通信を行うことができます。RSWedge を 使用したデータ受信をご希望の場合は、続けて 22.RSWedge について(230ページ)をご確認 ください。

20.2.1. USB CDC ドライバ

20.2.1.1. ドライバのダウンロードとインストール

Windows 10 以降の OS を使用している場合、ドライバは Windows に含まれています。この場合、ドライ バのインストールは必要ありませんので、そのまま次へ進んでください。

Windows 8.1 以前の OS を使用している場合、以下の手順に沿ってドライバのインストールを行ってくださ い。対応 OS は、Windows 7/8/8.1(32/64 ビット)です。

1. 以下のリンクからドライバをダウンロードし、 ● ◎ ドライバー ソフトウェアの更新 - Unitech CDC Scanner 任意の場所へ解凍し展開します。 コンピューター上のドライバー ソフトウェアを参照します。 http://www.unitech-japan.co.jp/public/down 次の場所でドライバー ソフトウェアを検索します: load/MS852/OG/signed_CDC_driver.zip C:¥signed_CDC_driver ✓ サブフォルダーも検索する(I) 2. 展開したフォルダに2 つのファイルが存在す unitech_cd unitech_cd ることを確認します。 c_win8.cat c_win8.inf 3. デバイスマネージャーを実行し、Unitech C DC Scanner を右クリックし、ドライバーソ 6. **フトウェアの更新**をクリックします。 「シテリ」 「「「とユーマン インターフェイス デバイス」 クリックして続行します。 □ 場 たユーマン インターフェイス デ/シ
 □ ポージブル デバイス
 > ■ ガロセッサ
 > ■ ボージブル デバイス
 > ● ほかのデバイス
 □ 101tech CDC Scanne
 > ○ マクスとそのほかのポインディ
 > ■ エニケー
 > ■ エニケー
 > ⇒ エニパーサル シリアル パス:
 ⇒ ⇔ 印刷ビャュ Windows ヤキュリティ このデバイス ソフトウェアをインストールしますか? ドライバー ソフトウェアの更新(P)... 名前: Unitech ポート (COM と LPT) 柔行元: Unitech Electronics Co., Ltd. 無効(D) 削除(U) 印刷キュー ◎ こ//// 記憶域コントローラー ハードウェア変更のスキャン(A) ■ "Unitech Electronics Co., Ltd." からのソフトウェアを 常に信頼する(A) プロパティ(R) 4. コンピューターを参照してドライバーソフトウ **ェアを検索します(R)**をクリックします。 ダイアログが表示されます。 ④ ◎ ドライバー ソフトウェアの更新 - Unitech CDC Scanner ⑥ ⑧ ドライバー ソフトウェアの更新 - Unitech CDC USB (COM3) どのような方法でドライバー ソフトウェアを検索しますか? ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。 → ドライバー ソフトウェアの最新版を自動検索します(S) このデバイスのドライバー ソフトウェアのインストールを終了しました このデバイス用の最新のドライバーソフトウェアをコンピューターとインターネットから検索します。 ただし、デバイスのインストール設定でこの機能を無効にするよう設定した場合は、検索は行わ カません。 Unitech CDC USB → コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します(R) ドライバー ソフトウェアを手動で検索してインストールします。 キャンセル 5. 参照ボタンをクリックして、ドライバを展開し たフォルダを選択します。その後、次へボタン をクリックします。

例では、C ドライブの直下に「signed CDC dr iver」という名称のフォルダを作成し、そこへ 展開しています。



このデバイスソフトウェアをインストールしま すか?という設問には、インストールボタンを



7. ドライバが正常にインストールされると、次の



20.2.1.2. COM ポート番号の確認

Windowsのデバイスマネージャーを使用して、スキャナがデータの送信に使用している COM ポートの番号 を確認します。ソフトウェア(RSWedge Unitech 版を含む)は、この COM ポート番号に対してデータを 受信できるようにセットアップする必要があります。ソフトウェアがデータを受信できない場合は、この CO M ポート番号が変更されている可能性があります。

【参考】 デバイス マネージャーを開く

https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4026149/windows-open-device-manager





20.3. RS232C インターフェース

スキャナは、読み取ったバーコードデータをクレードルにワイヤレスで送信し、クレードルはホスト PC に シリアル通信でデータを送信します。この接続方式では、ホスト PC 側に物理的な RS232C ポート (D-SUB9 コネクタ)が1つ必要です。ホスト側で USB⇔RS232C インターフェース変換ケーブルを使用している場 合、正常に動作しない可能性があります。

- クレードルのインターフェーススイッチを 『右』へ切り替えます。
- この操作は、必ずすべてのケーブルを取り外した状態で行ってください。



 RS232Cインターフェースケーブルをクレード ルのインターフェースポートへ接続し、ケーブ ルをクレードルのガイドスロットに沿ってはめ 込みます。



 専用の RS232C インターフェースケーブルを使 用してホスト PC の RS232C ポートに接続しま す。

クレードルが使用可能になるまで、クレードル の LED ランプは赤色に点灯し続けます。ドラ イバがインストールされ使用可能になると、次 のようにランプが点灯します。

緑色の点灯:次の手順4を行います。
青色の点滅:次の手順はスキップし手順5
を行います。(手順4を行うこともできます)

- クレードルの LED ランプが消えるまで、2 秒 間クレードルボタンを押し続け、その後、開放 します。クレードルの LED ランプが緑色の点 滅に変化し、続いて青色の点滅に変化します。
- 5. スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続 け、スキャナの電源をオンにします。

6. スキャナで 8.4.ペアリング情報削除(45 ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

- スキャナをクレードルに置くとペアリングが自動的に開始されます。
- ペアリングが完了すると、クレードルおよびス キャナ双方の LED インジケーターが青色に点 灯し使用可能になります。
- シリアル通信用のソフトウェアをホスト PC で セットアップして実行します。お持ちでない場 合は、ユニテックの用意した無償の RSWedge を使用してシリアル通信を行うことができま す。RSWedge を使用したデータ受信をご希 望の場合は、続けて 22.RSWedge について(2 30ページ)をご確認ください。

21. Bluetooth®を使用した接続方法

21.1. BT/BLE キーボード

Bluetooth®接続における標準の接続方法です。BT キーボード接続は、ノート PC、スマホ、タブレットな ど、ほとんどの環境で動作することができます。BLE キーボード接続は、BT キーボード接続よりも高速な 接続やデータ転送を実現できますが、使用できるかどうかはホスト PC の OS や環境に依存します。とくに理 由がない限り BT キーボード接続を行うことをお勧めいたします。

21.1.1. Windows 10 との接続例

次のマイクロソフトのサポートページでも同様の手順を確認することができます。 https://support.microsoft.com/ja-jp/help/15290/windows-connect-bluetooth-device

- スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続け、スキャナの電源をオンにします。
- 2. スキャナで 8.4.ペアリング情報削除を読み取り ます。



ペアリング情報削除

 スキャナで 8.3.Bluetooth®通信タイプ(44ペ ージ)の BT キーボードを読み取ります。



BT キーボード

- [■スタート]→[磁設定]→[電デバイス]→[Bluet ooth とその他のデバイス]に移動し、Bluetoot h をオンにします。
- 5. ペアリング済みの[**■MS852B_XXXX**] (XXX X はスキャナ固有の値) があれば削除します。

- [+Bluetooth またはその他のデバイスを追加 する]をクリックし、[*Bluetooth]をクリック します。
- 7. [**MS852B_XXXX**]をクリックします。
- 8. 接続完了を示す画面が PC に表示されます。ス キャナは接続完了音を鳴動し、青色ランプが点 灯します。

どちらか片方だけでは正常に接続出来ていません。うまく接続できない場合は、ホスト PC の 再起動を行い、もう一度手順の最初から行って ください。

21.1.2. Android との接続例

次の Google のサポートページでも同様の手順を確認することができます。 https://support.google.com/android/answer/9075925?hl=ja

- ✔ Android は画面の表示や操作方法の規格が統一されていません。そのため、メーカーや機種の違いによって操作方法が下記の手順と異なる場合がありますのでご注意ください。
- スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続け、スキャナの電源をオンにします。
- 2. スキャナで 8.4.ペアリング情報削除(45 ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

 スキャナで 8.3.Bluetooth®通信タイプ(44ペ ージ)の BT キーボードを読み取ります。



BT キーボード

- (②[設定]→□□[接続済みの端末]→[接続の設 定]→[Bluetooth]に移動し、Bluetooth をオン にします。
- (2)[設定]→[][接続済みの端末]に進み、[現在 接続されている端末]に[MS852B_XXXX]が あれば、[削除]→[このデバイスとのペア設定を 解除]してください。
- [新しいデバイスとペア設定する]をタッチし、
 [使用可能なデバイス]に¹⁰⁰ [MS852B_XXX X]が表示されるまで待機します。
- [MS852B_XXXX]をタッチ→[連絡先と 通話履歴へのアクセスを許可する]をチェック →[ペア設定する]をタッチします。

- 8. 接続が完了すると [設定]→ [[接続済みの 端末]の[現在接続されている端末]に [[MS8 52B_XXXX]がリストされます。スキャナは 接続完了音を鳴動し、青色ランプが点灯しま す。
- 9. (②[設定]→①[システム]→①[言語と入力]→
 [物理キーボード]→[キーボードアシスタント]
 →[仮想キーボードの表示]を有効化します。この設定が無効の場合は、スキャナ接続中は画面 キーボードが表示されなくなります。
- <u>スキャナが読み取ったバーコードのデータは、</u>
 <u>Android の画面キーボードが日本語入力の場</u>
 <u>合、正しく出力されません。</u>

お勧めの画面キーボードは、google が製作・ 公開している「**gboard**」です。こちらのキー ボードは英語入力、日本語入力の双方に対応 し、任意にユーザーが切り替えることができま す。 ※本ソフトウェアを使用して発生した如 何なる損害も弊社では補償できかねますのでご 了承ください。

「gboard」を使用してスキャナからのバーコ ードデータを表示する場合は、以下の Google ヘルプセンターの[Gboard で言語を追加する] の方法で[英語(米国) QWERTY]を追加し、バ ーコードデータを受信する前に、同ページの [言語切り替えキーを使用して言語を切り替え る]の方法で画面キーボードを英語入力へ切り 替えます。 https://support.google.com/gboard/answer/7 068494?co=GENIE.Platform%3DAndroid&hl =ja

21.1.3. iOS(iPhone 等)との接続例

次の Apple のサポートページでも同様の手順を確認することができます。 https://support.apple.com/ja-jp/HT204091

- スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続け、スキャナの電源をオンにします。
- 2. スキャナで 8.4.ペアリング情報削除(45ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

 スキャナで 8.3.Bluetooth®通信タイプ(44 ペ ージ)の BT キーボードを読み取ります。



BT キーボード

- 4. **()**[設定]→ **)**[Bluetooth]に進み Bluetoot h を **()**[**オン**]にします。
- (設定)→ ^{*} [Bluetooth]に進み、[自分の デバイス]に[MS852B_XXXX]があれば、右 の(i)[i]をタッチして[このデバイスの登録を 解除]→[デバイスの登録を解除]してください。
- (設定)→
 [Bluetooth]に進み、デバイ
 スに[MS852B_XXXX]が表示されるまで待機
 します。
- 7. [**MS852B_XXXX**]をタッチします。
- 8. 接続が完了すると [設定]→
 ▶]の[自分のデバイス[に[MS852B_XXXX]が リストされます。スキャナは接続完了音を鳴動 し、青色ランプが点灯します。

- スキャナとの接続中に、スキャナ本体のトリガ ーボタンを素早く2回引くことで、画面キーボ ードの表示と非表示を相互に切り替えることが できます。
- ユキャナが読み取ったデータは、iOS の画面キ ーボードが日本語入力の場合、正しく出力され ません。

正しく出力するには、画面キーボードを[英 語]、[英語(アメリカ)]または[英語(日本)]に変更 しておく必要があります。これらの画面キーボ ードがない場合は、 (②) [設定]→ (②) [一般]→ [キーボード]→[キーボード]→[新しいキーボー ドを追加]から追加する必要があります。

11. 以下は、テストのための項目です。

Safari で Google や yahoo にアクセスして検索 ボックスをタッチします。スキャナ本体のトリ ガーボタンを素早く2回引いて画面キーボード を表示させます。画面キーボードの①[地球] アイコンをタッチまたはロングタッチし、[英 語]、[英語(アメリカ)]または[英語(日本)]を選択 します。

画面キーボードを[英語]、[英語(アメリカ)]また は[英語(日本)]に変更してから、スキャナでバ ーコードを読み取ると、画面のカーソルの位置 に読み取ったバーコードのデータが表示されま す。

21.2. BT SPP

Bluetooth®接続で、擬似的なシリアル通信を行う接続方法です。また、かな、カナ、半角カナ、漢字、その 他の全角文字を Bluetoot 経由で出力するにはこの方法を使用します。シリアル通信を使用するには適切な受 信用のソフトウェアを使用する必要があります。ソフトウェアには、ユニテックが無償で提供している Win dows 専用の RSWedge を使用することができます。

21.2.1. Windows 10 との接続例

次のマイクロソフトのサポートページでも同様の手順を確認することができます。 https://support.microsoft.com/ja-jp/help/15290/windows-connect-bluetooth-device

- 1. スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続 け、スキャナの電源をオンにします。
- 2. スキャナで 8.4.ペアリング情報削除(45 ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

 スキャナで 8.3.Bluetooth®通信タイプ(44 ペ ージ)の BT SPP を読み取ります。



スキャナで 8.6.BT SPP 自動接続(46 ページ)の無効を読み取ります。



- [■スタート]→[磁設定]→[■デバイス]→[Bluet ooth とその他のデバイス]に移動し、Bluetoot h をオンにします。
- ペアリング済みの[印MS852B_XXXX] (XXX X はスキャナ固有の値)があれば削除します。

- [+Bluetooth またはその他のデバイスを追加 する]をクリックし、[*Bluetooth]をクリック します。
- 8. [印**MS852B_XXXX**]をクリックします。
- 接続完了を示す画面が PC に表示されます。ス キャナはピピと鳴動し、緑色ランプが点灯しま す。
- [■スタート]→[磁設定]→[IIIF デバイス]→[Bluet ooth とその他のデバイス]→[関連設定]の[その 他の Bluetooth オプション]をクリックします。
- [Bluetooth 設定]ダイアログの[COM ポート]
 タブへ移動します。
- ペアリングされた[MS852B_XXXX]に対して
 [発信]方向と[着信]方向の2つのCOMポート が作成されています。
 [発信]方向のCOMポートからのデータを、RS Wedge やその他のソフトウェアを使用して受 信します。
 PSWodge を使用したデータ受信をごを知の

RSWedge を使用したデータ受信をご希望の 場合は、続けて 22.RSWedge について(230 ページ)をご確認ください。

21.2.2. Android との接続例

次の Google のサポートページでも同様の手順を確認することができます。 https://support.google.com/android/answer/9075925?hl=ja

- ✔ Android は画面の表示や操作方法の規格が統一されていません。そのため、メーカーや機種の違いによって操作方法が下記の手順と異なる場合がありますのでご注意ください。
- Android 向けのデータ受信用アプリは用意されておりません。SPP によるデータ受信に対応したアプリ をご使用者様にてご用意ください。

基本的には、接続に使用する SPP 対応アプリが示す接続手順に従って操作してください。

以下は Android における一般的な SPP でのペアリングの方法について掲載していますが、アプリによって は、この方法でのペアリングをサポートしていない場合がありますのでご注意ください。

- 1. スキャナのトリガーボタンを2秒以上引き続け、スキャナの電源をオンにします。
- 2. スキャナで 8.4.ペアリング情報削除(45 ページ)を読み取ります。



ペアリング情報削除

 スキャナで 8.3.Bluetooth®通信タイプ(44 ペ ージ)の BT SPP を読み取ります。



BT SPP

- (②[設定]→□[接続済みの端末]→[接続の設 定]→[Bluetooth]に移動し、Bluetooth をオン にします。
- (2)[設定]→[1][接続済みの端末]に進み、[現在 接続されている端末]に[MS852B_XXXX]が あれば、[削除]→[このデバイスとのペア設定を 解除]してください。
- [新しいデバイスとペア設定する]をタッチし、
 [使用可能なデバイス]に】[MS852B_XXXX]
 が表示されるまで待機します。

- 7. ※[MS852B_XXXX]をタッチ→[連絡先と通 話履歴へのアクセスを許可する]をチェック→ [ペア設定する]をタッチします。
- 接続が完了すると

 (設定)→
 (提続済みの 端末)の[現在接続されている端末]に
 (MS852)
 B_XXXX]がリストされます。スキャナはピピ と鳴動し、緑色ランプが点灯します。

22. RSWedge について

RSWedge™ Unitech版(以降、RSWedge)は、指定した COM ポートからのデータを受信し、アクティブ(最前面)なソフトウェアに対してデータを再送信します。シリアル通信に対応していない MS Excel などのソフトウェアに対して日本語を含む QR コードを文字化けせずに再送信することも可能です。

RSWedge は、一般には公開されておらず、弊社のスキャナをご購入いただいたお客様が送付申請を行ってい ただくことで入手することができます。RSWedgeの送付申請は、以下の申請フォームより行ってください。 申請には、ご購入頂いた機器名称とシリアル番号が必要です。

RSWedge 送付依頼フォーム http://www.unitech-japan.co.jp/rswedge.html

申請後、当日~数日で RSWedge のインストールファイルが送付されます。お受け取り後、インストールを 行ってください。

22.1. セットアップ例

以下は、データを受信して別のソフトウェアへ再送信するための簡単なセットアップ例です。その他のパラ メータの説明などは、インストールしたフォルダに存在する「**操作ガイド**」をご覧下さい。

RSWedge 実行後、通信設定のポートにデバイスマネージャーで確認した COM ポート番号を選択し、「開 始」ボタンをクリックします。正常に COM ポートに接続できたら、「中止」ボタン以外はロックされます。

RsWedge(TM) Ver.2.41			-		
通信設定	┌受信設定				
ポート COM15 💌		削除する			
j∰t=ubm 115200 ▼					
データ長 バリティ ストップ	終了コード	□ 削除する 🛛 🔡			
8 💌 None 💌 1 💌	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_ i	起動時、目動美行 		
フロー制御 None 🔻	受信待方時間 10 ms		-1887/2 		
	データ問題 50 ms		RsWedge(TM) Ver.2.41 間整値		- 🗆 ×
			通信設定	受信設定	ログ設定開始
全角コード設定				開始コード	削除する About 中止
開始コード	半角力ナコード設定	1 6	通信速度 115200 🗾		
	開始コード	「付加コード設定	ミニー データ長 パリティ ストップ	終了コード	□ 削除する □ 記動時、自動実行
終了コード		開始コード	8 <u>v</u> None <u>v</u> 1 <u>v</u>		送信設定
	終了コード		フロー制御None 🔽	受信待ち時間 10 ms	₹-*1
ESC \$B/(B ESC K/H ESC SO/SI		終了コード		データ間隔 ⁵⁰ ms	調整値 20
ESC 0B/(J ESC/x9B	SO/SI ESC (I/(B		今日 コード 時空		_UTF8→SJIS変換
 _ 入力データ表示				半角カナラード設定	なし
入力コード(16進表示	5	出力文字列(文字表	(旅行) (終了コード)		
	^			終了コード	
			ESC \$B/(B_ESC K/H_ESC SO/SI		終了コード
			ESC 08/(1) ESC/v98	SO/SI ESC (I/(B	
		_			
			- 人力データ表示		クリア
	OM ホート接続則			>	
				· · · · ·	
				OM 18 1 14564-14-	×
				UM ホート接続元。	1

22.2. データの受信確認

RSWedge の COM ポートへの接続が正常に完了したら、ターゲットのソフトウェアへデータを再送信する前 に、RSWedge 上でデータが受信できているかどうか確認することをお勧めいたします。RSWedge は、自身 がアクティブ(最前面)の場合は、データの再送信を行わずに自身の入力データ表示に受信したデータを表 示します。

正常に COM ポートからのデータが受信出来ている場合は、バーコードを読み取る度に入力データ表示の入 カコード(16 進表示)と出力文字列(文字表示)の両方にデータが出力されます。どちらか一方にしか表示 されない場合は、スキャナが USB 仮想 COM エミュレーションへ変更されていないか、正しい COM ポート に接続できていません。



22.3. 受信したデータが文字化けしている場合

読み取った QR コードのエンコード方式と、RSWedge のエンコード方式が異なっている場合、日本語部分が 文字化けして出力されます。

RsWedge(TM) Ver.2.41			-	□ X	
_ 通信設定	受信設定		1	1	
ポート COM29	開始コード	削除する	ログ設定	開始	
通信連度 115200 🔍			About	中止	
データ長 パリティ ストップ	終了コード	□ 削除する	設定読込		
8 💌 None 💌 1 💌	i		ビ助時、日 送信設定	1 朝天行	
フロー制御None 🔽	受信待ち時間 10 ms		E-h*1	-	
	データ間隔 50 ms		, 調整値 2	0	
			_UTE8→SUIS	恋场	
全角コード設定			2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
開始コード	半角力ナコード設定		140		
	開始コード	「付加コー	ド設定		
終了コード		開始コー	- 14		
	終了コード				
ESC \$B/(B ESC K/H ESC SO/SI			- 12		
ESC 0B/(J ESC/x9B	SO/SI ESC (I/(B				
				クリア	
入力コード(16進表示	>	出力文字列()	文字表示)		
VE3 X83 X46 XE3 X83 X8B XE3 X83 X86	×F3 ×83 ×83 ×F3 ▲ 綱ヲ綱カフ綱・	1十編時至5編(編代)	↑壁→蟷すり々 ♭<	CR>	
x82 xAF xE3 x83 xBB xE3 x82 xB8 xE3	×83 ×43 ×53 ×83 <lf></lf>	() dialy dialy dial point of			
x31 xE3 x03 xD3 xE6 xA0 xAA xE3 xD0 xE7 xA4 xBE x0D x0A	XOF XE4 XBU XJA			_	
				サウ	ルトレクレ
				入于	
1	× J			×	

その場合、「中止」ボタンをクリックして COM ポートとの接続を切断し、UTF8→SJIS 変換オプションを 逆の値にセットしてください。その後「開始」ボタンをクリックして再び COM ポートと接続します。UTF 8→SJIS 変換オプションに正しい値がセットされていれば、文字化けせずに出力されます。

RsWedge(TM) Ver.2.41			-	□ X	
通信設定 ポート COM23 マ 通信速度 115200 マ データ長 バリティ ストップ 8 マ None マ 1 マ フロー制御 None マ	受信設定 開始コード 系をアコード 受信待ち時間 10 ms データ間隔 50 ms	□ 削除する □ 削除する	ログ設定 About 設定読込 ■ 起動時、自 送信設定 〒-ト ^{×1} 調整値 20	開始 中止 設定書込 目動実行	
全角コード設定 開始コード 解ガコード ESC \$B/(B_ESC K/H_ESC SO/SI ESC @B/(J_ESC/x9B	半角カナコード設定 開始コード 続了コード S0/SI ESC (1/(B	「財助コー」 開始日一 続了コー	-UTF8→SJIS3 あり ドDC ド	芝換	
○ 入力データ表示				クリア	
入力コード(16進表示)		出力文字列(プ	(字表示)		
xE3 x83 x46 xE3 x83 x88 xE3 x83 x88 xE3 x82 x47 x25 x83 x85 xE3 x83 x86 xE3 x82 x88 x86 xE3 x83 x81 xE3 x83 x83 xE5 x40 x44 xE5 x8C x8F xE7 x44 xBE x00 x04	3 88 388 253 A ユニテック (LF) * xE4 xBC x3A	・ジャパン林式会社々	SR>	 文字· ↓	化けしていない

22.4. データを他のソフトウェアへ再送信させる

データを再送信させたいソフトウェアをアクティブ(最前面)にし文字を入力したい場所にカーソルを合わ せます。希望のバーコードを読み取り、データが正しく表示されるか確認します。

RsWedge(TM) Ver.2.41		— [
通信設定 ポート COM29 エ 通信速度 115200 エ		する About 設定読込	開始 中止 設定書込
データ長 パリティ ストップ 8 <u>マ</u> None マ 1 <u>マ</u> フロー制御 ^{None} マ	終了コード 受信待ち時間 10 ms	する 「 起動時、自動 送信設定 	実行
全角コード設定 開始コード	データ間隔 50 ms - 半J 日 ち・ぐ・ 谷	調整値 ²⁰	Book
終了コード	P7/ル ホーム 挿入 ページレ A4 ▼ : × ✓ ;	イアウト 数式 データ	9 校閲 表示
ESC \$B/(B) ESC K/H ESC SO/SI ESC 8B/(J) ESC/×9B へ入力データ表示	1 ユニテック・ジャバン株式会社 2 ユニテック・ジャバン株式会社 3 ユニテック・ジャバン株式会社 4 4		
入力コード(16進表示)	- 5 6 7 8		
	9 10 11 12		
	13 14 15		

22.5. 起動時、自動実行

RSWedge のこのオプションがチェックされている場合、RSWedge の起動時に自動的に開始ボタンが押さ れて COM ポートへ接続し、RSWedge は最小化してタスクトレイへ格納されます。ただし、これは <u>Wind</u> <u>ows の再起動時などに自動実行させるための設定ではありません</u>。Windows の再起動時などに自動実行さ せたい場合は、このオプションにチェックを入れた RSWedge のショートカットを、Windows のスタートア ップフォルダへコピーするなどしておく必要があります。

	-	□ ×
	ログ設定	開始
叩釈する	About	中止
印合ナス	設定読込	設定書込
нрж 9 °Э	✓ 起動時、自 送信設定	動実行
	₹-*1	•

【参考】Windows 10 の起動時に自動的に実行されるアプリを変更する https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4026268/windows-10-change-startup-apps

23. よくある質問

- Q XX ミリ角の QR コードは読取れますか?
- Q XX 桁で幅が XX ミリのバーコードは読取れますか?
- Q 紙以外に印字されたバーコードは読取れますか?
- Q コンベアで流れてくる商品に貼付けられているバーコードは読み取れますか?
- Q 曲面に貼付けられたバーコードは読取れますか?
- Q バーコードからどのくらい離して読取れますか?
- A ユニテックのスキャナは、ご購入前に事前のご評価を充分に行なっていただくための無償のお貸し出し を実施しております。バーコードは、データ量、印字サイズ、周辺環境、その他の外的要因によって読 取りの精度が変化します。例えばオフィスでは読めたのに倉庫だと読めない(周囲が暗かった)といっ たこともございます。実際の環境での事前の十分な検証をユニテックは推奨しております。必要な方は 以下の評価機貸出フォームをご利用ください。

http://unitech-japan.co.jp/loanform.html

- Q XX という機器で使用できますか?
- Q XX に Bluetooth で接続できますか?
- Q 安定した Bluetooth 通信を保証できますか?
- Q XX というアプリ、ソフトウェアで使用できますか?
- A ユニテックのスキャナは、ご購入前に事前のご評価を充分に行なっていただくための無償のお貸し出し を実施しております。通信については、ホストの Bluetooth や OS の状態、周辺環境、接続されてい る周辺機器、その他の内的、外的要因に依存し変化します。実際の環境での事前の十分な検証をユニテ ックは推奨しております。必要な方は以下の評価機貸出フォームをご利用ください。 http://unitech-japan.co.jp/loanform.html
- Q 設定バーコードが読取れません。
- Q 設定バーコードを読取るとエラー音が鳴ります。
- A 本マニュアルの1ページ目を参照し、本マニュアルの対象機器かどうかを確認してください。次にター ゲットの設定バーコードが掲載されたページを A4 等倍にて印刷して読取れるか確認してみてくださ い。
- Q バーコード(QR コード)を読取ったり読取らなかったり不安定です。
- Q バーコード(QR コード)の読み取り速度を上げたい。
- A スキャナの適切に読取れる仕様でバーコード(QR コード)が生成されていない可能性があります。タ ーゲットの大きさ、幅、文字数などを変更したり、上位の機種に変更したりすることを検討してくださ い。

- Q 専用クレードルに何台のスキャナを接続して使用できますか?
- A 1台につき最大1台のスキャナを接続して使用できます。
- Q パソコンの電源がオフのとき、クレードルで充電ができない。
- A クレードルが充電を行うためには USB からの給電が必要です。パソコンの電源がオフのときに USB 側の給電が停止する場合は充電ができません。その場合は、USB-C ケーブルを使用した直接充電や、電源 アダプタ付きの USB ハブを使用するなどをご検討ください。
- Q クレードルは RS232 インタフェースをサポートしていますか?
- A はい、サポートしています。RS232 インタフェースが必要な場合は、専用の RS232 ケーブルおよび AC アダプタ(必要な場合)をお買い求めいただき、お客様にて交換、設定を行ってください。
- Q USB ケーブルモデルのクレードルに別売の RS232 ケーブルを接続して RS232 モデルとして 使用できますか? また、その逆は可能ですか?
- A はい、可能です。クレードルのインターフェーススイッチを切り替えることで、USB、RS232、どち らのインターフェースにも対応できます。
- Q USB モデルに付属している USB ケーブルの長さを教えてもらえますか?
- A 2.0 メートル(コネクタ含む)です。
- Q USB ケーブルの USB コネクタの形状を教えてもらえますか?

A タイプA オスです。

- Q 専用 RS232 ケーブルの長さを教えてもらえますか?
- A 2.0 メートル(コネクタ含む)です。
- Q 専用 RS232 ケーブルのホスト側コネクタの形状を教えてもらえますか?
- A D-Sub9 ピン メスです。
- Q 専用 RS232 ケーブルのピン配置を教えてもらえますか?
- A 2.10.2.D-SUB 9 コネクタの信号(22 ページ)をご確認ください。
- Q XX 用にカスタマイズされた RS232 ケーブルまたは変換コネクタを用意してもらえますか?
- A 申し訳ございませんがケーブルおよびコネクタの製作は承っておりません。

- Q RS232 モデルはホストからの直接給電に対応していますか?
- A はい。9番ピンへの 5V 電源供給に対応しています。
- Q 1台のホスト機器(クレードル除く)に最大何台のスキャナを同時に接続できますか?
- A ペアリングは最大 255 台、同時使用は最大 7 台です。この値はホスト機器側の Bluetooth®機能に依存します。たとえば iPhone は同時接続が最大 3 台に制限されています。ホスト側の性能やシステムによっては、同時接続数が増えるほど動作が不安定になります。特殊な用途の場合を除き 2 台以上のスキャナを 1 台のホストで使用することはお勧めできません。
- Q スキャナは複数のホスト機器とペアリングして切り替えながら使用できますか?
- A いいえ、できません。本機はマルチペアリングに対応しておりません。別のホスト機器へ接続を切り替 える場合は、以前のホスト機器との接続を解消し、新しいホスト機器と新しくペアリングを行う必要が あります。
- Q Bluetooth 接続で推奨される Bluetooth ドングル(USB アダプタ)を教えてください。
- A 当社では推奨品は準備しておりません。無償で評価機をお貸出ししておりますので、お客様にて事前に 十分な検証を行ってください。必要な方は以下の評価機貸出フォームをご利用ください。 http://unitech-japan.co.jp/loanform.html
- Q Bluetooth で再ペアリングできません。
- A 以前の登録情報がホストに残っている場合は削除してから実行してください。
- Q 画面キーボードが表示されなくなりました。(iPhone、iPad、iPod)
- A トリガーボタンを素早く 2 回引くと表示されます。詳しくは 14.17.iOS ソフトキーボード(93 ページ)を参照してください。
- Q 画面キーボードが表示されなくなりました。(Android)

A 次の Google サポートページの手順2を参考に設定してください。※当該ページは当社の管理するページではございませんので、予告なく変更、削除される場合があります。
 https://support.google.com/accessibility/android/answer/6301490?hl=ja

抜粋:

Android 7 以降:設定内の[言語と入力]→[物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]をオン Android 6 以前:設定内の[言語と入力]→[現在のキーボード]→[ハードウェア]([スクリーン キ ーボードを表示する])を選択

- Q バーコードデータ後の自動改行/自動実行が行われない、または行われなくなった。(iPhone、 iPad、iPod)
- A 画面キーボードの設定が「英語」、「英語(アメリカ)」または「英語(日本)」になっているか確認して ください。「日本語」、「日本語(かな)」や「日本語(ローマ字)」では正しく操作が行われません。
- Q バーコードデータ後の自動改行/自動実行が行われない、または行われなくなった。(Androi d)
- A 仮想キーボードの設定が英語直接入力になっているか確認してください。「日本語ローマ字入力」や「日本語かな入力」では正しく操作が行われません。Androidには多種多様な仮想キーボードが存在し、それぞれに設定方法や仕様が異なるため、これらの操作に対応できない場合もあります。
- Q バーコードデータ後の自動改行/自動実行が行われない、または行われなくなった。(Window s)
- A IME が半角直接入力(IME オフ)になっているか確認してください。「ローマ字入力」や「かな入力」 などの文字変換を伴う入力方法では正しく操作が行われません。
- Q Bluetooth で自動的に再接続できない

A スキャナおよびホストの再起動(電源オフ→オン)を行ってみてください。
 スキャナ本体:トリガーボタンを5秒以上長押し→トリガーボタンを2秒以上長押し
 Windows 8.1以前:シャットダウン→電源オン
 Windows 10以降:[設定]→[更新とセキュリティ]→[回復]→[今すぐ再起動]→[PC の電源を切る]→
 電源オン
 iPhone、iPad、iPod:電源オフ→電源オン ※各機種のマニュアルなどを確認してください。
 Android:電源オフ→電源オン ※各機種のマニュアルなどを確認してください。

- Q 同じ文字が何回も続けて入力される。
- A 電波環境が悪い状態でバーコードの読み取りを行うと発生します。ホスト機器やクレードルから離れた 場所で読み取っている場合は、近づいてから読み取ってみてください。近距離でも発生する場合は、付 近にノイズ源や他の 2.4GHz で動作している機器がないかご確認ください。
- Q BT/BLE キーボード接続時、データの一部が欠けてしまいます。
- A 11.1.USB/BT/BLE キーボード文字間遅延(56 ページ)を大きい値に設定してみてください。
- Q 液晶画面に表示されたバーコード読取れますか?
- A はい、読取れます。バーコードがくっきり表示されており、画面輝度(明るさ)が最大になっている必要があります。読み取りにくい場合は、14.16.携帯電話/ディスプレイモード(93ページ)を「<u>有</u>効」に設定してください。 ※すべての環境での読取りを保証しているわけではありません。

- Q バーコード読取後の改行を無効化できますか?
- Q バーコード読取後の改行を Tab に変更できますか?
- A 13.4.ターミネーター(67ページ)を使用して設定してください。
- Q 一部の制御コードが送信されません。(例: 0x0D,0x0A が 0x0D になる)
- A 13.8.バーコード内の制御コードの送信(70ページ)を「すべて送信」に設定してください。
- Q バーコードの誤読対策を行えますか?
- A 各バーコードのセキュリティレベル設定をご確認ください。
- Q 特定のバーコードを読取ることができません
- A ターゲットのバーコードの種類・規格を確認し、19.標準設定値一覧(212ページ)の該当するバーコードの設定項目の標準値を確認してください。標準では読取りが無効になっていたり、読取り桁数が制限されていたりする場合がありますので、適切な設定に変更してください。バーコードの規格が分からない場合は、バーコードの制作元へ確認してください。
- Q 照準の中心(ドット)が重なったバーコードだけ読み取らせることができますか?
- A 14.5.ピックリストモード(86ページ)をご利用ください。
- Q JAN-13 コードを読むと先頭の「O」が消えてしまいます
- A 15.2.15.UPC-A プリアンブル(102 ページ)を「<u>カントリーコード+システムキャラクタ</u>」に設定し てください。
- Q 書籍用二段バーコードを1回のスキャンで読み取りできますか?
- A いいえ、できません。
- Q JAN コードの右の3桁または5桁のコードも一回のスキャンで読み取りできますか?
- A 15.2.7.UPC/JAN アドオンコードの読取り(97ページ)を適切に設定してください。
- Q データの開始と終了に A~D のアルファベットが送信されてしまいます
- A 15.9.5.NW-7 スタート・ストップキャラクタの送信(132 ページ)を「<u>送信しない</u>」に設定してくだ さい。ターゲットのバーコードが Codabar(NW-7)以外の場合は対応できません。
- Q GS1 系のバーコードを括弧付きで送信できますか?
- A スキャナは AI の編集に対応していないためできません。

- Q Excel に送信したら文字化けしてしまいます(E+が表示される)
- A セルの書式設定を適切なもの(数値や文字列など)へ変更してください。
- Q 特定の記号が異なる記号で表示されてしまいます
- A 11.4.キーボードレイアウト(58ページ)を「日本語」に設定してください。
- Q 日本語を含んだ QR コード内のデータを文字化けせずに送信できますか?
- A クレードルの場合は 20.2.USB 仮想 COM インターフェース (221 ページ)、Bluetooth の場合は 2
 1.2.BT SPP (228 ページ) をご利用ください。
- Q キーボードの入力状態に左右されずに常に正しくデータを送信できますか?
- A 11.4.キーボードレイアウト(58 ページ)の「<u>ALT モード</u>」を設定してください。この機能は OS や使 用するソフトウェアによっては正しく動作しない場合があります。ご注意ください。

Q 音量最大でもビープ音が聞こえない環境で、視覚で読取確認する方法はありますか?

- A 9.9.ダイレクトデコードインジケーター(52ページ)をご利用ください。
- Q バーコードの自動読取りを行えますか?(ハンドフリー動作)
- A 14.2.スキャンモード(84 ページ)の「<u>プレゼンテーション</u>」をご利用ください。スキャナは、ハンドフ リースタンド(製造番号:5200-900010G)と組み合わせて、ハンドフリーで使用することができます。
- Q データの XX 文字目から XX 文字目だけ送信できますか?
- Q データを任意の形式に編集して送信できますか?
- A いいえ、できません。本機は読み取ったデータを編集して出力する機能をサポートしておりません。
- Q ホストからスキャナをコントロールできますか?
- A いいえ、できません。
- Q MS852B_LR のメーカー標準保証期間を教えてください。
- A 1年間です。

Q 修理を依頼したい

A インターネットブラウザで<u>http://www.unitech-japan.co.jp/service/</u>へアクセスし、同ページにリ ンクされている「修理依頼書」をダウンロードしてください。

24. ASCII 文字セット

クレードル接続方式の USB キーボードインターフェース、8.3.Bluetooth®通信タイプ(44 ページ)の BT キーボードまたは BLE キーボードが選択されている場合はキーストロークとして、クレードル接続方式の U SB 仮想 COM インターフェースまたは RS232C インターフェース、8.3.Bluetooth®通信タイプ(44 ページ)の BT SPP が選択されている場合は ASCII コードとして送信されます。

16 進 0x00~0x1F の値を出力したい場合、13.8.バーコード内の制御コードの送信(70 ページ)を適切に設 定してください。

一部の記号が表示されない、または違う記号で表示される場合、11.4.キーボードレイアウト(58ページ) を適切に設定してください。

Prefix/Suffix 値	フル ASCII Code 39 エンコード文字	キーストローク	ASCII コード	16進
1000	%U	CTRL + 2	NUL	0x00
1001	\$A	CTRL + A	SOH	0x01
1002	\$B	CTRL + B	STX	0x02
1003	\$C	CTRL + C	ETX	0x03
1004	\$D	CTRL + D	EOT	0x04
1005	\$E	CTRL + E	ENQ	0x05
1006	\$F	CTRL + F	ACK	0x06
1007	\$G	CTRL + G	BEL	0x07
1008	\$H	Back Space	BS	0x08
1009	\$1	Tab	HT	0x09
1010	\$J	CTRL + J	LF	0x0A
1011	\$K	CTRL + K	VT	0x0B
1012	\$L	CTRL + L	FF	0x0C
1013	\$M	Enter	CR	0x0D
1014	\$N	CTRL + N	SO	OxOE
1015	\$O	CTRL + O	SI	0x0F
1016	\$P	CTRL + P	DLE	0x10
1017	\$Q	CTRL + Q	DC1	0x11
1018	\$R	CTRL + R	DC2	0x12
1019	\$S	CTRL + S	DC3	0x13
1020	\$T	CTRL + T	DC4	0x14
1021	\$U	CTRL + U	NAK	0x15
1022	\$V	CTRL + V	SYN	0x16
1023	\$W	CTRL + W	ETB	0x17

ASCII 文字セット(続き)

Prefix/Suffix 值	フル ASCII Code 39 エンコード文字	キーストローク	ASCII コード	16進
1024	\$X	CTRL + X	CAN	0x18
1025	\$Y	CTRL + Y	EM	0x19
1026	\$Z	CTRL + Z	SUB	0x1A
1027	%A	Escape	ESC	0x1B
1028	%В	CTRL + \	FS	0x1C
1029	%C	CTRL +]	GS	0x1D
1030	%D	CTRL + 6	RS	0x1E
1031	%E	CTRL + -	US	0x1F
1032	Space	Space	Space	0x20
1033	/A	!	!	0x21
1034	/В	33	33	0x22
1035	/C	#	#	0x23
1036	/D	\$	\$	0x24
1037	/E	%	%	0x25
1038	/F	&	&	0x26
1039	/G	1	٤	0x27
1040	/Н	((0x28
1041	/I))	0x29
1042	/J	*	*	0x2A
1043	/К	+	+	0x2B
1044	/L	,	,	0x2C
1045	-	-	-	0x2D
1046				0x2E
1047	/0	/	/	0x2F
1048	0	0	0	0x30
1049	1	1	1	0x31
1050	2	2	2	0x32
1051	3	3	3	0x33
1052	4	4	4	0x34
1053	5	5	5	0x35
1054	6	6	6	0x36
1055	7	7	7	0x37
1056	8	8	8	0x38
1057	9	9	9	0x39
1058	/Z	:	:	0x3A

ASCII 文字セット(続き)

Prefix/Suffix 值	フル ASCII Code 39 エンコード文字	キーストローク	ASCII ⊐−ド	16進
1059	%F	• •	;	0x3B
1060	%G	<	<	0x3C
1061	%Н	=	=	0x3D
1062	%I	>	>	0x3E
1063	%J	?	?	0x3F
1064	%V	@	@	0x40
1065	A	A	А	0x41
1066	В	В	В	0x42
1067	С	С	С	0x43
1068	D	D	D	0x44
1069	E	E	E	0x45
1070	F	F	F	0x46
1071	G	G	G	0x47
1072	Н	н	н	0x48
1073	1	1	1	0x49
1074	J	J	J	0x4A
1075	К	К	К	0x4B
1076	L	L	L	0x4C
1077	М	М	М	0x4D
1078	Ν	N	N	0x4E
1079	0	0	0	0x4F
1080	Р	Р	Р	0x50
1081	Q	Q	Q	0x51
1082	R	R	R	0x52
1083	S	S	S	0x53
1084	Т	Т	Т	0x54
1085	U	U	U	0x55
1086	V	V	V	0x56
1087	W	W	W	0x57
1088	Х	Х	Х	0x58
1089	Υ	Υ	Υ	0x59
1090	Z	Z	Z	0x5A
1091	%K	[[0x5B
1092	%L	λ	Ν	0x5C
1093	%M]]	0x5D

ASCII 文字セット(続き)

Prefix/Suffix 値	フル ASCII Code 39 エンコード文字	キーストローク	ASCII ⊐−ド	16進
1094	%N	^	^	0x5E
1095	%0	_	_	0x5F
1096	%W	`	`	0x60
1097	+A	а	а	0x61
1098	+B	b	b	0x62
1099	+C	с	с	0x63
1100	+D	d	d	0x64
1101	+E	е	е	0x65
1102	+F	f	f	0x66
1103	+G	g	g	0x67
1104	+H	h	h	0x68
1105	+l	i	i	0x69
1106	+J	j	j	0x6A
1107	+K	k	k	0x6B
1108	+L	1	1	0x6C
1109	+M	m	m	0x6D
1110	+N	n	n	0x6E
1111	+0	0	0	0x6F
1112	+P	р	р	0x70
1113	+Q	q	q	0x71
1114	+R	r	r	0x72
1115	+S	s	s	0x73
1116	+T	t	t	0x74
1117	+U	u	u	0x75
1118	+V	v	v	0x76
1119	+W	w	w	0x77
1120	+X	x	х	0x78
1121	+Y	у	у	0x79
1122	+Z	z	z	0x7A
1123	%P	{	{	0x7B
1124	%Q	1	1	0x7C
1125	%R	}	}	0x7D
1126	%S	~	~	0x7E
1127	%T	Back Space	DEL	0x7F

25. 数字バーコード











数字バーコード(続き)











キャンセル



注 本項目内の数値バーコードは、パラメータ設定用の25.数字バーコード(244 ページ)とは異なります。



キャンセル































































英数記号バーコード(続き)

注 25.数字バーコード(244ページ)と混同しないようにしてください。













英数記号バーコード(続き)

注 25.数字バーコード(244ページ)と混同しないようにしてください。






















英数記号バーコード(続き)















Ν



































































英数記号バーコード(続き)







Х





Ζ











Code 39 (チェックデジット付き)



フル ASCII 有効: _abc012 フル ASCII 無効: %O+A+B+C012



GS1-128

(01)1234567890128(30)12(17)191231

UPC-A



UPC-E0



GS1 系バーコードの括弧の出力には対応しておりません。

テストバーコード(続き)

JAN-13





JAN-8



JAN-13 (5桁アドオン)

JAN-13 (2桁アドオン)



テストバーコード(続き)

Interleaved 2 of 5 (チェックデジット付き)



12345678901231



> **GS1 Databar Limited IIII ■II IIIII ■IIIII** (01)04512345678906

GS1 Databar Limited (台紙が黒)



(01)04512345678906



GS1 系バーコードの括弧の出力には対応しておりません。

テストバーコード(続き)

GS1 Databar Expanded 多層型



合成シンボル CC-A with GS1 Databar Limited (01)04512345678906 (10)123ABC(17)191231

> 合成シンボル CC-A (台紙が黒) with GS1 Databar Limited



(01)04512345678906 (10)123ABC(17)191231

○ <u>このバーコードはバーが白でスペースが黒の反転バーコードではありません。</u>これは、バーは黒でスペースは白の標準バーコードの左右に空白(クワイエットゾーン)を加えたバーコードです。GS1 Databarの反転は規格外です。

GS1 系バーコードの括弧の出力には対応しておりません。

テストバーコード(続き)

PDF417



Micro PDF417



MicroPDF417 SAMPLE CODE ABC123

Data Matrix



Data Matrix Sample Code Regular

Data Matrix (反転)



Data Matrix Sample Code Reverse

QR ⊐−ド



QR Code Sample Normal http://jp.ute.com

テストバーコード(続き)

QR コード(反転)



m

QR Code Sample Reverse

http://jp.ute.co

マイクロ QR コード

影 Micro QR Code

Aztec コード



Aztec Code Sample Code